

第四十七回 貴族院議事速記録第五號

伯爵

〔國務大臣伯爵山本權兵衛君演壇ニ登ル〕

大正十二年十一月十七日(月曜日)  
午前十時十五分開議  
議事日程 第五號 大正十二年十一月十七日

|                            |         |
|----------------------------|---------|
| 第一 大正十二年勅令第四百十二號(承諾ヲ求ムル件)  | 會議(委員長) |
| 第二 大正十二年勅令第四百九號(承諾ヲ求ムル件)   | 會議(委員長) |
| 第三 大正十二年勅令第四百三號(承諾ヲ求ムル件)   | 會議(委員長) |
| 第四 大正十二年勅令第四百七十一號(承諾ヲ求ムル件) | 會議(委員長) |
| 第五 大正十二年勅令第四百七十五號(承諾ヲ求ムル件) | 會議(委員長) |

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致セマス

〔小林書記官朗讀〕

一昨十五日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

非常徵發令(承諾ヲ求ムル件)特別委員會

|                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| 委員長 伯爵寺島誠一郎君                    | 副委員長 服部一三君  |
| 大正十二年勅令第四百九號(承諾ヲ求ムル件)外一件特別委員會   |             |
| 委員長 伯爵副島道正君                     | 副委員長 富谷鉢太郎君 |
| 大正十二年勅令第四百七十一號(承諾ヲ求ムル件)外一件特別委員會 |             |
| 委員長 伯爵松浦厚君                      | 副委員長 菅原通敬君  |
| 同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ             |             |

大正十二年勅令第四百九號(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

大正十二年勅令第四百三號(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

大正十二年勅令第四百七十一號(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 上山君ニ伺ッテ見タク存ジマス、是カラ上山君ノ質疑ヲ許サウト思ヒマスガ、農商務大臣ガマダ出席セラレマセヌガ、農商務次官ハ出席シテ居ラレマス、農商務次官デ御満足デゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、内閣總理大臣山本

○國務大臣(伯爵山本權兵衛君) 上山君ヨリノ御質問ニ對シマシテ、誤解ナキコトヲ期スルガ爲ニ、茲ニ一言シテ置キマス、一ハ詔書ニハ營利事業ヲ營ム者ノ個人タルト會社タルトヲ問ハズ、専ラ私利ヲ圖リ、罹災民衆ノ利益ヲ顧慮セザルガ如キ措置ニ出デザルベキコトヲ一般ニ仰セラレタルモノト拜察イタシマス、二、實際問題タル見舞金トカ、保険金ノ一部支拂トカ、具體的ノコトハ固ヨリ詔書ノ御趣旨トハ何等關涉スルモノデナイト存ジマス、三、政府ハ火災保險會社ニ對シテハ唯犠牲的精神性ヲ發揮スベキコトヲ勸告シタルニ過ギマセヌ、固ヨリ保險契約ヲ原因トスル支拂ヲ爲スベキコトヲ、保險會社ニ強要スルノ趣旨ハ毛頭アリマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○上山滿之進君 唯今、總理大臣ノ明快ナル御答辯ニ依リマシテ、九月十二日ノ詔勅ノ仰言葉ノ中ニハ保險金支拂トカ、見舞金支拂ト云フヤウナコトハ致スノデアリマス、唯、此詔勅ニ引續イテ總理大臣ノ御出シニナリマシタ告

諭ノ中ニハ明瞭ニ保險金或ハ見舞金支拂ノコトガ書イテアリマス、之ガ爲ニ遺憾ト致スノデアリマス、政治上ノ問題ニスレバ可ナリ重大デアルヤウニ存

ジマスガ、私ハ唯今ノ場合ニ於テ、政治上ノ責任ニ對シテ云爲スルコトハ適當デナイト心得マスカラ、此點ニ付テハ重ネテ質問ヲ致シマセヌ、唯、私ノ御尋ネ致シマシタ意味ハ、御詔勅ノ御聖旨ノアラセラレル所ヲ明カニシ、皇室ノ至仁至愛デ一視同仁デアラセラレル所ヲ、我ヨ一般國民ハ能ク了解ヲ致シタイ、些カノ誤解ノ無イヤウニシタイト云フコトガ趣旨デアリマシタノデ、

政治上ノ問題ニ付テハ唯今申シマセヌ……

○議長(公爵徳川家達君) 上山君ニ伺ッテ見タク存ジマス、是カラ上山君ノ質疑ヲ許サウト思ヒマスガ、農商務大臣ガマダ出席セラレマセヌガ、農商務次官ハ出席シテ居ラレマス、農商務次官デ御満足デゴザイマスカ

○上山滿之進君 私ハ政府側ノ御答辯ヲナサル方ノドナタデアルコトヲ要求スルコトノ意味ハ毛頭ゴザイマセヌ、ドナタデモ宜シウゴザイマスガ、唯、私ノ伺ヒタイノハ、事務的ノ質問デナインデアリマス、政府ノ方針、覺悟ト

云フヤウナ點ニ付テ伺フンデアリマスカラ、御答辯ナサル農商務次官ノ方デ  
ハ御不便デナイカト思ヒマス、殊ニ現農商務次官ハ極ク最近ニ御就任ニナッタ  
ノデ、此問題ノ經過ニ付テ御承知デハアリマセウガ、御自分デ其局ニ當ッテ  
居ラレナカツタノデ、一層御不便ト思ヒマス、私ノ希望ヲ御尋ネ下サルナラ  
バ、農商務大臣御出席ノ上デ質問イタシタイト思ヒマス  
○議長（公爵徳川家達君） サウ云フ御希望ナラバ暫ク上山君ノハ後ニ廻ハシ  
マシテ、勝田君ノ質疑ヲ許シマセウ、勝田主計君

〔勝田主計君演壇ニ登ル〕

○勝田主計君 私ハ質問

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

通告ヲ致シテ置キマシタガ、皆様ノ御承知ノ如クニ既ニ多數ノ諸賢ヨリ御質  
問ガゴザイマシテ、之ニ對シテ政府ノ御答辯モゴザイマシタ、此御質問並ニ  
御答辯ニ依リマシテ、私共ノ疑惑ト致シテ居ル所モ大分了解ヲ致シタンデア  
リマス、併ナガラ私ノ承ハシテ居ル所ヲ以テシマスルト、御質問ニナツタ方々  
ノ一々内容ヲ拜見スルト、質問スペキ事柄ハ殆ド質問サレテ居ルヤウデアリ  
マス、併ナガラ政府ノ御答辯ヲ拜聽ヲ致シテ居リマスト、此質問ニ對シテ明  
晰ナル御答辯ガ無イ廉ガ大變ニ多イカノ如クニ私ハ拜聽イタシタンデアリマ  
ス、ソレ故ニ或ハ私ノ申上グマスルコトガ、質問ト致シテハ重複ヲ致シテ居  
ルヤウナコトガアリハセナイカ、斯ウ云フ懸念ヲ持テ居リマスカラ、此點  
ニ付キマシテハ皆様ノドウカ御諒承ヲ願クテ置キタインデアリマスル、私ノ  
質問ハ極メテ常識的ノ質問デゴザイマシテ、又左様ニ澤山ノ質問デハゴザイ  
マセヌ、先づ第一ニ私ノ問ハムト欲スル所ノモノハ、現政府ノ誠意ト云フコ  
トニ付テデアリマス、今日國家多難ノ場合ニ山本首相ハ皆様ノ御承知ノ如ク  
ニ誠意ヲ以テ大政變理ノ衝ニ御當リニナツタノデアリマス、凡ソ政治家ガ此  
誠意ヲ要スルコトハ、是レ殆ド説明ヲ要セナイコトデアル、併ナガラ殊ニ此  
山本伯御就任以來僅ニ百餘日デアリマスガ、此間ニ於テ遺憾ナガラ山本伯ノ  
誠意ニ對スル疑惑、是ガ澎湃トシテ世間ニ起シテ居ルノデアリマス、是ハ事

實デアリマス、私ハ誠ニ之ヲ遺憾トスルノデアル、先づ復興ノ問題ニ付テ申  
シテ見マシテモ、先日、山本首相ハ此壇上ニ於テ震災後直チニ山本首相ハ上  
野ノ山ニ御上ガリニナツテ、東京市ヲ瞰下サレテ感慨無限、其際ニ此復興  
ニ關スル大體ノ直覺的ノ閃キヲ得ラレタ、併ナガラ段々其後今日ノ案ヲ提出  
サレルマデニハ糾餘曲折ヲ經テ、當初上野ノ山ノ上デ御感ジニナツタ所ノ其  
直覺的閃キヲ實行スルコトハ出來ナカツタト云フガ如キ御物語ガ此席上ニ於  
テアツシニデアリマス、此婉曲ナル山本首相ノ御物語ノ其裏面ニ付キマシテ  
ハ、藤村男爵アタリカラ段々御話ニナツタヤウデアリマスルガ、私ハ事實如  
何ト云フコトハ能ク了解イタヌ、併ナガラ復興ノ計畫ニ致シマシテモ、兎ニ角  
ニ角當初御考ヘニナツテ、此處ニドウシテモ國策上行カナケレバナラヌ、斯  
ウ御考ヘニナツタコトト云フモノハ、ドウ云フ關係デアリマスルカ、兎ニ角、  
好イ言葉デ言ヘバ糾餘曲折ノ結果ト致シテ、山本首相自身ニモ不滿ナル成案  
ヲ得ラレタデハナイカト云フヤウナ感想ガ致スノデアリマス、此點ニ付テハ  
世間ガ非常ニ疑惑ヲ懷イテ居ルノデアリマス、又此内閣ハ皆様モ御承知ノ如  
クニ、普選問題ト云フモノヲ以テ大切ナル問題トシテ、政綱ノ一一掲ゲラレ  
テ居ルノデアリマス、此普選問題ニ付キマシテモ、當初宣傳サレマシタ所ノ  
コトハ、ドウデアリマスルカ、普選、即チ殆ド有ラユル制限ヲ撤廢シタル普  
選ヲ茲ニ行フ、而カモ其行フコトハ即行デアル、直チニ之ヲ行フノデアル、  
何ゾ其理想ノ高遠ニシテ、其元氣ノ旺盛ナル、國民ハ此宣言ニ對シテ殆ド目  
ヲ張リ耳ヲ聳ヤカシテカラニ、寧ロ驚イタノデアリマス、然ルニ其後、私共ノ  
見聞イタシマシテ居ル所ニ依リマスルト云フト、又違タル宣傳ガアル、普  
選ニアラズ、是ハ選舉權ノ擴張ト云フコトダ、即行ニアラズ、徐々ニ之ヲ行  
フト云フコトデアル、斯ウ云フヤウナコト、茲ニ於テ國民ノ多數ハ非常ニ迷  
ウテ居ルノデアリマス、一體何ヲ爲サレルノデアルカ、斯ウ云フ疑惑ガ大イ  
ニ起シテ居ル、ソレカラ今回ノ臨時議會ニ提出ニナツテ居リマスル火保問題、  
……火災保險問題、之ニ付キマシテモ最初政府ノ御意向ハ、内閣ノ告諭ヲ出  
サレ、保險會社ト云フモノニ義俠的ノ公憤ヲ誘發シテ、或ハ詔勅ヲ其意味ニ  
一般ニ解セシムルガ如キ勢ヲ以テ御進ミニナツタ云フヤウナ形勢ガアル、  
サウ云フコトデアレバ、之ヲ徹底サレタラ宜イノデアル、政府ガ積極的ニ御  
ヤリニナツタラ宜イ、斯フ云フ風ニ國民ノ一部ハ考ヘテ居ル、所ガデス、最  
近ニ至シテ農商務大臣等ノ御説明ニ依ルト、政府ハ告諭ハ出シタ、出シタガ、

併シ是ハ要スルニ自ラ進ンデ德義上ヤッテ來ルノヲ待ツベキコトデアルカラシテ、保險會社ガ申出ルマデ悠然トシテ待ツ申出デヲ受ケテ初メテ之ト折衝ヲシテ、今日聲言シテ初メテ解決ヲ得タノデアル、斯ウ云フヤウナ農商務大臣ノ御考ラシイノデアル、是等モ何ゾ其事ノ徹底セザルヤ、當初ハ大イニ此保險金ヲ拂ハスベシト云フヤウナ勢ヲ以テ、脱免ノ如クニ御進ミニナルカト思ヘバ、今度ハ如何ナル理由デアリマスルカ、兎ニ角、處女ノ如クニ、極メテ受動的ノ動キヲサレル、斯様ナコトニ向ッテモ國民ハ非常ナ疑惑ヲ懷イテ居ルノデアリマス、非常ナ疑惑ヲ懷イテ居ル、併シ私ト致シマシテハ、山本首相ノ御性格上、如何ニモ誠意誠心ノ御方デアッテ、斯様ナル國民ノ疑惑ト云フモノハ全ク事實ニ根柢セザル一種ノ疑惑デアッテ、山本伯ノ誠意誠心ト云フモノハ徹底イタシタモノデアル、ト云フコトニ信ジタイノデアリマス、伯ノ御人格上カラ私ハ左様ニ信ジタイノデアリマス、私ノ申スマデモナク、至誠ナルモノハ徹底デナケレバナラヌ、殊ニ此際……國家多難ノ際ニ當ッテ至誠ヲ苟モ標榜スルナレバ、眞面目ナル至誠デナケレバナラヌト私ハ思フノデアル、即チ國策ノ上ニ立脚シテ勇往邁進、策ニ流レズ、略ニ陷ラズ、所信ヲ徹底セラルル、此精神ガ即チ至誠デアラウト思フ、又斯様ナ國家多難ノ際ニ當リマシテ國民ガ伯ニ要求シテ居ル所ト云フモノハ、恐ラクハ此點ニ在ルモノデアラウト私ハ思フ、然ルニ世間ニハ先刻申シマシタ如キ疑惑ガアル、マダ疑惑ハ例證ヲ致シマスレバ澤山アリマスルガ、兎ニ角二三ノ例ヲ申シマシテ豫算其他ヲ提案イタシテ居ルノデアリマス、山本首相ノ内閣ニ對シテ大イニ期待スルガ爲ニ、非常ナル遺憾ヲ私ハ持ッテ居ルノデアリマス、故ニ斯様ナル事柄ノ疑惑ガアル以上ハ、是ハ政府ガ議會ニ向ッテ法律案、豫算其提案イタシテ居ルノデアリマスガ、之ヲ私共ガ判断ヲ致ス上ニ於テ微妙ナル、而カモ有力ナル心理的ノ作用ヲ來タスモノデアリマスルカラシテ、先づ第一ニ私ハ山本伯ノ標榜ヲサレテ居ル所ノ誠意誠心、洵ニ結構ナコトデアル、併ナガラ之ニ對シテ世間ニ疑惑ガアル、斯様ナコトヲ申上ゲテ、山本伯ノ御所見ヲ伺ヒタク、如何ニモ漠然タル問デアリマスルガ、是ハ實ニ重大ナルコトデアラウト思ヒマスルカラ、第一ニ私ハ之ヲ御伺ヒ致シタイ、次ニハ復興問題ノ大體ニ於テ御伺ヒ致シタイノデアリマス、此御伺ヒ致シタイ事柄ハ藤村男爵アタリカラ既ニ御質問ニナッテ居ルコトデアル、併ナガラ多少私ノ伺ヒ方ガ違フノト、其藤村男爵ノ御質問ニナッタ點ニ對シテ政府ノ

御答辯ガ甚ダ不明瞭デアッタト云フコトヲ私ハ遺憾トスル、ソレ故ニ第二ノ問題ヲ御尋ヲ致シタイト思フノデアル、先日來、政府ノ復興ニ對スル御答辯等ヲ段々拜承イタシテ見マスルト、帝都ノ復興ハ即チ帝國ノ復興ナリ、斯ウ云フコトヲ仰シヤッテ居ルノデアリマス、私共モ當ニ然リ、政府ノ斯様ニ御考ヘニナッテ居ルコトト云フモノハ當ヲ得テ居ル、斯ウ考ヘルノデアリマス、而シテ動モスレバ此帝都ノ復興ハ帝國ノ復興ナリト云フ意味ヲ斯様ニ解釋サレルヤウナ御答辯ガアルノデアリマス、即チ東京或ハ横濱ノ都市計畫ヲスモノハ全ク事實ニ根柢セザル所デアル、私等ハ寧ロ都市計畫レバ、ソレガ即チ帝國ノ復興デアルト云フヤウナ意味ニ聞エルヤウナ節ガ多イノデアリマス、是ハ私等ノ甚ダ賛成セザル所デアル、私等ハ寧ロ都市計畫モ都市計畫デアルガ、此際、帝國ハ諸般ニ互リ非常ナル艱難ナ境遇ニ立ッテ居ルノデアルカラシテ、諸般ノコトニ互ッテ、即チ帝國復興ト云フコト眼トシテ、之ニ對スル國策、經綸ヲ立テテ、サウシテ此帝都ノ復興ト云フコトガ初メテ出來ル、斯ウ私ハ考ヘル、建物ノコトモ其一部分デアリマセウ、併ナガラ此建物ガ主ト云フ譯デハナイ、是ハ恐ラク政府ノ御答辯ガ足リナカッタノデ、政府ノ御趣意モ私共ノ考ヘテ居ルコトト同ジコトデアラウト思フノデアリマス、斯ク帝都ノ復興ト云フコトヲ考ヘテ來マスト、何ガ此帝都復興ノ根本義デアルカト言ヒマスレバ、正ニ是ハ藤村男爵ノ御述ベニナッタ如クニ、所謂言葉ハ甚ダ學問的デアリマセヌガ、精神復興、經濟復興、此二者ガ即チ根本義ト見ナケレバナラヌノデアリマス、此精神復興ニ付キマシテハ是ハ既ニ御詔勅モ出テ居ルコトデアリマスルシ、色々諸賢カラモ御話ガアッタコトデアリマスカラ、私ハ深ク此場合ニハ申上ゲマセヌガ、殊ニ申上ゲテ見タイノハ、經濟復興ト云フコトデアルノデアリマス、此經濟復興ト云フコトニ付テ、或場合ニ政府當局方ガ、斯様ナコトヲ言ハレテ居ル、例へバ東京市ヲ建造スル、横濱市ヲ建造スル、サウスルト之ニ對シテ數億ノ金ヲ費ス、是ガ民間ニ散布スル、サウスレバ民間ノ景氣モ付イテ、是ガ經濟ノ復興ニナルシダト云フヤウナコトモ言ハレテ居ルガ如ク私ハ見聞シテ居ルノデアリマス、或ハ左様デアリマセウ、是モ一部デアル、一部デアリマスガ、私共ノ經濟復興ト稱スルモノハ左様ナ狹小ナ範圍ノモノデハナイ、即チ帝國復興ト云フ意味ニ於テ、此意味ニ於テ經濟復興ト云フコトヲ私等ハ絶叫ヲ致シタイノデアリマス、之ヲ細カニ説明ヲ致スト云フコトハ甚ダ時間ヲ潰スコトデアリマスカラ、申シマセヌガ、兎ニ角、此經濟復興ノ意義ハ財政ノ整理ナリ、或

ハ金融政策、或ハ産業ノ政策、或ハ交通ノ政策、或ハ貯蓄ノ政策、或ハ海外ニ對スル所ノ貿易、若クハ經濟ノ發展ノ政策、其他各種ノ問題ガ之ニ含マレテ居ラナケレバナラスト思フノデアリマス、是等ノ各種ノ問題ニ付テ經綸政策ヲ立テ進ンデコソ、初メテ此帝都ノ復興モ出來ルノデアル、是ガ無クンバ、此帝都ノ復興ト云フモノハ出來ヤシナイ、復興ノ費用ガ大ナリト云ヒ、或ハ復興ノ費用ガ小ナリト云フ、小モ大モ私共ノ考カラ見マスレバ、右ノ如キ經濟復興ノ政策ガ茲ニ確立ヲ致スナラバ、決シテ大デモ差支ナイ、併ナガラ茲ニ何等ノ經濟政策モ確定ヲセナイト云フコトデアレバ、今日ノ此提出サレテ居ルモノ尙ホ過大ナリトセザルヲ得ナイヤウナ結果ニナッテ來ルダラウト思フノデアリマス、斯様ナ意義ニ於テ私ハ經濟復興ト云フコトヲ唱道スル、即チ之ヲ行ウテ、初メテ帝國ノ復興ト云フコトガ出來ル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ

## 〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

斯様ナル觀察ヲ以テ今期議會ニ政府ガ提出サレテ居リマスル所ノ法律案、或ハ豫算案、或ハ總理大臣其他ノ内閣諸公ガ當議席ニ於テ御話ニナッタ事柄等ヲ綜合イタシテ見マスルノニ、殆ド其片鱗ダモ認メルコトガ出來ナイ、是ハ事實デアリマス、是ハ事實デアリマスカラシテ、内閣諸公ニ於カレテモ御否定ニナルマイト思フノデアリマス、併ナガラ私ハ此内閣ガ大震災、大火災ノ場合ニ御成立ニナッテ、是等ノ應急ノ仕事ニ對シテ非常ニ繁忙ヲ極メラレ、頭腦ヲ其方ニ御取ラレニナッテ、先づ其事ニ違ナクシテ、他ノ計畫ヲ立テル邊ガナカッタト云フヤウナコトニ付テハ、是ハ大ニ御同情ヲ致スノデアリマス、併ナガラ一面ニ、几ソ内閣ヲ組織シテ大政整理ノ任ニ當ラムト欲スル者ハ平素是等ノ計畫ガ無イト云フコトハ私ハナイト思フ、況ヤ此大震大火災ガ無イニ致シマシテモ、其以前ニ於ケル日本ノ狀態ハ既ニ此經濟ノ復興、精神ノ復興等ヲ必要トスル時機ニ、モウ到著シテ居ッタソデアル、此場合ヲ見テ御立チニナッタ所ノ山本首相ニハ何等カノ經綸ト云フモノガ茲ニ無ケレバナラスト私思フノデアリマス、ソレ故ニ此事ニ付キマシテ藤村男爵ヨリ御尋ねナリマシタガ、何等ノ御答辯モ無カッタヤウデアリマス、ソコデ私ハ御尋ヲ致シタイノハ、斯様ナ場合ニ具體的ニ事柄ヲ一々御列舉ニナッテ、御説明ニナルト云フコトハ、是ハ不可能デアラウト思フノデアリマスガ、併シ是カラ帝國ノ復興ニハ俺ハ斯様ナ精神デ、斯様ナ方法デ以テ行クノデアルト云フ

位ナ大體ノ事柄ハ私ハ御説明ニナリ、御示シニナルト云フコトガ出來得ルコトデアツテ、又是ハ今日我ガ國民ノ考ヲ安定セシムルノ方法デハナカラウカト思フノデアリマス、ソレ故ニ私ハ此問題ニ付キマシテハ既ニ藤村男爵ヨリ御尋ガアリマシタガ、重ネテ總理大臣ガ此經濟復興等ニ對スル大體ノ御經綸ハドウ云フコトデアルカト云フコトヲ我ミニ教ヘテ貰ヒタイ、是ガ第二ノ質問デアリマス、第三ノ質問ハ復興計畫ノ機關ニ對スル所ノ質問デアリマス、是ハ私ハ山本首相ガ上野ノ山ニ御登リニナッタ時ノ感想ヲ御物語リニナリマシタガ、丁度左様ナコトヲ申スヤウニ當ルカモ知レマセヌガ、本員ハ此大震災ガアッタ暁ニ復興ノ機關ニ付テ、チヨット斯様ニ考ヘテ見タシテス、是ハ二ツノ方法ガアリハシナイカ、第一ハ極メテ簡單ナ方法デアル、既ニ政府ニ於テハ多年都市計畫ノ調査ヲ致サレテ居ル、又政府ノミナラズ、公共團體ニ於テモ是等ノ調査ヲ致サレテ居ル、大體ニ於テモモウ其輪廓ハ出來テ居ル、斯ウ私ハ思フ、サウ致セバデス、之ヲ速ニ御發表ニナッテ段々デス、保険問題ヲ解決スルナリ、或ハ其他金融ノ方法ヲ十分ニ付ケルナリ、或ハ材料其他ノモノノ運搬等ヲ十分ニ付ケラレルナリシテ、私ハモウ一切皆市民ノヤルニ委シテ置カレル、是ガ一ツノ方法デハナカッタラウカ、是ナラバデス、餘リエライ官府モ作ラズシテ出來得タノデナイカ、斯ウ一ツ考ヘル、是ガ一ツノ方法デス、ソレカラ他ノ方法ハ先刻、私ノ申上ゲマシタ如クニ、帝都ハ此震災ナクトモ既ニ各般ノ事情ニ於テ大ナル改善、或ハ言葉ヲ強メテ申セバ改造ヲ要スル所ノ時期ニ到来シテ居ッタノデアル、之ニ今回ノ大震災大火災ト云フモノガ來テ其必要ト云フモノヲ倍加シテ來タノデアル、斯様ナ場合ニ立至リマシタノデアリマスルカラシテ、茲ニ大ナル諸般ニ瓦ル改善特殊ノ機關ヲシテ之ヲ實行セシムルト云フコトモ亦一ツノ方法デアラウト、改良ヲヤッテ全ク帝都復興ノ實ヲ擧ゲル、斯ウ云フコトガ必要カモ知レヌ、サウスレバデス、左様ナコトヲ實行シ得ルダケノ特殊ノ機關ヲ設ケテ、此私ハ考ヘタノデアリマス、而シテ發表ヲ致サレルノヲ見マスルト、御承知ナルモノガ出來ル、是モ實ニ規模壯大ナル機關デアル、又復興審議會ナルモノガ出來ル、是モ實ニ規模壯大ナル機關デアル、復興院云フモノガ數十名モ出來ル、參與ガ若干出來ル、實ニ其陣立ト云フモノハ堂々トシテ……是ハ私ハ考ヘタノデス、是ハ私共ノ考ヘテ居ッタ第二ノ案ヲ御採リニナッタノデハナイカ、是モ一ツノ意義ノアルコトデアルト、斯ウ思

ウテ居タノデアリマス、然ルニ復興院ノ官制ト云フモノヲ拜讀イタシテ見マスルト云フト、都市計畫ヲナシ、都市計畫ヲ遂行スルノ機關ニ過ギナイノデアル、私ハ實ハ失望イタシマシタ、是ハモウ少シ意義ノアル機關アッテ斯様ナル陣立ガ出來タト云フコトハ誠ニ結構デアラウト思ッタ、所ガ幾ラ讀ミ返シテ見テモ、ソレ以外ニ何ニモナイ、是ニハ私ハ非常ニ失望イタシタノデアリマス、ソレデ斯様ナコトデアリマスルト、世間ニ於テ復興院ノ機關ガ厖大ナリト云フヤウナコトヲ申シテモデス、ドウモ辯明ノ餘地ガナイデハナイカト云フヤウナ感ガ致サレタノデアリマス、復興院總裁ハ此問題ノデアリマス、ソレデ斯様ナコトデアリマスルト、世間ニ於テ復興院ノ機シテ御辯明ニナツテ居ル所ハ復興院ノ仕事ト云フモノモ段々是カラ大キクナルノデアル、ソレ故ニ是ダケノ陣立ト云フモノガ要ルノデアル、是ダケノ御説明デアル、此説明デハデス、ナカニ今日一般ニ瓦ツテ居ル復興院ガ厖大ナリトスル所ノ其頭ヲ向變ヘル譯ニハ是ハイカヌト思フ、モウ少シ茲ニ何カ理由ガナケレバハイクマイ、斯様ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、茲ニ於テ私ハ甚ダ是ハ非常識ナヤウナ質問ノ仕方デアリマスルガ、政府ニ向ツテ質問ヲ致スノハ復興院ノ計畫ナルモノハ之ヲ飽クマデ固持ナサルノデアルカ、之ヲ減縮サレル意味ナキヤ、又若シ此意思ガ無イトスレバデス、復興院ノ權限ヲ擴張サレテ名實共ニ日本ノ改造ヲヤリ、帝都ノ復興ヲヤツテ行クト云フヤウナ機關ニサルルノ意思ナキヤ否ヤ、斯様ナコトヲ私ハ御尋ヲ致シテ見タイト考ヘルノデアリマス、次ハ保険ノ問題ニ付テ一應御尋ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、保険ノ問題ニ付キマシテハ同僚ノ上山君ヨリ精細ニ瓦ツタ御質問ガゴザイマシタ、未ダ不幸ニシテ當局大臣ノニ對スル御答辯ヲ得マセヌガ、私ハ左様ニ細カイ御質問ヲ此場合ニ致サウト云フ考ハ持ツテ居ラヌノデアリマス、併ナガラ私共ノ此常識ヲ以テ大體先達テアタリカラシテ政府ノ御答辯等ニ依テ此問題ヲ判斷ヲ致シテ見マスルト、是ハ御趣意ト非常ニ違ッタ提案デハナイデアラウカト云フヤウナ疑念ヲ持ツノデアリマス、御趣意ハドウデアルカ、是ハ帝國ノ復興ト云フ：：此帝都ノ復興ト云フコトニ對スル解決問題ノ一ダト云フコトデアリマス、帝都ノ復興ト云フコトガ矢張リ其目的デアル、然ルニ細カイコトハ私ハ此場合ニ申上ゲルコトヲ避ケマスル、アノ案ノ大體ヲ見マスルト、一方カラ見マスルト此保険會社ヲ：：或種類ノ保険會社ヲ保護サレタ案ノ如クニモ拜見ガ出來ルノデアリマス、又一面カラ見ルト上

山君ノ御質問ニモアリマシタ如クニ罹災者ヲ救濟スルト云フヤウナ意味デモノハ何等其恩典ニ與ラヌヤウナ方法ノヤウデアルノデアル、其他種々ノ點コトニハナラヌノデアル、結果ガ：：斯ウ云フ風ニ私ハ常識論カラ考ヘルノ復興ガ早ク出來ルヤウニト云フ、斯ウ云フ御趣意ノヤウデアルガ、左様ナシイ御説明ヲ聞カナケレバ其判断ハ出來マセヌガ、先ヅザツト私ハ思フ、斯様ナ案ダラウト思フノデス、之ニ對シテ政府ガ前代未聞ナル一億、二億ト云フヤウナ金ヲ何十年間二分ノ低利デ御出シニナルト云フ大膽ナル御計畫ヲナシテ御考ニナツテ居ル、サウ云フ御決心ガアルナラバ、斯様ナ問題ハ、或ハ十分ナル保護ヲスル、政府ハ適當ナル之ニ對スル所ノ支出ヲスルト云フコトニ付テハ、私ハ全然同意ナノデアリマス、併シ之ヲ出スナラバ：：出スナハナイカト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、勿論、此場合ニ罹災者ニ對シテ十分ナル保護ヲスル、政府ハ適當ナル之ニ對スル所ノ支出ヲスルト云フコトニ付テハ、私ハ全然同意ナノデアリマス、併シ之ヲ出スナラバ：：出スナラバ、其目的ニ十分適合スルダケノ責任ヲ以テ出スト云フコトガ、是亦爲政者トシテ考ヘナケレバナラヌコトト私ハ考ヘマス、ソレ故ニ私ハ此問モ餘程妙ナ問デアリマスルガ、御尋ヲシタインハ、必ズ今日ノ閣僚ノ御捕ヒニナツテ居ル内閣ニ於カレテハ、此問題ヲ御研究ニナルニ付キマシテハ、此目的、即チ帝都ノ復興ト云フコトヲ根本トスル、其目的ノ上カラデス、此問題ヲ御研究ニナツタコトデアリマセウガ、尙ホ之ニ代ルベキ諸案ヲ色々御考ヘニナツタ私ハ拜察スルノデアリマス、若シサウ云フコトガ御研究ニナツテ居ルコトデアルナラバ、本員等ノ参考トシテ之ヲ御示シヲ願ヒタイ、若シ無ケレバ無イト云フダケデ宜イノデアリマス、唯茲ニ一言イタシテ置キマスノハ、私ノ御尋ヲ致スノハ保険官營問題デハアリマセヌ、左様ナコトヲ御尋ネスルノデヤナイト云フコトヲ一言イタシテ置キマス、次ニ、最終ニデス、質問ヲ致シタインハ、財政ノコトニ關シテデアリマス、私ガ申上ゲルマデモナク、今

回、此臨時議會ニ提出サレマシタ所ノ政府ノ諸案ガ實ニ重大デアリマス、其事  
自體ガ實ニ重大デアリマス、ノミナラズ其費用ガ數億、即チ六億、七億ト云フ  
ヤウナ巨額ニ全體ニ於テ上ボルノデアリマス、此關係ニ於テ政府ノ御提出ニ  
ナツテ居ル所ノ問題ヲ所謂慎重審議スルト云フコトデアリマスルナラバ、ドウ  
シテモ是ハ將來ノ財政計畫ト云フコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌ、將來  
ノ財政計畫ト、今日御提出ニナツテ居ル所ノ此豫算トハ、私共ノ見解デハ殆ド  
將來ノ財政計畫ト云フコトヲ十分ニ討究イタサナケレバナリマセヌ、併シ此  
是ハ一致スペキモノデアル、決シテ是ハ分離スペカラザルモノ、所謂不可分  
ノ關係ニアルモノト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、  
片鱗ニ過ギナイト云フコトデアリマス、將來ノ財政計畫ハ大體ニ於テハ出來  
テ居ル、ソレハ既定ノ公債資源ヲ以テ爲スペキ事柄ヲ中止シテ、是ヨリ新ニ  
將來ノ財政計畫ニ付キマシテハ、私共ノマダ伺ッテ居ル所ノモノハ、ホンノ  
片鱗ニ過ギナイト云フコトデアリマス、マダ詳シイコトハ御説明ヲ聽キマセ  
ヌガ、果シテ是ガ間違デアルカドウカト云フコトハ斷言ハ出來マセヌガ、左  
様ナコトヲシイノデアル、之ヲ財政計畫ト云フナラバ、殆ド財政計畫ノ私ハ  
意味ヲ成サヌノデヤナイカト云フヤウナ感ガ致スノデアリマス、併シ是モ先  
刻申上ゲマシタ如クニ、洵ニ此大震災、大火災ニ際シテ應急ノ仕事ニ沒頭  
サレテ十分ニ御考慮ヲ御運ラシニナル餘地ガナカッタト云フコトデアルナラ  
バ、先ヅ差當リ斯様ナコトニデモ致シテ置カウト云フ御計畫デアルトナラ  
バ、ソレハ御同情シテモ宜シイ、併シ之ヲ財政計畫ナリトシテカラニ、立派  
ニ大キナ顔ヲスルコトガ出來ルモノデアルマイト考ヘルノデアリマス、ソレ  
デ此事ニ付キマシテハ、尙ホ委員會其他ニ於テハ私モ能ク御伺ヒヲ致シテ見  
タトイ思ヒマスルシ、又皆様モ定メシ左様ナ御考ガアルダラウト思フノデア  
リマスルガ、茲ニ私ガ關聯シテ政府ニ問ハムトスル所ハ、政府ハ速ニ財政行  
政ノ根本的整理ヲナスノ意思アリヤ否ヤ、斯ウ云フコトデアリマス、此速ニ  
ト云フコトヲ十分御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、イヤ、先ヅ大正十三年度  
ハ是デヤツテ置イテ、ソレカラ段々研究ヲシテ、御前ノ言フコトハ宜イカラ、  
モウ少シ財政計畫ラシキ財政計畫ヲ御立テニナルト云フコトヲ希望シテ止マ

ヌノデアリマス、是デ私ノ政府ニ對スル質問ノ要領ハ盡キテ居リマスルガ、終リニ臨ミマシテ重ネ／＼申シテ置キマスルガ、餘リ詳シキ御答辯ハ私ハ要サナイ、又私ノ質問ガ漠然トハ致シテ居リマスガ、常識ノ質問デアッテ、技術的ノ御答ナドハ要サナイノデアリマスカラ、唯簡單ニシテ而カモ明瞭ナル御答ヲ願ヒタイ、曖昧模糊タル長演説ハ私ハ御断リヲ致シテ置キマス、ドウカ左様ニ幾重ニモ御願ヒ致スノデアリマス

○上山満之進君 私ハ自分ノ一身上ニ付テ一言ヲ致シタイ、唯今勝田君ノ御質問中ニ私ノ一身ニ關係シタコトガアリマスカラ、質問ヲ御許シヲ願ヒタイ

○上山満之進君 言葉咎メヲスルヤウニ皆様

○上山満之進君 言葉答メヲスルヤウニ皆様ハ御聽キニナツテハ大變私ハ迷惑ヲ致シマスガ、勝田君トハ年來ノ懇意ナ友人デアリマス、私情トシテハソシナ感ジモアリマセヌガ、唯聊カ御言葉ノ中ニ私遺憾ニ考ヘルノデ、火災保険問題ニ付テ勝田君ハ御尋ネノ時ニ、上山ハ精細ニ色々言ッタガ、自分ハソシナ細カイコトヲ尋ネヌ、尋ネルノハ常識ノ範圍デアツテ、御尋ノ最後ニ又常識ヲ御重ネニナツタ、別段惡意アッテトハ勿論思ヒマセヌガ、此言葉通リトシマスト、私ノ質問ハ些細ナコトデアル、斯ウ云フ風ニ聞エルノデアリマス、實ハ私ハ此臨時議會ニ於ケル最モ重要ナル問題ガ火災保険デアルト眞實思ウテ居ル、多少ノ調査モ致シマシタ、カルガ故ニ色々多ク質問ヲ出シマシタガ、質問ハ自分ノ信ズル所ニ依レバ、私ノ見ル所ハ私ノ見ル所デアル、細力イ問題トハ毛頭思ハナイ、是ハ各々人ノ見ル所デ、勝田君ハドウ御覽ニナルカト云フコトヲ争フノデハアリマセヌガ、唯何トナク私ノ質問ヲ輕クセラレタヤウナ感ヲ懷カザルヲ得ヌ、私ハサウ云フ些細ナコトヲ問フタ積リハナイ、ドウゾ各々此信ズル所ニ依シテ發言ヲスル以上ハ、他人ノ言論ニ瓦ツテソレヲ批評スルヤウナコトノナイヤウ將來アリタイコトヲ、茲ニ一言希望シテ置キ

○勝田主計君 此席カラチヨット一言御許シヲ願ヒタイ  
○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○勝田主計君 唯今、上山君カラ御發言ガゴザイマシタガ、實ハ私ハ意外ト致スノデアル、私ノ申上ゲタコトハ、上山君ノ御質問ガ詳細ニ瓦ツテ居ルカ

題ニ付テハ熱心ニ研究サレテ、詳細ナ質問ヲ出サレテ居ルカラ、私ハ別ニ之

ニ對シテ詳細ナルコトヲ政府ニ御伺ヒスルノ殆ド必要ノ無イト云フ意味ニ於テ實ハ申上ゲタノデアリマスルガ、ドウ云フ御感違ヒデゴザイマスルカ、左様ニ御考ヘニナツタト云フコトヲ私ハ甚ダ遺憾ト致シマス、決シテ私ノ趣旨ハ左様ナ意味ノ趣旨デハナイノデ、上山君ノ詳細ナル御質問ニ付テハ却テ敬意ヲ表シテ居ルノデアル、ドウカ左様ニ御承知アラムコトヲ希望イタシマス

〔國務大臣伯爵山本權兵衛君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（伯爵山本權兵衛君）唯今、勝田君ヨリノ御質問ニ對シマシテ一言御答イタシタイト存ジマス、何レノ内閣ト雖モ誠意ナクシテハ決シテ内閣ヲ組織シ得ルモノデハナイト信ジマス、而シテ震災及火災後、私ガ上野ノ臺ヨリ見マシタ所ノ直覺的感想ハ、此帝都復興問題ノ今日ニ於テ同ジデアルカ、或ハ遠ヒハセナイカ、恐ラク違フデアラウト云フヤウナ御意見デアッタヤウニ伺ヒマス、抑、此帝都復興ニ對シマスル所ノ大體ノ意見ハ過日簡単ナガラモ此議場ニ於テ憩ヘタノデアリマス、今ニ於キマシテモ私ノ抑、初メニ感動イタシマシタ所ノ一部分ハ、其大體義トシテ採用ヲ致シ、今日ニ於キマシテモ尚ホ且ツ聊カソレニ相違シタコトデハナイト云フコトヲ一言申上ゲテ置キマス、而シテ又普選問題ニ云々ト仰セラレテ、大キニ世ノ疑惑ヲ招クト云

フコトノ御話モゴザイマシタガ、ソレハ或ハ新聞紙上其他ニ散見シタルモノヲ土臺下シテノ御質問デハナイカト思ヒマス、是ハ地方長官ニ對シマシテ私ノ演説中ニ大體ノ希望ヲ申述ベテ置キマシタ、是等ハ何レ成案ト致シ、其筋ノ審議ヲ經マシテ後、議場ニ憩ヘネバナラヌ重大ナ問題デアリマス、然ルニ甚ダ御質問中ニ或ハ之ヲ即行ヲ致シ、或ハ是ニハ多少ノ行掛リヲ付ケルガ如キ、殆ド曖昧ナコトヲ私ガ申シタヤウナ御言葉ガアリマシタガ、左様ノコトハ決シテゴザイマセヌカラ、左様御承知ヲ願シテ置キタイ、ソレカラ此火災保険ノコトニ付テノ御話デゴザイマシタナレド、私ガ直接、震災直後ニ罹災民ヲ代表サレタト云フ所ノ諸氏ニ一回若クハ一二回面會ヲシタコトガゴザイマシタガ、其際ニモ斯ノ如キ場合ニ際シテハ、個人ノ利益ヲ或程度ニ犠牲ニスルト云フコトハ、道德上、今日ノ場合ニ於テハ已ムヲ得ヌコトデハナイカ、即チ私ヲ捨テテ、公ニ殉ズルト云フコトハ、此時デアラウ、然ラバ責任アル所ノ會社諸氏ハ、各々自分ノ權能ニ訴へ、將ニ道德心ニ訴ヘベキモノナリト云フ量見ガ付イタナラバ、其考ヲ以テ初メテ足ラザルモノヲ政府ニ向ウテ考ヲ言ハレルト云フコトガ穩當デハナイカ、已レヲ捨テテ直チニ何事モ政府ニ之

〔國務大臣井上準之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（井上準之助君）唯今ノ勝田君ノ御質問ニ對シテ御答イタシマス、政府ハ帝國ノ經濟復興ニ付テ如何ナル考ヲ持テ居ルカト云フ御問デゴ

ザイマシタガ、日本ノ產業ハ既ニ震災前數年前ヨリ根本的ノ改良改善ヲ致スベキ必要ニ迫ラレテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、海外貿易ノ獎勵トシマシテモ、尙ホ海外ノ發展ト致シマシテモ、根本ハ此日本ノ產業政策ノ改善ニアルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ此產業政策ノ改良改善ニ付キマシテハ唯獨リ政府ノ政策ノミニ於テ此目的ヲ達スルト云フコトハ非常ナ困難デアリマシテ、官民共ニ相倚ッテ之ヲ圖ラナキヤナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ種々ノ考モ持ッテ居リマスガ、唯今、總理大臣ヨリ御答イタシマシタヤウニ、若シ議會ニ諮リマスコトガアリマシタナラバ、通常議會ニ是ハ讓ッテ御諮詢シタイト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、尙ホ最後ノ御問ノ行政財政ノ整理ヲ急速ニ根本的ニスルカト云フ御問ニ對シテハ、行政財政ノ整理ヲ致ス積リデアリマス、即チ根本的ニ急速ニ此整理ヲ試ミテ見タイト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマスカラ、此點ヲ御答イタシテ置キタウゴザイマス

○議長（公爵德川家達君）坂本男爵……坂本男爵ノ御登壇ヲ願ヒタイト存

難デアリマシテ、官民共ニ相倚ッテ之ヲ圖ラナキヤナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ種々ノ考モ持ッテ居リマスガ、唯今、總理大臣ヨリ御答イタシマシタヤウニ、若シ議會ニ諮リマスコトガアリマシタナラバ、通常議會ニ是ハ讓ッテ御諮詢シタイト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、

尙ホ最後ノ御問ノ行政財政ノ整理ヲ急速ニ根本的ニスルカト云フ御問ニ對シテハ、行政財政ノ整理ヲ致ス積リデアリマス、即チ根本的ニ急速ニ此整理ヲ試ミテ見タイト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマスカラ、此點ヲ御答イタシテ置キタウゴザイマス

○議長（公爵德川家達君）坂本男爵

〔勝田主計君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵德川家達君）勝田君ハ今御發言ガゴザイマセヌカッタカラ、坂

本男爵ニ許シマシタガ……

○勝田主計君 實ハ何ンデス、政府ノ御當局カラ、何カ私ノ質問ニ對シテ御答辯ガ残テ居ルヤウデスカラ、有ルカト思ウテ緩ツクリ致シテ居タノデスガ、若シ無ケレバ、チヨット私一言言ッテ置キタイノデゴザイマス、御許シ願ヒタウゴザイマス

○議長（公爵德川家達君）坂本男爵、一遍御名ヲ呼ビマシテ取消シマスノハ、

先例ニ致シタクゴザイマセヌガ、事情モ能ク分ッテ居リマスカラ、一時、坂本男爵ノ登壇ハ御延バシヲ願ヒタウ存ジマス、今勝田君ニ御發言ヲ許サウト思ヒマス……勝田君

○勝田主計君 此席カラ、簡単デゴザイマスカラ……唯今、總理大臣並ニ大藏大臣ノ御答辯ニ依リマスト、一部了解ヲ致シタコトモアリマスケレドモ、

殊ニ大藏大臣ノ速ニ根本的ニ財政行政ノ整理ヲスルノデアルト云フ御明言ニハ、是ハ私ハ頗ル満足ヲ表スル次第デアリマス、其他、私ノ御問ヒ申シタコトニ付キマシテ、マダ御答ノナイ點モアリマス、アリマスルガ……又私ニハ不明瞭ト考ヘラルル點モアリマスルガ、斯様ナ際デアリマスルカラ、其詳

細ニ瓦ルコトハ他日ノ機會ニ譲リマシテ、私ハ敢テ茲デハ反問ヲ致シマセヌカラ……併シ私ガサウカト言ウテ間ウタコトヲ、スッカリ私ノ呑込メルヤニ御答辯ガアッテ、承知ヲ致シタモノノデアルト云フ誤解ノナイヤウニ念ノタメ願ツテ置キマス

○議長（公爵德川家達君）坂本男爵……坂本男爵ノ御登壇ヲ願ヒタイト存

シマス

○男爵坂本俊篤君 登壇イタシマスル前ニ議長ニチヨット申上ゲテ置キタイ

○議長（公爵德川家達君）議長ニデスカ

○男爵坂本俊篤君 議長ニ……

○男爵坂本俊篤君 宜シウゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 本員ノ御尋ネ致シタイト思ヒマスコトハ事多ク帝都復興ニ關シマシテ後藤復興院總裁ノ御答辯ヲ煩ハシタイト考ヘマス、唯今他ニ行カレタヤウデスカラ……

○議長（公爵德川家達君）唯今直グニ出席ヲ求メマセウ

○男爵坂本俊篤君 ソレデヤ御出席ニナルマデ待チマセウ

○議長（公爵德川家達君）藤山雷太君ニ御相談イタシタイト存ジマス、唯今坂本男爵ノ御要求ニ依リマシテ、後藤帝都復興院總裁ノ出席ヲ求メツツゴザ

イマスガ、後藤子爵ハ今衆議院ノ委員會ニ是非出席セラルル必要ガ有ル趣デ、コチラヘ出席セラルルヤ否ヤガ今未定デゴザイマス、藤山君ノ質疑ハ總理大臣ノミデハイケマスマイカ、復興院總裁ノ出席モ必要デゴザイマセウカ

○藤山雷太君 私ハ總理大臣並ニ大藏大臣、内務大臣ノ出席ヲ願ヒタイ、併シ最初ハ大藏大臣ト總理大臣ガ御出デニナリマスレバ私ハ宜シウゴザイマス

○議長（公爵德川家達君）大藏大臣モ豫算委員會ニ今出ラレマシテ、實ハ總理大臣モ衆議院ヘ出席セラルル爲ニ退席セラルルト云フ今御申出デゴザイマシタガ、暫ク此處ニ御止リヲ議長ハ願ツタ次第デアリマス、藤山君、如何デゴザイマセウカ、總理大臣ニ對スル部分ダケ今御述ベニナツテハ如何デゴザ

○男爵坂本俊篤君 承知シマシタ

○藤山雷太君 承知シマシタ

○議長（公爵德川家達君）坂本男爵、今ノ次第デゴザイマスカラ、坂本男爵ニハ暫ク御待チヲ願ヒタウ存ジマス

○男爵坂本俊篤君 承知シマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 藤山君ノ登壇ヲ望ミマス

〔藤山雷太君演壇ニ登ル〕

○藤山雷太君 私ハ本年八月ニ此議員ノ光榮ヲ得マシタモノデ、初メテ此臨時議會ニ出席スルノデアリマス、本來ナラバ沈黙ヲ守ルノガ當然デアラウト自分デモ深ク信ジテ居リマス、併ナガラ此臨時議會ハ帝都復興ノ爲ニ開カレタ議會デアリマシテ、此帝都復興ノ成否ハ帝國ノ休戚ニ係ハル大問題デアルト信ジマス、而シテ此問題ガ政府ノ意思モ十分ニ國民ニ貫徹セズ、又我國ノ要望スル所ガ政府ニ徹底シマセズシテ、其間ニ總テノコトガ議了デモサレマスルト、實ハ私ハ遺憾ナリト信ズルノデアリマス、十分ニ政府ノ意思ヲ確メ、我國ノ希望ヲ十分ニ徹底シマシテ、其間ニ齟齬ナク隔意ナキ諒解ヲ得ルノガ此議會ニ於テハ最モ大事ト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ私ハ東京市ニ永ク住居シマシテ、又有ラユル方面ノ市民ト有ラユル機會ニ接觸スル所ノ仕事ニ從事イタシテ居リマス、故ニ此帝都復興ニ現レテ居ル問題ニ對シテハ我市民トシテモ如何ナル考ヲ有ッテ居ルカ、又ドウ云フ希望ヲ有ッテ居ルカト云フコトヲ貫徹セシムルコトハ私ノ義務ナリト信ジテ居ルノデアリマス、故ニ此議會ニ初メテ席ヲ得タカラ諸君ニ私ノ考ヲ申上ゲテ見、且ツ政府ニ十分御尋ネ致シタイト考ヘルノデアリマス、帝都ノ復興ト申シマスルケレドモ、我ハ此帝都ノ復興ニハ第一、第二ノ要素ヲ備ヘナケレバナラヌト考ヘル、ソレハ第一ハ精神的ニ國民ガ復興ヲシナケレバナラヌ、故ニ此精神ノ作興ヲ如何ニシテ策スルカト云フコトガ第一ノ問題デアラウト考フル、第二ニ物質的ノ復興デアル、即チ此度、帝都ノ震災火災ト云フモノハ數十萬ノ人命ヲ損シ、數百萬ノ財産ヲ糜シ、實ニ非常ナ災厄デアリマス、併ナガラ此機會ニ所謂物質的ノ回復ヲ非常ナ緊張シタル精神ヲ以テ圖ラナケレバナラヌト考ヘル、其モノハ何デアルカト云ヘバ、即チ產業的復興竝ニ都市計畫、此二ツデアラウト考ヘル、私ハ精神的復興ニ於キマシテハ、畏クモ 陛下ハ御詔勅ヲ下サタ、是ハ啻ニ此度ノ震災ノミノ問題デヤナイト思フノデス、全國國民ノ即チ精神的復興ノ急務ナルヲ御示シニナックコトト信ジマス、而シテ私ハ常ニサウ考ヘテ居リマス、總テノ問題ハ人ニ存スル、何事デモコノ人ト云フモノノ改善ガ出來ナケレバイカヌト常ニ考ヘテ居リマス

〔ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ〕

我ガ日本帝國ハ實ニ維新以來、非常ナル一大進歩ヲナシタト云フコトハ掩フ

ベカラザル事實デアルノデス、併ナガラ日露ノ戰役ヲ境トシテ、日露戰役終了後ノ日本國民ノ精神狀態ト、日露戰役前ノ日本國民ノ狀態トハ、如何ニ精神的ニ違ガアルカト云フコトヲ私ハ認メテ居ルノデアリマス、我ガ國民ハ日露戰役マデハ非常ニ緊張シタル精神ヲ以テ、私ハ皆進ンデ來タモノデアラウト信ジマス、政治家モ學者モ實業家モ、其他有ラユル方面ノ人ガ歐米先進ノ國ニ劣ラヌヤウニ、我國ハマダ一步其後ヘニアルト云フコトヲ自覺シテ居ッタノデアル、故ニ產業ニ從事スル者ハ產業ヲ以テ國ヲ立テナケレバナラヌト考ヘ、學者ハ學問ヲ以テ天下ニ誇ルベキ發明ヲシナケレバナラヌト云フ考デアッタデアリマセウ、其他政治家モ有ラユル方面ガ、日露戰役マデハ非常ニ緊張シテ國家ヲ各自ニ荷フヤウナ精神ヲ有ッテ居ラレタト私ハ考フルノデアル、而シテ日露戰役ノ終了後十四五年、此間ニ歐羅巴ニ大戰爭ガアリマシタ、併ナガラ我國モ歐羅巴ノ戰爭ニ參加ハ致シマシタガ、遠ク戰場ニ遠ザカッテ居ル爲ニ戰禍ヲ被ラズシテ、サウシテ貿易ノ上ニ於テハ二十有餘億ノ即チ利益ヲ得タ、俄ニ國民ハ即チ成金ニナツタノデアル、而シテ國モ忽チニ一等國ノ即チ列ニ列シタ、其間、國民ノ精神ハ總テ弛緩シタルノデアルト云フコトハ事實デアル、而シテ國民ノ思想ハ今日ハ皆サン恐ラクハ誰デモ慨嘆スペキ狀態ニアリヤシナイカト思フ、此儘ニシテ置ケバ實ニ日本ハ如何ナル設備ヲシ如何ナル物質的計畫ヲヤッテモ、之ヲ指導シテ行キ、運用シテ行ク所ノ其人ニシテ緊張シタル精神ヲ持タナケレバ、逆モ我ガ日本帝國ノ十分ナル復興ハ出來マイト考ヘルノデアリマス、此場合ニ於テ大震大火ガ起ッタ、或ル人ハ之ヲ天譴ナリト云フ人モアリ、日本國民ガ非常ニ驕ッテ居ル、非常ニドウモ惡イ今日ノ狀態ヲ天ハ譴メタノデアルト云フ人スラアリマス、私ハ今日ノ時世ニサウ云フコトヲ信ジマセヌ、併ナガラ此天災ハ即チ日本國民ニ精神的復興ヲ與ヘルベキ一ツノ機會ヲ作ッタト云フコトハ争フベカラザル事實デアラウト思フ、此震災ノ爲ニ非常ニ人心ニ「ショック」ヲ與ヘタ、人心ハ此儘デハイカヌト云フ感ハ今恐ラクハ東京市民ノミナラズ全國ヲ通ジテ漲ッテ居ル所ノ精神デアラウト思フノデス、此精神ヲ利導シテ能ク日本ノ國民ノ思想ヲ今日ヨリ轉換セナケレバナラヌ、即チ大事ナ時節ニ遭遇シテ居ル、而シテ其國民思想ヲ轉換スル方法、之ヲ利導スル方法ト云フモノハ如何ニスベキカト云フ問題ハ、是ハ皆サンモ平生御考ヘデアリマセウガ、私ハ教育ト宗教ヨリ外ナイト考ヘル、教育ニハ文部省ニ文部大臣ガアリ、有ラユル方面ノ色々ノ事ヲシテ居

ラレルト云フコトデアリマスガ、私ハ此國民ノ信仰ト云フモノヲモット固クシナケレバイカヌ、宗教デ民衆ノ教化ヲシナケレバナラヌ、私ハ最近歐米ヲ漫遊シテ來マシタガ、先進國ノ彼ノ科學ノ進ンダ國民デモ宗教ト云フモノニハ非常ニ重キヲ置イテ居ル、ソレハ各國、此宗教ヲ以テ人心ヲ收攬シ、利導スルコトニ十分ナ力ヲ持ッテ居ルノデアル、然ルニ我國ニ於テハ成程、佛教ト云フモノモアリマス、其他色々ノモノモアリマスガ、此民衆ヲ教化シテ思想ヲ十分ニ涵養スル方法トシテ、今日ノ佛教ノ人達ガ誰デモ骨折ッテ居ルカト云フコトハ非常ナ問題デアラウト考ヘマス、然ルニ此度ハ帝都デ御寺ノ燒ケタ數ハ何デセ五百何十軒アル、而シテ今マデノ御寺ト云フモノハ何デアルカト云ヘバ、御承知ノ通ソニ葬式ヲスルダケノ所謂葬式坊主ト云ツテモ宜イノデアル、決シテ教化ノコトナドニ力ヲ盡スコトハ出來ナイ、殊ニ寺ノ維持スラ出來ナイ生活ニ困難ナ寺ガアル位デアル、私ハ斯ウ云フ場合ニコソ、此寺院ノ整理ヲ一ツシナケレバナラヌ、寺ガ五百何十軒モ焼ケテ、サウシテナカヽ大事ナ場所ニ大事ナ土地ダケハ持ッテ居ル、併ナガラ是ガ民衆ヲ教化スル場所ニハナツテ居ナイ、斯ウ云フモノニ對シテハ復興計畫ノ中ニ、即チ精神復興機關トシテ、ドウ云フ政府ハ御考ヲ持ッテ居ルカ、私ハ此場合ニコソ内務省ノ社寺局デアリマスカ、サウ云フ所ニ於テ大イニ此寺ヲ整理併合シテ或必要ナ場所ニ大キナ寺院ヲ立テテ、サウシテ民衆教化ノコトヲ十分ニヤラセテ、サウシテ此日本ノ今日、此精神的ニ萎靡シテ居ルモノニ對シテ十分ナ教化ノ方法ヲ講ズルト云フコトガ非常ニ必要デアラウト私ハ考ヘル、今ノ情勢デ勞働問題モ宜シ、社會問題モ宜シ、併ナガラ何處ニ歸一セシムル信仰ト云フモノガ何處ニアリマスカ、國民ニ信仰ノ無イ國民コソ非常ナ危險ナモノデアルト私ハ考ヘル、教育ノ方法デモ宜シイ、宗教ノ方法デモ宜シイ、サウ云フ途ヲ此場合ニ於テ政府ハ十分ニ御研究下サラナケレバイカヌト思フ、即チ此帝都復興ノ一項目ニ寺院ト云フ問題ハドウシテモ當然現ハレテ來ナケレバナラヌ問題ト私ハ考ヘテ居ル、今ノヤウナ情勢デアツテハ此寺ト云フモノハ全ク自分ノ維持スラ出來ナイモノガアル、斯ノ如キ寺ガ散在シテ居ル、何等國家教育ノ衝ニ當ルコトハ出來ズシテ終リハシナイカト私ハ考ヘル、第二ハ何カト云ヘバ、是ハ勿論、生產的復興デアルト考ヘマス、生產ト云フモノノ復興ガ行ハレナケレバ、ドンナ立派ナ町ニナラウガ、ドンナ立派

ナ建築ヲ造ラウガ、是ハ駄目デアル、而シテ生產的復興ニモ緩急二様ガアルト私ハ考ヘル、第一ハ現在ノ市民、現在ノ罹災者ヲ如何ニ利導シテ生產ヲ興ヘルカト云フ方法デアル、是ハ非常ニ私ハ…大藏大臣ハ此處ニ御居デニナラヌヤウデスガ、大藏省ニ於テモ御注意下サルコトヲ希望シマス、何カト云ヒマスルト、今日燒ケテ現在アノ「バラック」ヲ拵ヘテ居ル、アノ「バラック」ヲ拵ヘテモ實ニ僅ナ「バラック」ノ資金ヲ得ルニ過ギナイ、商賣ヲスルニモタダハ出來ナイ、商品モ仕入レナケレバナラヌ、倉庫モ建テナケレバナラヌ、斯ウ云フ問題ニ付テ、實際今日ノ經濟機關デハ斯ウ云フ中流ノ市民ヲ救濟スル途ハ無イノデアル、御承知ノ通リ株式取引所ハ燒ケテ仕舞ツタ、株式取引所引ハ數箇月ノ間已ムヲ得ズ休業スルノ悲境ニ陥ツタ、併ナガラ株式取引所ハ仲買人百人ニ相當ノ資金ヲ貸與スル方法ヲ執ッタノデアル、百人各自ニ即チ産業ラバ、今日ニ至ツテモ恐ラク株式取引所ハ開ケナカッタカモ知レヌト私ハ考ヘル、其通リ、今深川ノ正米問屋ト云フモノハ殆ド全滅シテ居ル、深川ノ材木問屋ト云フモノモ殆ド全滅シテ居ル、是等ニ金融ヲ與ヘル方法ハドウデアルカ、大藏大臣ハ言ハレルデセウ、今マデノ從來得意ノ銀行モアル、其途ヲ通シテ政府ハ一億圓ノ金ヲ貸スヤウナ方法ヲ執ッテ居ル、サウ言ハレルデセウ、併ナガラ事實ハ、ソレハ何等ノ效ヲモ奏シテ居ナイ、深川ノ廻米問屋、即チ各自ニ全國ノ米ヲ買ツテ、サウシテ深川ノ自分等ノ倉庫ニ入レテ、其倉庫證券ヲ以テ金融ヲ圖ラナケレバナラヌ、然ルニ其倉庫ハ燒ケテ仕舞ツタ、自分ノ財產ハ燒失シタ、ソコデ今日ノ廻米問屋モ其資金ハ非常ニ缺乏シテ居ル、之ヲ銀行ニ仰ガムトスルカ、銀行ハ無擔保デ何等ノナニガ無イ者ニハ、ナカヽノマセウ、下手ニヤレバ弊害モ生ズルデアラウ、併ナガラ決シテ弊害バカリデウ云フ場合ニハ矢張リ廻米問屋ナラ廻米問屋ノ組合ヲ作ツテ、之ニ資金ヲ供給スル途ヲ各銀行ヲシテヤラセル方法ガナゼ出來ナイノカ、其方法ハ色々アリマセウ、下手ニヤレバ弊害モ生ズルデアラウ、併ナガラ決シテ弊害バカリデハナイ、巧クヤレバ是モ行ケルト私ハ考ヘル、深川ノ材木問屋モ同ジコトデアル、今材木ヲ各地カラ持ッテ來ルモノハ何カト言ヘバ、即チ大キナ會社デアル、是等ノ資金ヲ他ニ仰グ必要ノ無イ人ハドシ…持ッテ來テ居ル、併ナガラ現はレバナ

ラスト云フ形デアル、斯ウ云フモノモ是等ノ組合ヲ作り、相當ノ信用ノ方法ヲ立テ、之ニ商賣ヲセレト云フコトハ、ドウシテモ今日ハシナケレバイケナイト思フ、斯ウ云フ中堅ニナル、國民ノ中堅ニナル即チ商賣人ハ非常ナ金持デハナイ、併ナガラ實際日本ノ商賣ノ機關ハ誰ニ依ッテ行ハレテ居ッタカト云ヘバ、サウ云フ即チ忠實ナ、中堅ニナル人ガ相集ッテ此東京市ノ商賣ハ出來テ居ッタ、即チ是ガ實際デアル、併ナガラ此力ノ有ル實際ノ商賣人ハ手ヲ拱イテ、サウシテ政府ノ手ニ依ッテ材木ヲ買ヒ、或ハ大キナ會社ノ手ニ依ッテ仕事ヲスルト云フヤウナ情勢ニ今日ハアルト思フ、ドウシテモサウ云フ實際ノ商賣人ヲ救濟シテ、サウシテ之ニ相當ノ資金ヲ供給スルノ途ヲ立テナケレバ駄目ダト私ハ思フ、サウ云フ即チ生產的ノ、現實ノ、今ノ目前ノ商賣ヲ復興セシムル方法ヲ一ツ政府ハ十分ニ御考慮ヲ下サラナケレバイカヌト私ハ思フ、其方法ヲ政府ハドウ付ケテ居ラレルカ、銀行屋ニ一億ノ再割引ヲ許シタ、ソレデ總テノ商賣人ガ自分等ノ平生ノ取引銀行ト云フモノヲ通ジテ十分ナ活動ガ出來ルト御考ヘニナレバ、ソレハ間違ダト私ハ信ズル、銀行屋自身ガ逆モ今日ハサウ云フ金ヲ進ンデ貸スト云フ場合デナイ、又非常ナマダ不安ニ打タレテ居ル、僅ニ二月前マデハ「モラトリアム」デ、支拂ヲ停止シテ居ッタ狀態デアッタ、ソレガ漸ク解カレタ今日ニ於テ自ラ自分ノ金ヲ以テ各産業者ニ資金ヲ供給スルナドト云フコトハ、言フベクシテ行ハレス事柄デアル、此銀行者ノ所謂非常ナ自衛ノ爲ニ、又「シヨック」ノ爲ニ自ラ營業ノ資金ヲ活用スルコトノ出来ナイ状態ニアル、今日金融ガ緩漫デアルト云フコトハ何デアルカト云ヘバ、貸サナイカラ緩漫デアル、利用サレナイカラ緩漫デアル、是等ヲ利用セル方法ハ、各銀行ヲシテ能ク共同一致サセ、サウシテ國家ガ之ニドウ云フ風ニカシテ貸セバ必シモ危険デハナイ、商賣人ハ借リタ金ヲ引ッ掛ケヤウト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル者ハ恐ラクナイ、ドウカシテ自分ガ商賣ヲシテ自ラノ信用ヲ高メテ、益々商賣ヲ盛ニシナケレバナラヌト考ヘテ居ル、方法ヲ以テ之ニ臨メバ決シテムヅカシイコトハナイト私ハ考ヘル、其他有ラユル方法、東京實業組合ト云フモノハ三萬何千人ノモノガ即チ此度ノ震災デ焼ケテ仕舞ッタ、ソレナゾハ皆中流ノ國民デ、東京ノ商賣ハ其人達ニ依ッテ成立ッテ居ル、斯ウ云フ人達ニ營業資金ヲ供給スル途ト云フモノハ、今僅カニ興業銀行、勸業銀行デ千萬圓カ千五百萬圓出シテ、サウシテ日本、東京ノ商工業ノ復興ガ近キ將來ニ出來ルノナンノト云フ御考ガ若シ有リトスレバ、ソ

レハ間違ダト私ハ思フ、此點ニ付テ私ハ現實ニモウ少シ御心配下サラナケレバマイマイト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、而シテ將來ノコトニナリマスルト、私ハ東京ト云フモノハ消費地ト論ズル人ガアリマスケレドモ、消費地デハナイ、生產地デナケレバナラヌ、ドウシテモサウ信ズル所デアル、御承知ノ如ク世界ノ都市ハ皆集中サレテ居ル、此集中、都會ニ集中スル利害ト云フコトノ問題ハ別問題デアリマスガ、併ナガラモウ人文益々進ンデ來ルニ付テ都會集中ト云フコトハ勢ヒノ免レヌ所デアル、既ニ紐育ノ如キハ今日デハ六百萬ノ人口ヲ有シテ居ル、英吉利モ大倫敦トシテ八百萬ノ人口ヲ有スル、東京市モ私ハ將來必ズ、今ハ二百五十萬トカ三百萬トカ云ッテ居リマスガ、若シ大東京市ヲ構成シタナラバ五百萬位ノ人口ニナルダラウ、其都會ニ集中スル利害ハ暫ク措イテ、此集ッタ人ヲドウシテ養ウテ行クカト云ヘバ、是ハ產業ヲ復興シ、工業ヲ興スヨリ外ニ方法ハナイト考ヘル、工業ハドコニ出來ルカト云ヘバ、深川本所方面、アレハ工場地トシテ計畫ナサル、又我ゝガ東京市ヲ產業地トシテ計畫スルト云フ爲ニ非常ニ必要デアル、決シテ消費地デ甘ンジテ置クベキ場所デナイ、ドウシテモ生產地トシテ工業地トシテ東京市ハ發達セシメナケバナラヌ、併ナガラ生產地トシテ發達セシメル要素ハ何カト云ヘバ、生產ヲ安ク造ルコトガ出來ナケレバ、是ハ產業地トシテ發達シナイノデス、產業地トシテ發達スルニハ製品ヲ安ク造ッテ、良イ物ヲ世界ニ供給スルト云フ途ヲ開カナケレバナラヌ、然ルニ今深川、本所、ア、云フ所デ、私モ工場ヲ持ッテ居リマスルガ、非常ナ不便デアル、逆モア、云フ所ニ工場ヲ造ッテ世界ニ生産ノ販路ヲ爭フト云フコトハムヅカシイ、内地同士ヤルナラバ宜シイ、併シセル方法ハ、各銀行ヲシテ能ク共同一致サセ、サウシテ國家ガ之ニドウ云フモ海外貿易ト云フコトニ力ヲ竭サナケレバナラヌ、然ラバ各國ト競爭シテ出來ルダケノ安イ品物ヲ造ラウト云フノニハ、今ノアンナ設備デハ逆モ駄目デス、運河モ造ラナケバナラヌ、東京灣ニモ船ガ來ルヤウニシナケレバナラヌ、海陸ノ設備モシナケレバナラヌ、併シ是ハ一朝ニシテ出來ルモノデヤナイ、私ハ決シテ三年ヤ五年ノ計畫トシテ政府ガ御ヤリニナル必要ハナイト思フ、併ナガラ幸ヒ、トハ申シマセヌ、甚ダ不幸デアリマスガ、今ハ東京市ハ燒野トナツテ居ル、此場合ニ於テ相當ナ大計畫ヲ作ッテ、サウシテ之ヲ五年トカ七年久デナケレバナラヌ、ソレニ三年トカ五年ト云フ短クテ其僅ノ間ノ財政計畫

ニ依テヤラウト云フ御考ヲナサルカラ實ニ我ヨノ満足スルコトガ出來ナイ

此復興事業が起<sup>ツ</sup>テ來ハシナイカト思フ、現ニ帝都復興院テ御出シニナタメ久詩  
畫<sup>ミ</sup>大變<sup>ハ</sup>ヘヅラル、私ハ評議委員會トシテ一画ニハ出テ居リマスガ、其時

ニ出テ居ルモノヨリハ運河バカリデモ大變削ラレテ居ル、併ナガラ此運河ヲ

聯絡シテ將來ニヤルト云フコトハ、若シ帝國ノ首都タル東京ヲ產業地トシテ、併ナ

ガラ我より三年ノ間ニ之ヲ御ヤリナサイ、五年ノ間ニ御ヤリナサイトハ言ハ  
キ、并ノニヤント是、將來ニ是カラ是マデハ運河ヲ造レ易所デアルト云フコ

トヲ何故市民ニモ國民ニモチャント明ニ御示シニナラヌカ、若シ此度ノ計畫デ

運河敷地トシテ計畫サレタ所ヲ防火地帶ニ入レテ、サウシテ永久的建設ヲ  
造<sup>ツ</sup>テ、又數年ノ後、是ハ運河開鑿ラスルカラ御前ハ壞ハサナケレバナラヌ

ト云フヤウナコトヲサレテハ非常ニ迷惑デアリ、又非常ニ國家ノ損失デアルト弘ハ考ヘマス、サウ云フ所ハ此處ハ今ハ出來ナイガ五年十年ニハ此川ト此

運河トヲ繋グ場所ダト云フコトヲチャント地域ヲ示シテ……三年ヤ五年ノ短

イ年限デ吾ミ帝國ノ首都ヲ構成スル必要ハナイト者ヘル、私ノア、云フニトモチャント大體ノ計畫ヲ立テテ、日本ノ經濟ノ狀態ガ三年五年デハ今ノ私ハ

計畫デモ恐ラクハ出來ナイダラウト信ズル、或ハ繰延ベナケレバナラヌ必要  
ガ生ジテ來ルダラツ、七年ニ御計畫ニナッタノヲ今度五年ニ御約メニナッタ、

五年デハアノ計畫モ私ハ恐ラク出來マイ、兎ニ角、大體ノ計畫ヲ御示シ下サツ  
ヘ、可當ニノアリキ旦ツカタニテ、此ノニヤン・里ツ、ミアダノ一毛

テモ本建築ヲ許サナケレバナラヌ、斯ウ思フ、本建築ヲ許サナイデ道幅モ何

時決マルカ分ラヌト云フヤウナコトデハ困ル、即チ今度地區區劃整理ヲ實行シヤウト云フコトデアル、市民ハ元來政府ノ力ヲ俟タズシテ自ラ地區ノ改正

ヲ行ハウト云フ念ガ盛ンデアル、唯、今日ノ焼跡、今日ノ市ノ状態デ非常ニ  
若ソノデ各自自ラ進ノデヤレト云フコトハ出来ナシト云フ状態デアリマスカ

苦シムテ名自首シ道ニテハ云ノニ一ノ出發六ノ口云ノ狀前テアリテスルヲ  
ラ、五年三年ノ間ニ之ヲヤラウト云フコトハ非常ナ小サナ計畫ニ陷ルト私ハ

信ズル、又サウシナケレバ國家ノ財政ヲ奈何セムト云フ問題ガ起ルダラウト思フデス、私等ハ國家ノ財政ノ上カラ必ズ是ハ俄ニ厖大ナル豫算ヲ以テ、此

帝國ノ首都トハ申シナガラヤルト云フコトハ、今日ノ情勢ガ許サナイ、併ナ  
ガラ長イ間ニ一ツ之ヲ造ル方法ヲ是非立<sup>ツ</sup>テ貰ヒタイト考ヘマス  
○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタ

シマス

午前十一時五十八分休憩

○議長（公爵徳川家達君） 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、茲ニ御諮リヲ致シ  
タイコトガゴザイマス、本會期中、特別委員會竝ニ常任委員會ニ退席ノ要求  
ガゴザイマシタナラバ、一々議場ニ諮ラズニ、議長ニ於テ差支ナイト認メマ  
シタ場合ハ許シタイト考ヘマス、御異議アリマセヌカ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス 藤山雷太君ノ登壇ヲ望ミ  
マス

○藤山雷太君 演壇二登

○藤山雷太君 私ハ午前中、此産業復興ニ對スルコトニ付テ述べマシタ、産業復興ニ對シマシテハ、直チニ現實ニ行フベキモノト、將來ヲ期シテヤラナケレバナラヌモノトアルト考ヘマス、其現實ニヤル方法トシテ、私ハ政府ノ施設ハマダ十分ヂナイ、此模様デハ實際ニ今日ノ帝都ノ復興ハ期シ難イモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、其點ニ付キマシテ、私ハ午前中ニ大體申上ゲマシタノハ、即チ商工業ノ中樞ニ居ル實際ノ商賣人、其人達ガ家ハ燒カレ、倉ハ燒カレ、商品ハ燒カレテ、殆ド今日デハ漸ク「バラック」ヲ建テヤッテ居ル、斯ウ云フ人達ガ是カラ復興ヲシテ行クト云フニハ、ドウシテモ資金ノ供給ヲ相當ニヤラナケレバナラヌ、ソレヲ單ニ今日ノ現在ノ金融業者、銀行家ニ任せテ置イテ、完全ニ此復興ガ出來ヤウカト云フ問題ニ付テ、私ハ非常ニ遺憾ニ考ヘテ居リマス、勿論、現在何等ノ財產モ無イ人ニ、此金融業者ニ直チニ金ヲ貸セト云フコトハ無理ナ注文デアル、故ニ是ニハ方法ヲ立てナクレバナラヌ、私ハ方法ヲ立て貸付ケマシタナラバ、必ズ其商賣ハ復興スル機運ヲ有ッテ居ル、非常ニ人心ハ緊張シテ居ル、何トシテモ從來ノ如ク昔ノ暖簾ヲ回復シタイト云フ希望ヲ有ッテ居ル、併ナガラ是ガ單リ今マデノ得意ノ銀行ニ行ッテモ金ヲ貸サナイ、又銀行方面カラ言ッテ見マスト、自衛ノ必要ガアル、ドウシテモソレハ出來ナイト云フ狀態デアリマスカラ、實業組合ナリ、或ハ産業組合ナリ、其他有ラユル此國家ハ機關ヲ有ッテ居ラレル、今マデニ既ニ養成セラレタモノモアル、サウ云フモノト金融業者ト相密接ノ關係

ヲ付ケラレテ、サウシテ相當ノ資金ヲ供給シテヤルト云フ方法ヲ御付ケニナラナケレバ、私ハ現在ノ今日ノ帝都ノ復興ト云フコトニ非常ナ差支ヲ生ズルト云コトヲ深ク、實際私ハ接觸シテ居ル身分トシテ深ク其點ヲ感シテ居ル一人デアリマス、此點ニ付テ政府ハ是非一ツ其金融方法ニ付テ、モウ少シ啻ニ東京市トハ言ヒマセヌ、横濱市トハ言ヒマセヌ、即チ帝都ノ復興ニ對シテ全シテ此災害ヲ十分ニ回復スル途ヲ、モウ少シ是ハ考究シナケレバ駄目デアラウト私ハ考ヘル、此點ニ付テ政府ノ施設、又將來ノ施設セムトスル所以ヲ私ハ聞イテ見タイト考ヘルノデアリマス、次ニハ將來、我國ヲシテ產業的發達ヲセシメ、殊ニ東京市ヲ消費地デナクシテ、生產地トシテ產業ヲ興サスルト云フコトニナリマスルニハ、十分ナル其設備ヲ今日ヨリシテ置カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、我ムハ此度ノ災害ガ無クトモ、日本ノ今日ノ現状ハ如何、到底私ハ此外國ニ商品ヲヤツテ、外國ト競爭シテ、果シテ行ケルカト云フコトヲ疑シテ居ル一人デアリマス、我ムガ常ニ誇リトシテ居マシタ所ノ人心ハ益々頗廢シツツアル、悪化シツツアル、而シテ物價ハ益々激シナリツツアル、而シテ勞働問題ハ益々激シテ有ラユル方面ニ於テ此經濟機關ノ不備ト云フモノハ甚シイモノデアル、海陸ノ聯絡ガ如何ニ取レテ居ルカ、又全國ノ鐵道ノ運輸ノ情勢ハドウデアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスト云フト、此震災ガ無クトモ我ムハ一大奮發ラシナケレバナラヌ、非常ナ熱心ヲ以テ國家ノ責任ヲ擔ハナケレバナラヌ時代デアリマス、然ルニ今度帝都復興ノ跡ヲ見マスト、東京市ヲシテ產業政策ノ中計畫ハ小サイ、併シ小サイガ、兎ニ角計畫が出來テ、我ムハ評議會ニ於テモ心トシテ產業ヲ興起セシメルト云フ方法ニ何ガ計畫サレテ居ルカ、運河ト云フモノガ澤山造ラレテ居リマス、私ハ澤山ト申シマスルガ、併シソレハ甚ダ見マシタ所ガ、ソレハ何時ノ間ニカ消エ去ヅテ仕舞ッタ、デ私ハ今日ノ財政ノ狀態ニ於テ直チニ運河ヲ全部三年五年ニ造ラウト云フコトヲ政府ニ要求シタクハナイノデアリマス、我ムハ財政ト順應シテ其計畫ヲ立テナケレバナラヌト云フコトヲ最モ痛切ニ感ズル者デアリマス、併ナガラ將來ノ日本ハ決シテ今日ノ位置ニ我ムハ安ンジテ居ルト云フコトハ、ドウシテモ出來ナイノデアル、即チ所謂世界ノ一等國ニ列シテ世界ト共ニ立タナケレバナラヌ國民デアルト云フ自負ダケハ兎ニ角有タナケレバナラヌ國民デアルト考ヘテ居リマ

ス、併ナガラ將來斯ウ云フ計畫デ進ムト云フ大綱ダケハ斯ウ云フ場合ニ定メテ置カナケレバナラヌ、私ハ運河ノ如キモ、是ハ將來斯ウ聯絡ヲ付ケルモノデアル、斯ウシテ此河ノ運輸ヲ助ケルノデアル、斯ウ云フコトハ必シモデス、今日、此三年五年ノ間ニ其計畫ヲ實行シナクトモ、將來ノ計畫ヲ定メテ置ケバデス、我ム市民モ、或ハ國民モ、其決心ヲ以テ進ム、何ヲスルノカ分ラヌデドウナルカ、我ムガ家ヲ造ラウト言ヘバドウシタラ宜カラウト云フコトヲ迷テ居ル、立派ナ建築ヲスル人モ建築ハ出來ナイ、ドウナルカ分ラナイ、早ク大體ノ方法ヲ決シテ、斯ウ云フ風ニシテヤル、併ナガラ實行ハ他日ニ讓ッテ差支ナイト私ハ考ヘテ居ル、若シ此運河ヲ造ル場所ニ耐火ノ煉瓦ヲ以テ、サウシテチャント建設物ヲ建テテ、サウシテ非常ナ是ハ不便デアッタカラト云フテ三年五年ノ後ニ之ヲ壞ハスヤウナコトガアレバ、是ハ非常ニ國民ニ不便ヲ與ヘルモノデアルト私ハ考ヘテ居ル、デ今日ノ政府ノ計畫ハ何故ニ三年、五年、初メハ七年デアッタガ、今度ハ五年ニ縮ンデ居リマス、五年ノ間ニダケヤルベキモノヲ示スガ、我ムハサウ云フコトデヤ甘ンジヌ、計畫ハ大ナルヲ要スル、而シテ之ヲ實行スルニハ歲月ヲ要シテ差支ナイト考ヘル、其場合ニ於テハ國民モ、市民モ、其心得ヲ以テ進ムノデアル、此處ハ三年五年ノ後ニ運河ガ出來ル場所デアル、ソレナラバ此處ニ工場ヲ建テテ置ケバ便利デアル、商館ヲ造テ置ケバ便利デアル、此建築ヲスルト云フコトハ各自ノ判断ニ於テ出來ルコトデアル、而シテ此度、遺憾ニ考ヘテ居リマスノハ、所謂將來ノ計畫ト雖モ今カラ直チニヤラナケレバナラヌ、所謂物ヲ廉クスル爲ニハ、ドウシテモモウ少シ東京灣ヲ凌ゲテ、サウシテ此船ヲ東京灣ヘ持ッテ來ナケレバナラヌ、此計畫ハ三千五百萬圓バカリデ出來テ居マシタガ、之ヲ切り離シテ通常議會ニ廻スト云フ御說ガアリマスガ、併ナガラ私ハ是ハ生產的復興ニ直チニ必要ナルモノデアリハシナイカト思フ、若シ之ヲ通常議會ニシテ普通政務トスルナラバ、ソレハ東京バガリヂヤナイ、神戸ノ築港モアリマセウ、或ハ門司ノ築港モアリマセウ、全國到ル處、運河ヲ造リタイ希望モアラウガ、是ハソレト同一ノモノデハナイト我ムハ考ヘテ居ル、東京築港ハ即チ現在ノ東京市ヲ復興サスル爲ニ、而シテ最モ廉イ、「チーブ」ニ之ヲ造ル爲ニ必要ナモノデアラウト私ナドハ考ヘテ居ル、是モ切リ離シテヤルト云フコトニナリマスルト、是ハ通常問題トシテ政府ハ考ヘラレテ居ルノデ、復興ニハ必要ナ事業デヤナイト考

ハラレタモノデヤナイカト云フ考ガ致シマス、是モ聞イテ見タイ、併ナガラ是モ必シモ東京灣築港ヲ二十五尺ノ深サニ掘ッテ、斯ウ云フ風ニスルト云フヤウナコトヲ三年五年デヤラナクテモ宜イ、漸次ニ進ム、現在ノ芝浦ニ船ヲ持ッテ來テ居ルモノヲ、モウ少シ便利ニ芝浦ニ荷揚ゲヲスルコトガ出來ルコトヲヤッテモ即チ現時ノ情勢ニ應ズルコトガ出來ル、今現在ノ芝浦ニ多數ノ物資ヲ持ッテ來テ、或ハ外國カラ材木ナリ其他ノ物ヲ持ッテ來テ居ル、今日現在ニ…私ハ帝國「ホテル」ニ行ッテ見マシタガ、其帝國「ホテル」ニ來テ居ル彼處デ腐ルカ知ラナイ、材木ヲ日本ノ救護局ニ寄附シナガラ持ッテ來ルコトヲ躊躇シテ居ル、帝都ノ復興計畫ヲスルコトハムヅカシイ、モウ少シ實際的デナケレバナラヌ、モウ少シ現實的デナケレバナラヌト考ヘテ居ル、ソレヲ單ニ東京灣築港トカ云フ、普通政務、普通ノコトトシテ、此復興計畫ヨリ御離シニナレバ、私ハ即チ政府ハソレダケ復興ニ必要ナルモノト見ラレヌト云フコトニナリハセヌカト思フ、是モドウ云フ御趣旨デアリマスカ、一ツ御尋ヲシタイト考ヘルノデアリマス、又東京デ產業ヲ主トシテヤリマスルニハ、深川、本所ノ方面ノ如キハ成ルダケ早ク此計畫ノ概要ヲ市民ニ示シテ、成程、議會ニ諮詢ラケレバイカヌカ知ラヌガ、併ナガラ政府ノ意思ハ發表シテ差支ナ、サウスルト普通ノ常識ヲ以テ判断スルコトガ出來ル、是ハ恐ラクハ議院モ通過スルダラウ、政府ハ斯ウ云フ之ニ對スル決心ヲ持ッテ居ラレルコトナラバ、今ハ市民ハ潰レタ工場ヲ復舊セシメル爲ニモ、既ニ皆迷ヒツツアルト云フ實際ノ狀態デアルカラ、早ク私ハ斯ウ云フコトニ對シテハ、政府モ、モウ少シ現實的ニ御注意ニナラナケレバイカヌト思フ、又人心ノ上ニ於テモ、今ニ灰燼ガアノ儘ニナッテ居ル、是ハ東京市ニヤラセルノデアル、斯ウ云フコトデアリマス、併シ東京市デモ其權限ハドチラデモ宜シイ、イツマデモ片付カナイト云フ事實ハ、我々ハ市民トシテ又國民トシテ恐ラク困ルデアラウト思フ、人心ヲ復興セシムベキ途デナイ、人心ヲ荒ラス途デアル、イツマデモ火荒マセル途デナイカト考ヘル、是等ハ早ク御ヤソニナラナケレバナラヌ、若シ市ガヤルナラバ、市ヲ十分御監督ナサルガ宜シイ、サウシテ今日ノ場合ニ於テハサウ云フ問題ニ付テ實際的デアルコトヲ私ハ非常ニ希望スル、ドウカ復

興院ナリ或ハ内務省ナリ、相當、途ヲ御講ジ下サルコトヲ希望シタイト思フ、東京市區改正ニ至リマシテハ私ハ同ジ理由ヲ持ッテ居ル、此道幅ノ如キモノハ必シモチャント技術家、實際家ガ集マッテ相當ニ研究シテ決メタモノヲ、或人、或力ノ忠告ニ依ッテ變更スル必要ハナイ、是ハ又其人達ノ意思デアルマイト思フ、詰リ財政問題デアル、三年五年デ道幅ヲ拵ヘルニ千圓モスルヤウナ土地ヲ買フト云フコトハ今日ノ經濟、國家ノ經濟デ堪ヘナイデヤナイカト云フ議論モアルデアラウト思フ、併ナガラ一面ニハ區劃整理ヲヤル、區劃整理ニハ此市民ノ德義心ニ訴ヘテ、サウシテ十分ニ將來ノ便利ガ開ケ將來ノ發展ヲ期セラル上ニ於テハ、決シテ市民ハソンナニ、ケチナ市民デヤナイト私ハ考ヘテ居ル、又道ヲ造ルノニ、今日ハ泥田ノヤウナ道デアル、ソレヲ紐育ノ如ク、倫敦ノ如ク、僅ニ一立方尺ニモ何百圓ト云フ金ヲ掛けテ、鋪修ヲシテ實ニ立派ナ道ヲ造ルト云フヤウナコトハ今日必要ハナイト思フ、ソレハ出来レバ宜シイ、併ナガラ國家ノ財政ガ許サヌ、併シ道幅ハ取ッラ置カナケレバナラヌ、道幅ヲ狭バメテ置イテ、サウシテ之ニ建築ヲサセテ、サシテ是ハ十年アトニナッテ、狹クナッタカラト云ッテ改築サセルト云フコトハ困ル、私ナドハ鋪修工事ノ費用ハ、場合ニ依ッテハ市民ノ德義心ニ訴ヘテモ出來ル方法ハ幾ラモアル、道幅ノ如キハ相當ニ技術家、實地家ガ集マッテ、是ガ適當ト信ジタルモノハ、サウシテ置カナケレバイクマイト思フ、御承知ノ如ク亞米利加ハ現在ニ於テ一億ニ足ラヌ人口デアリマス、而シテ自動車ノ數ハ一千七百萬臺ヲ現モノハ、サウシテ置カナケレバイクマイト思フ、御承知ノ如ク亞米利加ハ現在モコトヲ證シテ居リマス、併ナガラ日本モ二十年三十年後ニナッテ此自動車ハ日本ノ全體ガ幾ラニナッテ居ルカ知リマセヌガ、東京ノ市ニ一萬ニ足ラヌデアラウト思フ、一千七百萬臺ノ亞米利加ノ富ハ我々ヨリ以上ニ富ガ高イト云フコトヲ證シテ居リマス、併ナガラ日本モ二十年三十年後ニナッテ此自動車ガ五萬ヤ十萬臺ハ東京市ニナケレバナラヌ時代ハ近ク來ルデアラウト思フ、又サウデナケレバ「エフィシエッシー」…能率ガ舉ラス、亞米利加ノ人達ガ勞動者マデ自働車ヲ持ッテ居ル、而シテアノ「フォード」ノ自動車ハ亞米利加デ幾ラデ買ヘテ居ル、即チ三百弗デ、日本ノ六百圓、妻君デモ労働者デモ「ハンドル」ヲ執ッテ廻シテ居ル、サウシテ「フォード」自身ハ百五十弗マデニ必ズスル決心ヲ以テ製造ヲシテ居ルト云フコトヲ私ニハ明言ヲシマシタ、百五十弗ト云ヒマスト、日本ノ金ノ三百圓、而シテ是ガ信用制度ヲ以テ一遍ニ拂ハナイデ、貸ス途ヲ亞米利加ハ開イテ居ル、私モ此勢ヒハ日本ニモ來ルダラ

ウト思フ、現ニ亞米利加ノ「フーバー」ハ一千七百萬臺ノ爲ニ紐育ノ市中ハ今殆ド困ツテ居ル、マルデ歩イテ行ッタ方ガ早クナル、斯ウ言ツテ居リマスルガ、日本ニモサウ云フ時代ガ來ル時ヲ待タナケレバナラヌ、又我ムハ其覺悟ヲ持タナケレバナラヌ國民ト思フ、今日ニ於テハ相當ニ道幅ハ決メテ置イテ之ヲ鋪修スル、之ヲドウスルト云フ其事ハ所謂現下ノ經濟ノ狀態ニ於テ私ハ適應スペキモノデアルト思フ、必シモ五年ニ之ヲ計畫スルト云フヤウナコトハ、今ノ財政ノ上ニ於テハ今ノ計畫モ實行サルルヤ否ヤト云フコトヲ私ハ疑フ、寧ロ是ハモウ少シ長クシテ相當ニ計畫ヲ御立テニナル方ガ宜ウハナイカト思フ、其他公園ニシマシテモ、或ハ飛行場ノ建設ニシマシテモ、我ムハ現在ニ生キルバカリデナイ、將來ニ生キナケレバナラヌ帝都ヲ持ツテ居ルト考ヘテ居ル、併ナガラ其產業ヲ盛ンニシテ國ヲ富マシテ、ソレダケノ力ノ有ル國民ニナル方法トシテハ、モウ少シ堅實ニ之ヲヤラナケレバナラヌ、サウ云フ風ノコトヲ考ヘテ見マスルト、ドウシテモ是ハモウ少シ政府ハ御考ヘ下サッテ、復興院ニ於テモ御考ヘ下サッテ、ソレ等ノ道幅、運河、現實ニ私ハ金ヲ出シテ御ヤリナサイト云フコトヲ申上ゲルノデナク、將來ノ計畫ヲチャンント拵ヘ、是ハ經濟復興ヲ待タナケレバナラヌ、產業復興ヲ待タナケレバナラヌ、其爲ニハ將來ハ斯ウナルモノデアルト云フ、即チ燈明ヲツケテ置カナケレバ、私ハイカヌト思フ、ソレデナケレバ日本ノ產業ノ十分ナル發達、東京ヲシテ産業的都市トシテ世界ニ雄飛スルト云フコトハ思モ寄ラヌコトデアルト私ハ考ヘル、要スルニ私ハ今日ノ場合ハ震災火災ノ此天災ガ無クトモ日本國民ト云フモノハ、餘程ノ是ハ緊張シタル精神ヲ持ツテ行カナケレバナラヌ時代ニ、斯ウ云フコトガアリマシタカラ、先ヅ第一ニ人心作興ノ方法トシテ御詔勅ヲ奉體シテ何カ形ニ現ハレル豫算ヲ一ツ要求シタイト云フ私ハ希望ヲ持ツテ居ル、即チ宗教的方法トシテ寺院ガ五百何十軒モ焼ケ居ル、今ノ儘デ舊ノ通りニ建テ葬式其他ノ役ダケヲサスダケノ儘ニ打チャッテ置クト云フコトハ非常ナ惡イコトダラウト思フ、サウデナクテモ寺ナドハ潰レテ仕舞フ、私ハ併ベキモノハ併セ、サウシテ之ヲ民衆教化ノ本當ニ力アルモノニ作リ立テル、又僧侶ト雖モサウ云フ決心ヲ今日ハ持ツテ居ラレルデアラウト思フ、ソレデナケレバ若シ人心ガ今ノヤウニ思想上ニ悪化ヲ來タシマシタナラバ、是カラ何百萬ト云フ大都市ニナル東京市ハ產業政策ヲ遂行スル上ニ於テモ、非常ニ憂ヒヲ來タスデアラウト思フ、產業ノ要素ハ資本ト勞働ニアル、資本家ノ慎

シムペキコト、又今日マデニ考ヘテ居ルコトハ棄テナケレバナラヌト同時ニ、日本ヲシテ勞働ト云フモノト資本ト云フモノト能ク協調セシムルノ途ハ、今日ノ場合ニ於テ政府ハ能ク之ヲ指導シテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、ソレハ即チ社會教育、即チ宗教教育ヲ人心ノ上ニモウ少シ信念ヲ持タセテ、國家ノ上ニ皆熱心ニ考ヘルヤウニ導カナケレバナラヌト思フ、其方法トシテ私ハ豫算面ニ何モ出テ居ラヌ、宗教的ニモ社會教育的ニモ、文部省ハ文部省ノ主管トシテ色ムノ御計畫モアリマセウガ、此事ヲ御ヤリニナリマシテ、大概アチラデハ工場ノ中デモ皆禮拜所ヲ持ツテ居ル、サウシテ日曜ニハ休ム、學校デモ御承知ノ通リ禮拜所ガアル、御寺ニ詣ツテ歸リガケニ泥棒ヲスル者ハナイ、御宮ニ詣ツテ惡イ考ヲ持ツテ來ル者ハナイ、神社佛閣、數千年ノ歴史ヲ持ツテ居ル日本ガ、此教化機關ヲ更ニ斯ウ云フ場合ニ於テ、モ少シ御世話下サルト云フト語弊ガアルカ知レマセヌガ、何トカナサル途ヲ講ジナケレバ、私ハ此人心ノ作興ヲ盡スル所以デナイト思フ、私ハ是ハ一ツ是非政府ハサウ云フ方法ヲ御付ケナサラナケレバナラヌト思フ、然ラバ社會教育ト云フヤウナコトモアリマスカラ、サウ云フコトヲ相當ニ補助金デモ出シテ、サウシテ少シ張シテ、所謂天譴ヲ受ケタ我ム國民トシテ益、奮鬥スルト云フコトヲ、國民全體ガ今日ヤラナケレバ形ノ上ノ計畫ハ幾ラアッテモ駄目ダト思フ、況ヤ陛下モ御詔勅ヲ下サレ、總理大臣モ其御趣意デ御ヤリニナル、言葉バカリデハ是ハイケマセヌカラ、事實實際ニ形ノ上ニ、モウ少シ御現ハシ下サルコトヲ希望イタシタイト思フ、ソレカラ今ノ產業復興ニ付キマシテハ、實際ノ狀態ヲ能ク御調ベニナツテ、中產階級、眞ニ此商賣ノ中心トナツテ居ル人達ニ產業資金ヲ融通スル途ヲ組合ナリ或ハ其他色ムノ方法ヲ以テ御企テ下サルコトヲ思ヒマス、ソレカラ將來ノ產業政策ヲ實行スル上ニ於テハ、兎ニ角此復興事業ハ大局ノ上カラ、モウ少シ計畫ダケヲ御立テニナツテ、實行ハ必シモ五年間ト云フ期限ヲ御定メニナラナイデ、財政狀態ノ許ス限リニ於テ、モ少シ永遠ノ御計畫ヲ御立テ下サルコトヲ希望シタイト思フ、此點ニ對シテ總理大臣初メ皆サンノ御考ヲ願ヒ、御意思ノ在ル所ヲ御聽キシタイト思フ

〔拍手起ル〕

〔國務大臣伯爵山本權兵衛君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（伯爵山本權兵衛君） 諸君、唯今藤山雷太君ヨリ午前午後ニ續キ  
マシテ御質問ガゴザイマシタガ、之ニ對シマシテ大要ヲ御答ヲ致シタイト存  
ジマス、抑、帝都復興ノ計畫ハ獨リ物質的ニ止マルニアラズシテ、精神的作  
興ヲ加味シナケレバナラヌト云フコトニ對シマシテ、日露戰役ニ至ルマデノ  
萬般ニ對スル所ノ御希望ニ於キマシテハ感ヲ同シウスル者デアリマス、固ヨ  
リ今回ノ復興計畫ニ關シマシテハ目前ノ急ニ應ズルト共ニ長イ時日ノ餘裕ヲ  
求メルコトガ出來マセヌ故ニ、抑、初ニハ七箇年ノ計畫ニ致シマシテ、京濱  
間ノ運河及港灣等ノ築設ヲ爲ス計畫デハゴザイマシタ、然レドモ實際ノ有  
様ヲ見マスルト云フト、此問題ハ此帝都復興ノ計畫ト不可分ノモノト最初考  
ヘテ居リマシタナレドモ、此問題ノ如キハ必シモ六七年ノ間ニ完備セザル  
モ、尙ホ將來ノ隆盛ヲ期スル爲ニ、目下ノ焦眉ニ應ズルコトノ急ナルモノヨ  
リシテ、之ヲ後ニ送ッテハ如何ト云フ議論ガ起リマシテ、尙ホ考慮ノ末、之  
ヲ切リ離シテ後ニ讓ルコトニ相成リマシタノデアリマス、固ヨリ藤山君ノ御  
趣意ハ帝都復興ノ如キハ決シテ短日月ニ於テ爲スニアラズシテ、長イ日月ノ  
間ニ大體計畫ヲ成シテ、サウシテ急グベキモノヲ先ニシテ宜シイト云フ御議  
論ノヤウニ承ハリマシタガ、此帝都復興ノ如キハ爲シ得ルダケ速ニ復興スペ  
キハ復興イタシ、復舊スペキハ復舊イタシテ、民心ヲ安ラカニシテ、五十年間  
鐵ヘ上ゲタル所ノ總テノ機關ヲ舊ニ復シ、產業工業ニ對シマシテモ、相當ノ  
効キヲ爲スニアラザレバ、到底前途ニ對スル所ノ目的ヲ完成シ能ハナイト云  
フ見地ヨリ七箇年ヲ五箇年ニ短縮イタシマシタ次第ゴザイマス、又此御説  
ノ如ク、長イ時日ヲ此間ニ挿ムト云フコトハ如何ナモノデアリマスカ、凡ソ  
將來ノ計畫ヲ爲シマスルニ必シモ大體計畫ヲ爲シテ、ソレニ對シテ第一期第  
二期ト云フ計畫ハ國力ノ許ス範圍ニ於テ、當ニ種々ノ計畫ヲ實行イタシタル  
歴史ハ多々ゴザイマス、ナカニ今回ノ事ノ如キモ、帝都復興ノ問題ノ範圍  
ニ限ラレタルモノノ外、或ハ將來ニ於キマシテ是ガ終結ヲ告ゲタイト存ジマス、  
ナ方面ニ特設スルコトモゴザイマセウト信ジマス、サリナガラ今マデ帝都復  
興ニ對スル所ノ大體義ニ於キマシテ政府ガ計算イタシマシタルモノハ爲シ得  
ルダケノ全力ヲ盡シマシテ、五箇年ニ於テ是ガ終結ヲ告ゲタイト存ジマス、  
サリナガラ天災地變ノ爲ニ人力ノ及バザルコトガ出來マシタト致シマシタナ  
ラバ、是亦已ムヲ得スコトゴザイマス、而シテ精神作興上ニ關シテノ御意  
見ハ至極御同感デアリマスルガ、政府ハ言葉ノ上、即チ訓示其他ノ手段方法

ニ於テ及ブダケノ希望ヲ述べ居リマス、而シテ他方面ニ於キマシテハ、所謂吏僚ヲ督シマシテ忠誠以テ職ニ當リ十分綱紀ヲ振肅イタシ、教育上ニ對シテモソレノ相當ナ手段ヲ施シツツゴザイマス、又宗教ハ固ヨリ其他各團體其他ノ有力ナル機關ニ對シマシテモ共ニ是等ニ向ウテ極力一致セラレムコトヲ切ニ希望イタシ、尙ホ將來ニ向ツテ十分ニ努力ヲ致ス積リデゴザイマス、是ハ單リ政府ノコトノミナラズ、皆賢明ナル諸君ノ教ニ俟ツコトガ多カラウト存ジマス、產業其他工業政策上ニ付テ實質的今日ノ場合ニ處シ緩急アルベシト云フ御説ガアリマシタガ、至極サウ云フコトガアラウト存ジマス、之ニ對シマシテハ大藏大臣其他ノ同僚カラ亦御説明ヲ致スコトト存ジマス、大體ニ於キマシテ一言御答ヲ致シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 上山満之進君ノ質疑ヲ先刻國務大臣ノ出席セラレザルタメ留保シテ置キマシタガ、唯今議長ノ承ハル所ニ依リマスレバ、國務大臣ノ出席ノ有無ニ拘ラズ質疑ヲ繼續セラレタイト云フ御希望ガアル趣デゴザイマス、ソレ故ニ午前ニ坂本男爵ニ一度質疑ヲ許シマシタガ、此際坂本男爵ニ御相談ヲ致シマス、唯今ノ次第デゴザイマスカラ、上山君ノ方ガ通告順ガ早ウゴザイマスカラ、上山君ニ許シマシテ、上山君ノ質疑ガ終リマシタナラバ坂本男爵ニ御許シヲ申上ゲタイト存ジマス、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵徳川家達君）　上山君ノ登壇ヲ望ミマス

〔上山満之進君演壇ニ登ル〕

○止山滿之進君　私ノ質問ハ今一箇

リナ譯テ暫ク見合シテ置キマシタカ、何分國務大臣ハ衆議院ノ方ノ關係テ非常ニ御忙シイヤウデ、何時御出席ヲ見ルカ測リ知ラレナイヤウニ存ジマスノデ、兎モ角モ質問ノ趣意ダケ述べテ置クコトニ致シマス、私ノ最後ノ質問ハ「政府ハ被保險者見舞金支拂援助ノ資金ヲ轉ジテ一般罹災者救濟ニ充當スルコトヲ可トセザルカ」ト云フコトガ質問ノ要領デアリマス、先日來、毎々登壇イタシマシテ、數項ニ分サテ皆様ノ御耳ニ達シマシタ通ソニ、此度ノ火災保険ニ關スル政府ノ計畫ニ付テハ多大ノ疑問ガアリマス、マダ政府ノ御答辯ハ得マセヌガ、或ハ我ムノ満足スル御答ヲ得ルコトガ出來ナイカト云フコトヲ今カラ虞レテ居ル次第アリマス、斯ノ如キ計畫ヲ強ヒテ遂行スルト云フコトハ如何ナモノデアラウカ、私ノ御尋ネシタ點ニ付テ明快ナ、而シテ我ム

ノ安堵スル御答辯ヲ得タナラバ別トシテ、若シ然ラザレバ、斯ル計畫ハ何ト  
カ之ヲ方向ヲ變ヘテ適當ナ途ヲ求メルノガ、此場合、國家民生ノ爲ニ最モ深切  
ニ考ヘル所以デアラウト私思フノデアリマス、第一ニ先日詳細ニ申上ゲマシ  
タ通リニ、如何ニモ此度ノ計畫ハ偏頗不公平ノヤウニ思ハレル、三十五萬餘人  
ノ罹災者ノ中デ五萬人カ十萬人カ存ジマセヌガ、其僅ノ部分ノ被保險者ダケ  
ニ御金ヲ吳レル、アトノモノハ毛頭顧ミナイ、頗ル不公平ニ考ヘラレルノデ  
アリマス、斯ノ如キコトヲ何故斷行シナケレバナラヌカ、又一概ニ被保險者  
ト申シマスケレドモ、被保險者ノ中ニモ色ムアツテ數十百萬ノ保険ヲ掛ケテ  
居ル者モアレバ、僅ニ二百圓カ三百圓ノ保険シカ掛ケテ居ラナイ者モアル、  
而シテ二十六社ノ實際ヲ統計シテ見マスルト、此保險契約ノ件數ノ中デ百分  
ノ九十五、殆ド全部ト申シテ宜シイ、ソレハ一萬圓ヲ超過シタ保險デアル、  
僅ニ百分ノ五ガ一萬圓以下ノ保険デアル、而シテ其金高ハドウカト申スト、  
僅ニ百分ノ五デアル、一萬圓以下ノモノハ金ノ方デ申シマスルト、百分ノ四  
十七ニ止マル、半バニ足リナイ、之ニ反シテ：：：：ヨット唯今間違ヒマシタ、  
逆ニナリマシタ、僅ニ百分ノ五ニ過ギナイ件數、ソレ等ニ對スル金高ハ百分  
ノ五十三、半分以上デアリマス、之ニ反シテ殆ド全部トモ申スペキ百分ノ九  
十五ノ件數ノ金ハ半バニ足リナイ、百分ノ四十七、斯ウ云フコトニナッテ居  
ル、保險契約ノ義務ヲ履行スル場合デアレバ、澤山ノ契約ヲシテ居ル者ニ澤  
山ノ金ヲ拂フノハ勿論當然デアル、何等ノ疑フベキ點ハアリマセヌケレドモ、  
此度ノハ保險契約義務履行ニアラズシテ、見舞金ヲ出ス、御得意ニ對シテ誠  
ニ御氣ノ毒ゴザイマスカラ菓子折ノ代リニ差上グマス、ト云フ意味ノ一割  
デアリマス、斯ル以上ハ宜シク人情ニ訴ヘテスベキコトデ、小サイ保險ヲ掛  
ケタ比較的貧乏ナ人ニハ割合ニ多クヤッテモ、比較的大キイ保險ヲ掛ケタ富  
裕ナ人ニハ、サウシナイデモ、或ハ一切菓子折ヲ持タナイデ、言葉或ハ手紙  
デ見舞ヲ言ッテモ、其方ガ上品デ、而シテ其見舞ノ目的ヲ、眞意ヲ達スル所  
以デアル思フ、然ルニ事實ハ全ク之ニ反シテ居ル、是モ保險會社ガ自分獨  
リデスルコトナラ何モ我ニガ保險會社ノヤリ口ニ立入ッテ御世話ヲ燒ク必要  
ハ毛頭アリマセヌ、唯我ニノ因ルコトハ此見舞金ナルモノハ國家ガ之ヲ援助  
シ、而カモ其金額ヲ安イ利子デ、又非常ニ長イ年期デ貸付ケルト云フノデア  
リマス、事實ニ於テハ國家ガ見舞金ヲ被保險者ニヤルト同ジデアル、斯ルコ  
トヲ我ニハ空漠ニ見遁スコトハ出來ヌト思フノデアリマス、尙ホ又當初、此保

險金支拂ト申シマスカ、見舞金支拂ト申シマスカ、保險會社ガ計畫シ、政府  
ガ之ヲ熱心ニ援助シタ當初ノ目的ハ經濟復興ニアッタノデアリマス、唯一デ  
ハナカツタカモ知レマセヌガ、併シ經濟復興ガ其當時ハ最モ大キナ目的デアッ  
タコトハ事實ノ上デ争ヘナイコトデアル、保險金ヲ返シテヤレバ焼ケ出サレ  
タ者ガ復活スル、復興スル、其資金ヲ與ヘルノデアルト云フコトガ其趣意デ  
アツタノデアリマス、是ハ皆様モ能ク御承知ノ所デアル、然ルニ今日ハ如何  
ナルカ、僅ニ保險金ハ一割ヲ見舞金ニ吳レルト云フコトニナッタ、是ガ全額  
ナラバ無論ダガ、全額デナクトモ五割七割ト云フ金額デアルナラバ、其ヤリ  
方ノ公平トカ、不公平トカ、偏頗トカ云フコトハ始ク措キマシテ、經濟復興  
ノ意義ニ於テ確ニ相當ナル成績ヲ舉ゲルノデアリマシタ、併ナガラソレガ僅  
ニ一割トアツテハ實ニ殆ド何ニモナラナイ、現ニ承ハル所ニ依レバ三越ダカ、  
白木屋ダカガ百五十萬圓、二百萬圓ノ保険ヲ附ケテ居タサウデアリマス、  
是ガ今十五萬圓ヤ、二十萬圓貰ッテ何ノ三越、白木屋ガ復興ノ手傳ニナリマ  
セウ、又五百圓千圓掛ケタ人ガ五十圓、百圓貰ッテ何ノソレガ復興ノ手傳ニ  
ナルデアリマセウ、無イヨリハ結構デアリマスケレドモ、當初ノ目的ニハ全  
ク無關係ノコトニナリ終ツタノデアリマス、ソンナ金ヲ今貰ッテ何ニナルカ  
ト云フコトハ小遣錢ガ殖エルト云フ位ニ止マル、勿論多數ノ人ノ間デアリマ  
スカラ是ハ色ムナ例外モアリマセウ、ソレハ認メマスガ、大體カラ申セバ小  
遣錢ノ殖エルト云フコト以上ノ效果ハ私ニハナイト思ハレル、是デモ矢張リ  
此見舞金一割支拂ノ爲ニ國庫ハ多大ノ負擔ヲセナケレバナラヌノデアリマ  
ス、一人一人ニ取ツテ見レバ斯ノ如キ僅ナ金デアリマスケレドモ、積リ積レ  
バ政府ノ提案ノ如ク一億八千萬圓ト云フコトニナッテ、一口ニ一億八千萬圓  
ト申セバ誠ニ簡單デゴザイマスガ、實ハ申スマデモナク非常ニ大キナ金デ、  
大正十三年度ニ於テ政府ガ三億カ五億、公債ヲ募ラニヤナラヌ、此公債ヲ如何  
ニシテ募リ得ルカト云フコトハ、現ニ今日既ニ財政當局ガ寢食ヲ忘レテ畫  
策ニ頭ヲ惱マシテ居ラレル筈デアル、此時ニ當ツテ斯ノ如キ國家ノ誠ニ少カ  
ラヌ一億八千萬圓ノ金ヲ支出スルト云フコトハ、實ニ諒解ニ苦シム點デアリ  
マス、其一億八千萬圓出スト云フノニ、ドノクラキ損ヲ一體國庫ガスルノデ  
アリマセウカ、其金ハ貸スノデアリマスカラ、勿論返ツテ參リマス、而カモ  
二分ノ利子ガ附イテ返ツテ參リマス、ケレドモ二分ト云フ利子ハ經濟界ノ現  
實ニ於テハ夢ニモ見ラレナイ小額ナモノデアル、最モ確實ナリト稱セラル

公債ガ現ニ七年ニ七分ノ利廻リデ……正確ニ申セバ六分八厘トカ九厘トカ申スノデアリマスガ、大體七分、是デ今後公債ヲ新ニ募集スル場合、尙ホソレヨリ利廻リハ高クナラウ、七分以上ニナルコトハ、是ハモウ鏡ニ懸ケテ見ルガ如ク明カデアリマス、大體カラ推シテ七分ト二分ノ間ニハ五分ノ利開キガアル、一億八千萬圓ノ五分ノ利子ハ幾ラニナリマスカ、一年九百萬圓、据置期間ガ三年カ五年カ存ジマセヌガ、其間ニ國庫ハ九百萬圓以上一千萬圓近イ負擔ヲシナケレバナラヌ、又償還開始以後ニ於テハ年々元金ガ減リマス、三十年ニアッタナラバ六百萬圓ヅツ減ル、五十年デアッタナラバ三百六十萬圓ヅツ減ツテ來ル、ソレガ減ルニ從ツテ國庫ノ負擔ハ少クナリマスガ、ソレハ三百萬圓トカ五百萬圓トカ僅ナ金ガボツボツ減ツテ來ルノデアリマスカラ、國庫ノ負擔ハ漸次減少スルコトハ事實デアリマスガ、其減少ノ仕方ノ歩ミハ非常ニ緩ロイ、之ヲ五十年末ニナリマスト利ニ利ヲ積レバ別トシテ、其先キノ利ヲ積ラナイデ、之ヲ國家ガ年々負擔シタ金ノ其元ダケヲ計算イタシマシテモ一億五六千萬ニナル、若シ償還期間ガ五十年デアリマスレバ二億ニモ、モット上ニモナルト思フ、斯ノ如キ多大ノ負擔ヲ國庫ハシナケレバナラヌ、國民ノ膏血ヨリ之ヲ出サナケレバナラヌ、而シテソレガ何人ヲ利スルカト云フト、今日現ニ大火災ニ罹ツテ保険ヲ掛ケテ居ルモノニ、誠ニ不徹底ナ、僅カナ金ヲ御賽錢カノヤウニバラ撒イテヤルト云フコトニ歸著スルノデアリマス、是ハ極メテ確實ナ事實デアリマスカラ、私ノ意見ノ當否ハ是ハ御判断ニ委セマストシテ、厚カマシイ次第ゴザイマスガ事實ダケハドウゾ御信用下サルヤウニ願ヒマス、斯ノ如クシテ保険會社ハドウデアルカト申シマスト、保険會社ハ必ズ今後保険料ノ引上ゲヲ致シマス、是ハ政府ヘ對シテ認可ノ申請ト申シマスカ、或ハ諒解ヲ求メタト申シマスカ、既ニ申出テ居ルコトデアリ、又現ニ今日ドレダケノ會社デアルカ存ジマセヌガ、保険料ヲ上ゲテ居ル會社ガアル、「バラック」ニ對シテデハアリマセヌ、從來ノ保険ヲ繼續ナガラ其保険料ヲ上ゲテ居ルノガアリマス、諸君ノ中ニモ近頃保険ヲ御掛ケニナッタナラバ、其上ダラレタ保険料ヲ御拂ヒニナッテ居ル方ガアルダラウト思フ、今後ハ更ニ之ヲ上ゲルコトハ勿論デアッテ、而シテ保険會社ノ關係者ハ無論上ゲルノデアル、上ゲナケリヤ是ガ拂ツテ行ケナイト、斯ウ考ヘテ居ル、是ハサモアルベキコトデアル、ソレハ何割上ゲマスカ存ジマセヌガ、今デハ三割ト申シテ居リマスガ、保険會社ガ餘リヒドイト思ツテ二割引上ゲタト致シマスト、ド

ウ云フ風ニナリマセウ、大正十一年ノ正味保険料ハ六千……殆ド三百萬圓デアリマス……先づ二百萬圓、六千二百萬圓トナル、此二割上ゲマスト千二百四十萬圓ト云フノガ増加收入ニナル、而シテ一億八千萬圓ノ利子ト元金ヲ拂ハナケレバナリマセヌ、據置期限ハ元金ハ拂ヒマセヌ、利子ダケ拂ッテ差引八百八十萬圓バカリノ純益ヲ得ルコトニナル、據置期間ガ過ギマスト元金ヲ拂ハナケレバナラヌ、是ハ據置期間ガ三十年カ五十年カニ依ツテ大變ナ相違デアリマスガ、假リニ三十年ト致シマスト六百萬圓ノ元金、ソレニ利子ヲ加ヘテ、ソレヲ千二百四十萬圓カラ差引キマスカラ、是モ矢張リ二百八十萬圓バカラ、純益ガ殖エテ來ル、斯ウ云フ計算ニナル、要スルニ此度ノ仕事ハ國庫カリノ純益ヲ保険會社ガ得ルコトニナル、其以後ハ年々此純益ガ殖エテ來ル、ソレニ元金ヲ戻シマスカラ、段々戻シマスカラ、利子ガ減ツテ參リマスカラ、純益ガ殖エテ來ル、斯ウ云フ計算ニナル、要スルニ此度ノ仕事ハ國庫ガ非常ナ負擔ヲシテ、サウシテ見舞金ヲ貰フ人ニハ僅バカリノモノガ……、是ハワザト僅バカリノモノヲ撒ク譯デハアリマセヌ、人數ガ多イ爲ニ撒イタモノハ僅バカリニナッテ仕舞ツテ、大シテ利益ハナク而シテ保険料ニ對スル政府ノ態度次第デハ、保険會社ハ結局コノ爲ニ利益ヲスルコトニナルノデアリマス、政府ハ勿論之ニ對シテ相當ナ監督ヲスルコトデアラウト思ヒマスケレドモ、今日ノ情勢カラ言ヘバ、保険會社ノ要求ヲ無下ニ拒絶スルコトハ、政府ノ立場トシテ非常ニ困難デアルト云フ事實ハ詳シク申スマデモナク、皆様ノ能ク御了承下サルコトデアラウト思フ、結局斯ノ如キ始末ニナルデアラウト思ハレルノデアリマス、而シテ先日モ申上ゲマシタ通リニ、誠ニ困ッタコトニハ此問題ガ斷行セラレマスト、被保險者以外ノ罹災民ガ其儘デハ到底收マリヤウハナイ、其結果ドウ云フコトヲ深ク憂慮セザルヲ得ヌノデアリマス、此問題ハ斯ノ如キ性質ヲ持ツテ居ルモノデアリマス、政府トシテハ可ナリ深イ行懸リヲ此問題ニ作ツテ居ラレル、政府ノ態度ニ付テ批評スベキ筋ハ澤山アリマスガ、此場合申シマセヌ、兎モ角モ行懸リノ出来テ居ルコトダケハ確カデアリマス、今コノ問題ヲ形ヲ變ヘルトカ、廢メルトカ云フコトハ政府トシテハ誠ニ御困リデアラウト思ヒマス、ケレドモ昔カラ申シ來タ通リニ、過ツテ改ムルニ憚ルコト勿レト云フコト、是ハ千載不磨ノ金言デアッテ、我シノ造次顛沛モ忘ルルコトノ出來ナイ……忘レテナラナイ事柄デアル、過ツテ改ムレバソコニ其人ノ誠ニ崇高ナル人格ガ現レルノデアリマス、私ハ望ムラクハ首相閣下、閣僚諸公ガ誠心誠意ヲ以テ此國

政ニ當ツテ居ラレル場合ニ於テ、此勇氣ヲ發揮セラレムコトヲ切ニ望ムノデアリマス、又我より議員トシテハ斯ノ如キモノヲ此儘デスラト云フ譯ニハ、ドウモ何ト考ヘテモ、幾ラ思ヒ返シテモ、サウハ參ラスト思フノデアリマス、ソコデ私ハ政府ニ伺ヒタイノハ、誠ニ行懸リ上ハ御氣ノ毒ト思ヒマスケレドモ、大勇猛心ヲ發揮セラレテ此計畫ヲ少シ御見合セニナッテ、折角之ニ充當シヤウトスル金ヲモウ少シ……デナク、大イニ有效ナ方向ニ御向ケニナル譯ニハ參リマセヌカ、即チ單ニ被保險者ヲ利スルノミナラズ、一般ノ罹災者ニ對シテ此恩惠ガ均霑スルヤウナ方法ヲ御執リニナッテハ如何デアリマセウ、サウナリマスト先刻來私ノ述ベマシタ點ハ全ク總テ消滅シテ來ルノデアリマス、サウシテ一般ノ罹災者ガ國恩ニ感泣スルノハ申スマデモナク、一害無クシテ百利アルコトデアルト思フ、新聞ナドデ見マスト、方法ガアレバ示シタラ宜カラウト云フヤウナ風ノ談話ラシイモノガ見エテ居リマス、遺憾ナガラ我より立案ノ權限ヲ持チマセヌノデ、サウ云フ譯ニ參リマセヌ、是ハ政府デ御考ヘニナレバ如何ヤウナ方法モ幾ラデモアルコト思ヒマス、併ナガラ萬一、名案ガ發見セラレナケレバ現ニ低利資金……低利資金デアリマセヌ、現ニ預金部ノ金ヲ以テ勸業銀行、興業銀行、ニ融通シテ、而シテ一般ノ工業者、農業者、其他ノ必要ニ應ジテ居ル、是ガ預金部ガ今涸渴シテ居リマシテ、誠ニ金ノ融通ヲスル高ガ少イ、サウシテ其利率モ決シテ低利デハアリマセヌ、外ノ機會ニ於テ當局ニ伺ヒマシタガ、ハッキリシタ數字ハ能ク分リマセヌガ、色ムニナツテ居ルサウデ、五分五厘トカ六分トカ云フヤウナノガマア一番多イラシイ、ソレヲ特設銀行ハ八分五厘デ貸シテ居ルノデアリマス、大體、資金ガ非常ニ缺乏シテ居ツテ利率ガ大變高イ、若シ今此保險ノ見舞金ノ爲ニ支出セムトスル一億八千萬圓ヲ以テ之ニ充當イタシマシタナラバ、資金ハ勿論豊富ニナリ、利率モ無論下グラレル、而シテ其恩惠ハ一般ノ罹災者ニ及ブノデアリマス、若シ其金ガ足リナケレバ、サウ云フ目的ニ向テコソ茲ニ五千萬トカ一億トカ二億トカ云フモノヲ此上ニ國庫ガ支出スルコトニ對シテ、私ハ國民ハ寸毫モ異議ヲ挾ムモノデハナイト思フノデアリマス、是ハ私ノ申上ゲル例デアリマス、政府ニ對スル質問ハ何トカ之ヲ轉ジテ一般ノ罹災者ニ及ブヤウニハナリマセヌカト云フノデアリマス、一般罹災者ト云フ中、私ハ資產ノ薄イ人ヲ主トシテ目的ニシテ貰ヒタイト思フノデアリマス、資產ノ多イ人ハ是モ非常ナル打擊ヲ蒙リマシタケレドモ、何ト云ッテ

モ所謂大川ニ水絶エズ、相應ノ信用モアリマス、財產モ勿論殘ツテ居リマス、又日本銀行其外特設銀行カラ融通シテ貰フ便宜モ非常ニ多イ、サウ云フ人ハ、ドウモ何ト考ヘテモ、幾ラ思ヒ返シテモ、サウハ參ラスト思フノデアリマス、ソコデ私ハ政府ニ伺ヒタイノハ、誠ニ行懸リ上ハ御氣ノ毒ト思ヒマスケレドモ、大勇猛心ヲ發揮セラレテ此計畫ヲ少シ御見合セニナッテ、折角之ニ對シテハ、斯ウ云フ場合ニ充當シヤウトスル金ヲモウ少シ……デナク、大イニ有效ナ方向ニ御向ケニナル譯ニハ參リマセヌカ、即チ單ニ被保險者ヲ利スルノミナラズ、一般ノ罹災者ニ對シテ此恩惠ガ均霑スルヤウナ方法ヲ御執リニナッテハ如何デアリマセウ、サウナリマスト先刻來私ノ述ベマシタ點ハ全ク總テ消滅シテ來ルノデアリマス、サウシテ一般ノ罹災者ガ國恩ニ感泣スルノハ申スマデモナク、一害無クシテ百利アルコトデアルト思フ、新聞ナドデ見マスト、方法ガアレバ示シタラ宜カラウト云フヤウナ風ノ談話ラシイモノガ見エテ居リマス、遺憾ナガラ我より立案ノ權限ヲ持チマセヌノデ、サウ云フ譯ニ參リマセヌ、是ハ政府デ御考ヘニナレバ如何ヤウナ方法モ幾ラデモアルコト思ヒマス、併ナガラ萬一、名案ガ發見セラレナケレバ現ニ低利資金……低利資金デアリマセヌ、現ニ預金部ノ金ヲ以テ勸業銀行、興業銀行、ニ融通シテ、而シテ一般ノ工業者、農業者、其他ノ必要ニ應ジテ居ル、是ガ預金部ガ今涸渴シテ居リマシテ、誠ニ金ノ融通ヲスル高ガ少イ、サウシテ其利率モ決シテ低利デハアリマセヌ、外ノ機會ニ於テ當局ニ伺ヒマシタガ、ハッキリシタ數字ハ能ク分リマセヌガ、色ムニナツテ居ルサウデ、五分五厘トカ六分トカ云フヤウナノガマア一番多イラシイ、ソレヲ特設銀行ハ八分五厘デ貸シテ居ルノデアリマス、大體、資金ガ非常ニ缺乏シテ居ツテ利率ガ大變高イ、若シ今此保險ノ見舞金ノ爲ニ支出セムトスル一億八千萬圓ヲ以テ之ニ充當イタシマシタナラバ、資金ハ勿論豊富ニナリ、利率モ無論下グラレル、而シテ其恩惠ハ一般ノ罹災者ニ及ブノデアリマス、若シ其金ガ足リナケレバ、サウ云フ目的ニ向テコソ茲ニ五千萬トカ一億トカ二億トカ云フモノヲ此上ニ國庫ガ支出スルコトニ對シテ、私ハ國民ハ寸毫モ異議ヲ挾ムモノデハナイト思フノデアリマス、是ハ私ノ申上ゲル例デアリマス、政府ニ對スル質問ハ何トカ之ヲ轉ジテ一般ノ罹災者ニ及ブヤウニハナリマセヌカト云フノデアリマス、一般罹災者ト云フ中、私ハ資產ノ薄イ人ヲ主トシテ目的ニシテ貰ヒタイト思フノデアリマス、資產ノ多イ人ハ是モ非常ナル打擊ヲ蒙リマシタケレドモ、何ト云ッテ

モ所謂大川ニ水絶エズ、相應ノ信用モアリマス、財產モ勿論殘ツテ居リマス、又日本銀行其外特設銀行カラ融通シテ貰フ便宜モ非常ニ多イ、サウ云フ人ハ、ドウモ何ト考ヘテモ、幾ラ思ヒ返シテモ、サウハ參ラスト思フノデアリマス、ソコデ私ハ政府ニ伺ヒタイノハ、誠ニ行懸リ上ハ御氣ノ毒ト思ヒマスケレドモ、大勇猛心ヲ發揮セラレテ此計畫ヲ少シ御見合セニナッテ、折角之ニ對シテハ、斯ウ云フ場合ニ充當シヤウトスル金ヲモウ少シ……デナク、大イニ有效ナ方向ニ御向ケニナル譯ニハ參リマセヌカ、即チ單ニ被保險者ヲ利スルノミナラズ、一般ノ罹災者ニ對シテ此恩惠ガ均霑スルヤウナ方法ヲ御執リニナッテハ如何デアリマセウ、サウナリマスト先刻來私ノ述ベマシタ點ハ全ク總テ消滅シテ來ルノデアリマス、サウシテ一般ノ罹災者ガ國恩ニ感泣スルノハ申スマデモナク、一害無クシテ百利アルコトデアルト思フ、新聞ナドデ見マスト、方法ガアレバ示シタラ宜カラウト云フヤウナ風ノ談話ラシイモノガ見エテ居リマス、遺憾ナガラ我より立案ノ權限ヲ持チマセヌノデ、サウ云フ譯ニ參リマセヌ、是ハ政府デ御考ヘニナレバ如何ヤウナ方法モ幾ラデモアルコト思ヒマス、併ナガラ萬一、名案ガ發見セラレナケレバ現ニ低利資金……低利資金デアリマセヌ、現ニ預金部ノ金ヲ以テ勸業銀行、興業銀行、ニ融通シテ、而シテ一般ノ工業者、農業者、其他ノ必要ニ應ジテ居ル、是ガ預金部ガ今涸渴シテ居リマシテ、誠ニ金ノ融通ヲスル高ガ少イ、サウシテ其利率モ決シテ低利デハアリマセヌ、外ノ機會ニ於テ當局ニ伺ヒマシタガ、ハッキリシタ數字ハ能ク分リマセヌガ、色ムニナツテ居ルサウデ、五分五厘トカ六分トカ云フヤウナノガマア一番多イラシイ、ソレヲ特設銀行ハ八分五厘デ貸シテ居ルノデアリマス、大體、資金ガ非常ニ缺乏シテ居ツテ利率ガ大變高イ、若シ今此保險ノ見舞金ノ爲ニ支出セムトスル一億八千萬圓ヲ以テ之ニ充當イタシマシタナラバ、資金ハ勿論豊富ニナリ、利率モ無論下グラレル、而シテ其恩惠ハ一般ノ罹災者ニ及ブノデアリマス、若シ其金ガ足リナケレバ、サウ云フ目的ニ向テコソ茲ニ五千萬トカ一億トカ二億トカ云フモノヲ此上ニ國庫ガ支出スルコトニ對シテ、私ハ國民ハ寸毫モ異議ヲ挾ムモノデハナイト思フノデアリマス、是ハ私ノ申上ゲル例デアリマス、政府ニ對スル質問ハ何トカ之ヲ轉ジテ一般ノ罹災者ニ及ブヤウニハナリマセヌカト云フノデアリマス、一般罹災者ト云フ中、私ハ資產ノ薄イ人ヲ主トシテ目的ニシテ貰ヒタイト思フノデアリマス、資產ノ多イ人ハ是モ非常ナル打擊ヲ蒙リマシタケレドモ、何ト云ッテ

モ所謂大川ニ水絶エズ、相應ノ信用モアリマス、財產モ勿論殘ツテ居リマス、又日本銀行其外特設銀行カラ融通シテ貰フ便宜モ非常ニ多イ、サウ云フ人ハ、ドウモ何ト考ヘテモ、幾ラ思ヒ返シテモ、サウハ參ラスト思フノデアリマス、ソコデ私ハ政府ニ伺ヒタイノハ、誠ニ行懸リ上ハ御氣ノ毒ト思ヒマスケレドモ、大勇猛心ヲ發揮セラレテ此計畫ヲ少シ御見合セニナッテ、折角之ニ對シテハ、斯ウ云フ場合ニ充當シヤウトスル金ヲモウ少シ……デナク、大イニ有效ナ方向ニ御向ケニナル譯ニハ參リマセヌカ、即チ單ニ被保險者ヲ利スルノミナラズ、一般ノ罹災者ニ對シテ此恩惠ガ均霑スルヤウナ方法ヲ御執リニナッテハ如何デアリマセウ、サウナリマスト先刻來私ノ述ベマシタ點ハ全ク總テ消滅シテ來ルノデアリマス、サウシテ一般ノ罹災者ガ國恩ニ感泣スルノハ申スマデモナク、一害無クシテ百利アルコトデアルト思フ、新聞ナドデ見マスト、方法ガアレバ示シタラ宜カラウト云フヤウナ風ノ談話ラシイモノガ見エテ居リマス、遺憾ナガラ我より立案ノ權限ヲ持チマセヌノデ、サウ云フ譯ニ參リマセヌ、是ハ政府デ御考ヘニナレバ如何ヤウナ方法モ幾ラデモアルコト思ヒマス、併ナガラ萬一、名案ガ發見セラレナケレバ現ニ低利資金……低利資金デアリマセヌ、現ニ預金部ノ金ヲ以テ勸業銀行、興業銀行、ニ融通シテ、而シテ一般ノ工業者、農業者、其他ノ必要ニ應ジテ居ル、是ガ預金部ガ今涸渴シテ居リマシテ、誠ニ金ノ融通ヲスル高ガ少イ、サウシテ其利率モ決シテ低利デハアリマセヌ、外ノ機會ニ於テ當局ニ伺ヒマシタガ、ハッキリシタ數字ハ能ク分リマセヌガ、色ムニナツテ居ルサウデ、五分五厘トカ六分トカ云フヤウナノガマア一番多イラシイ、ソレヲ特設銀行ハ八分五厘デ貸シテ居ルノデアリマス、大體、資金ガ非常ニ缺乏シテ居ツテ利率ガ大變高イ、若シ今此保險ノ見舞金ノ爲ニ支出セムトスル一億八千萬圓ヲ以テ之ニ充當イタシマシタナラバ、資金ハ勿論豊富ニナリ、利率モ無論下グラレル、而シテ其恩恵ハ一般ノ罹災者ニ及ブノデアリマス、若シ其金ガ足リナケレバ、サウ云フ目的ニ向テコソ茲ニ五千萬トカ一億トカ二億トカ云フモノヲ此上ニ國庫ガ支出スルコトニ對シテ、私ハ國民ハ寸毫モ異議ヲ挾ムモノデハナイト思フノデアリマス、是ハ私ノ申上ゲル例デアリマス、政府ニ對スル質問ハ何トカ之ヲ轉ジテ一般ノ罹災者ニ及ブヤウニハナリマセヌカト云フノデアリマス、一般罹災者ト云フ中、私ハ資產ノ薄イ人ヲ主トシテ目的ニシテ貰ヒタイト思フノデアリマス、資產ノ多イ人ハ是モ非常ナル打擊ヲ蒙リマシタケレドモ、何ト云ッテ

モ所謂大川ニ水絶エズ、相應ノ信用モアリマス、財產モ勿論殘ツテ居リマス、又日本銀行其外特設銀行カラ融通シテ貰フ便宜モ非常ニ多イ、サウ云フ人ハ、ドウモ何ト考ヘテモ、幾ラ思ヒ返シテモ、サウハ參ラスト思フノデアリマス、ソコデ私ハ政府ニ伺ヒタイノハ、誠ニ行懸リ上ハ御氣ノ毒ト思ヒマスケレドモ、大勇猛心ヲ發揮セラレテ此計畫ヲ少シ御見合セニナッテ、折角之ニ對シテハ、斯ウ云フ場合ニ充當シヤウトスル金ヲモウ少シ……デナク、大イニ有效ナ方向ニ御向ケニナル譯ニハ參リマセヌカ、即チ單ニ被保險者ヲ利スルノミナラズ、一般ノ罹災者ニ對シテ此恩惠ガ均霑スルヤウナ方法ヲ御執リニナッテハ如何デアリマセウ、サウナリマスト先刻來私ノ述ベマシタ點ハ全ク總テ消滅シテ來ルノデアリマス、サウシテ一般ノ罹災者ガ國恩ニ感泣スルノハ申スマデモナク、一害無クシテ百利アルコトデアルト思フ、新聞ナドデ見マスト、方法ガアレバ示シタラ宜カラウト云フヤウナ風ノ談話ラシイモノガ見エテ居リマス、遺憾ナガラ我より立案ノ權限ヲ持チマセヌノデ、サウ云フ譯ニ參リマセヌ、是ハ政府デ御考ヘニナレバ如何ヤウナ方法モ幾ラデモアルコト思ヒマス、併ナガラ萬一、名案ガ發見セラレナケレバ現ニ低利資金……低利資金デアリマセヌ、現ニ預金部ノ金ヲ以テ勸業銀行、興業銀行、ニ融通シテ、而シテ一般ノ工業者、農業者、其他ノ必要ニ應ジテ居ル、是ガ預金部ガ今涸渴シテ居リマシテ、誠ニ金ノ融通ヲスル高ガ少イ、サウシテ其利率モ決シテ低利デハアリマセヌ、外ノ機會ニ於テ當局ニ伺ヒマシタガ、ハッキリシタ數字ハ能ク分リマセヌガ、色ムニナツテ居ルサウデ、五分五厘トカ六分トカ云フヤウナノガマア一番多イラシイ、ソレヲ特設銀行ハ八分五厘デ貸シテ居ルノデアリマス、大體、資金ガ非常ニ缺乏シテ居ツテ利率ガ大變高イ、若シ今此保險ノ見舞金ノ爲ニ支出セムトスル一億八千萬圓ヲ以テ之ニ充當イタシマシタナラバ、資金ハ勿論豊富ニナリ、利率モ無論下グラレル、而シテ其恩恵ハ一般ノ罹災者ニ及ブノデアリマス、若シ其金ガ足リナケレバ、サウ云フ目的ニ向テコソ茲ニ五千萬トカ一億トカ二億トカ云フモノヲ此上ニ國庫ガ支出スルコトニ對シテ、私ハ國民ハ寸毫モ異議ヲ挾ムモノデハナイト思フノデアリマス、是ハ私ノ申上ゲル例デアリマス、政府ニ對スル質問ハ何トカ之ヲ轉ジテ一般ノ罹災者ニ及ブヤウニハナリマセヌカト云フノデアリマス、一般罹災者ト云フ中、私ハ資產ノ薄イ人ヲ主トシテ目的ニシテ貰ヒタイト思フノデアリマス、資產ノ多イ人ハ是モ非常ナル打擊ヲ蒙リマシタケレドモ、何ト云ッテ

時非常ノ際ニ當リマシテ、地ニハ兵燹アリ、天ニハ爆弾ノ雨下スルアルガ必要ニキ、帝都數百萬ノ市民ノ慘状ト云フモノハ實ニ想像スルダニ尙ホ肌ニ粟ヲ生ズルノデアリマス、或ハ斯様ナ爆弾ノ攻撃ノ如キコトハ國際條規ニ於テ制限ヲ見ルガ如キコトヲ説ク者モアリマセウ、現ニ今春「ブルッセル」府ノ會議ニ於キマシテ、各國ノ代表者ノ間ニハ之ニ關スル所ノ會議ガ開カレマシテ、一ノ成案ヲ得マシテ、是等ノ各國ノ間ニ近キ將來ニ於テ國際間ニ認識サレル場合モアラウト存ジマスルガ、併ナガラ斯様ナ國際條規ガ戰時ニ於テ殆ド死文ニ屬スルコトニナリマスコトハ、之ヲ最近ノ歐洲ノ大戰ニ徵シマシテ誠ニ明白ナコトデアリマス、既往ガ既ニ斯様デアリマスルトスレバ、將來ニ於テモ亦是ガ絶無ト云フコトハ出來ヌデアラウト存ジマス、然ラバ之ニ對スル所ノ方策ハ如何ニ致シテ宜シイノデアリマセウカ、我ガ海上權ニシテ優勢デアリトルナラバ、或ハ敵ノ航空母艦ガ行動半徑ニ入ルニ先立テ之ヲ擊滅スルコトモ出來マセウ、又ハ敵ノ艦隊ガ我ガ近海ニ在ル所ノ島嶼ヲ占領シ、之ニ據テ帝都ヲ脅威スル所ノ方策ヲ防止スルコトモ甚ダ容易イノデアリマセウガ、既ニ華盛頓會議ニ於キマシテ、英米ノ六割ニ制限サレマシタ所ノ此海上權ヲ以テ致シテハ之ニ應ズルコトモ甚ダ覺束ナイ狀態デアルノデアリマス、茲ニ於キマシテ帝都ノ防禦ト申シマスルノハ、帝都ノ空中ニ於テ之ヲ邀撃シ、之ヲ擊滅スル外ニ手段ガ無イト云フコトニナルノデアリマス、然ラバ今回ノ帝都復興ノ計畫ニ於キマシテ、此空中攻擊ニ對シマスル所ノ施設トシテ何物ヲ計畫サレタノデアリマセウカ、彼ノ宮城ヲ中心ト致シマシテ帝都ヲ二重、三重ニモ廻ラス事ノ必要ヲ説キマスル所ノ彼ノ環狀道路ト云フモノハ、何レノ所ニ之ヲ見出スコトガ出來ルデアリマセウ、又此環狀道路ヲ連接イタシマスル所ノ所謂放射線道路ナルモノハ果シテ適當ノ幅員ヲ有ツテ居ルノトヲ承知シテ居リマスルトキハ是等ノコトモ甚ダ懸念サレルノデアリマス、又帝都ノ防禦ニ必要ナル所ノ敵ノ飛行機ヲ監視イタシマスル所ノ監視樓、又ハ遠ク飛行機ノ襲來ヲ其爆音ニ依ツテ機械ヲ以テ之ヲ聽取イタシマシテ、之ヲ各方面ニ通知ヲ致シ、又ハ市民ニ警報ヲ傳ヘマス此聽音所ト云フモノモ必要デアリマセウ、又探海燈ヲ以テ飛行機ヲ照シマシテ、之ヲ攻撃砲ヲ以テ射擊イタシマス所ノ此探照燈ヲ据付ケル所モ必要デアリマセウガ、是等ハ帝都ノ内外ニ於テノ警報ヲ傳ヘル所ノ通信所モ必要デアリマセウガ、

適當ノ場所ニ相當ノ廣場ヲ見出シテ相當ノ設備ヲスルト云フコトガ必要ニナツテ參ルノデアリマス、是等ノ廣場ノ建設ニ付テハ如何ナル準備ガ帝都復興計畫ニ見出サレルデアリマセウカ、又市民ノ生命ヲ保護スルニ必要ト致シテ是等ノ地下室ノ如キモノハ如何デアリマセウカ、又一般ノ通信機關、即チ電信電話又ハ瓦斯水道ノ如キ、總テ地上ニ暴露イタシテ居ルモノハ皆敵ノ攻撃ノ目標ニナルノデアリマスカラ、是等ノコトモ相當ニ防禦スル所ノ考慮ト云フモノガナケレバナラヌト思ヒマス、又文化的事業ハ勿論、是等ノ非常ノ際ニ最モ必要トル所ノ飛行場ノ設ケハドウデアリマセウカ、一旦審議會、否ナ協議會ニ於キマシテ問題トナリ、委員會ノ決議ヲ經マシタ所ノ此隅田川河口ニ於ケル所ノ飛行場ノ如キハ遂ニ最終ノ協議會ニ於テ否決サレタト云フコトヲ聞クノハ誠ニ遺憾トル所デアリマス、勿論限リアル所ノ財產ヲ以テ是等限リナキ要求ニ應ズルト云フコトハ、勿論困難デアルト云フコトガアリマセウ、然ラバ何故ニ是等ノ困難ヲ緩和スル爲ニ計畫ヲ延長サレテ、其排列ニ依ツテ財政計畫ヲ御立テニナルヤウニ御考ヘニナラヌノデアリマセウカ、五箇年ニ五億ヲ支出スルヨリモ七箇年ニ六億ヲ支出スルコトハ易ク、十箇年ニ八億ヲ支出スルコトハ更ニ易イノデハアリマセヌカ、今回ノ大震火災ハ人生稀ニ見ル所ノ悲惨ノコトデアリマスルガ、此悲ムベキ大災中ニ我ガガセメラモノ慰藉ト致シマスモノハ、此灰燼ノ中ヨリ我ガ帝都ガ復興スルト云フコトノ一事デアリマス、若シ此機會ヲ捉フルニトナクシテ、此計畫ガ姑息ニシテ終ルト云フコトガアリマシタナラバ、雷ニ此悲シムベキ貴重ナル所ノ經驗ヲ水泡ニ歸スルノミナラズ、悔ヲ後昆ニ貽サムコトヲ恐ルルノデアリマス、私ハ便宜上、質問ノ趣意ヲ以下三點ニ括約イタシマシテ、當局ノ御所見ヲ伺ヒタイ積リデアリマス、其第一「帝都復興計畫ハ雷ニ今回焼失ノ區域ニ止マラス」帝都ノ全部ヲ以テ其計畫ノ對象トナスコトハ都市計畫ノ統一ヲ圖ル爲ニ最モ必要ナリト認ム、當局ノ所見果シテ如何、今回ノ復興計畫ハ殆ド燒失區域ニ限ラルノデアリマシテ、此燒失以外、即チ山ノナルデアリマセウカ、恐ラクハ是ハ固有ノ都市計畫ニ委セルト云フコトニナルデアリマセウト存ジマスルガ、果シテ左様ナコトデアリマシタナラバ、

今後此復興院ノ計畫スル所ノ帝都復興ト將來ノ此都市計畫トガ果シテ是ガシ

ツクリ出合フデアリマセウカ、時ヲ異ニシ、人ヲ異ニシ、機關ヲ異ニスル所ノ是等ノ計畫ガ將來シックリ合ウテ其接合ガ出來ヤウト云フコトハ殆ド想像スルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、或ハ恐ル、斯様ナ計畫ハ木ニ竹ヲ接グヤウナコトニナリハセヌカト云フコトデアリマス、元來、帝都ノ全部ノ計畫ヲ見ズシテ其一部ヲ完成スルト云フコトハ、是ハ出發點ニ於テ誤ッテ居リハシナイカト思フノデアリマス、故ニ帝都ノ計畫ハ此際ニ全部ヲ計畫ノ對象トサレマシテ、此際、一舉ニ復興院ニ於テ計畫ヲ遂ゲラレルコトガ、此帝都ヲ逸スルコトナク理想的帝都復興ヲ作成スルヲ以テ帝都百年ノ長計ニ適フ所ノ計畫ヲ完全ニスル所以デアラウト存シマス、故ニ此第一問ヲ設ケタ次第デアリマス、質問ノ第二「財政上必要ナラバ縱シ其年限ハ是ヲ延長スルトモ此機ヲ逸スルコトナク」、然ルニソレガ財政上ノ關係ヨリ致シマシテ段々以ナリト思考ス當局ノ所見果シテ如何、仄カニ承ハル所ニ依リマスト、當初、帝都復興院ニ於テ計畫サレタモノハ稍今日ノモノヨリハ理想ニ近キモノデアタト云フコトデアリマス、然ルニソレガ財政上ノ關係ヨリ致シマシテ段々縮小サレテ今日ノ此計畫ニナツタノデアリマス、是ハ恐ラク財政上ニ基因シタモノト思ヒマスルガ、果シテ然ルナラバ、何モ是ハ五年トカ六年トカ云フヤウナ短時日ニ之ヲ完成スルト云フコトノ必要ハナイ、財政上必要デアルナラバ、何故ニ繼續年限ヲ繰延ベテ其緩和ヲ圖ラヌノデアリマセウカ、勿論、此帝都復興計畫中ニハ其急ヲ要スルモノト、其然ラザルモノトガアリマセウト思ヒマス、所謂、道路ノコトトカ、或ハ土地ノ區劃整理ノ如キモノハ、是ハ急ヲ要スルデアリマセウガ、其他ノモノニ至リマシテハ、公園ノ如キ、又ハ高速鐵道ノ街路ノ如キ、殊ニ燒失區域ノ以外ニ置イタ所ノ是等ノ街路ハ、何モ此五年六年ノ間ニソレヲ決定シ、ソレヲ實施シナケレバナラヌト云フコトデハアリマセヌカラ、此今日ノ帝都ニ於テ如何ニ人民ガ此交通ニ苦シンデ居ルカト云フ實情ヲ顧ミラレタナラバ、啻ニ燒失ノ區域ノミナラズ、燒失以外ニ瓦ル所ノ此高速度鐵道ヲ敷ク所ノ街路ノ計畫ト云フモノヲ今日急ヲ要スル所ノ此燒失區域以外ニ於テ此計畫ヲ五六年以内ニ進メラレルト云フコトハ、何等差支ナイデハアリマセヌカ、假ニ斯様ナ方法ニ依リマシテ、今回ノ燒失區域ヲ第一期トスルナラバ、其第二期、第三期ノ如キハ之ヲ十年、二十年ノ先ニ延バシマシテモ何等差支ハナイ、彼ノ「ケルン」ノ「カセドラル」トシテ名高イ所ノ一字ノ寺院デサヘ四十五年ニ完成ヲ告ゲタ云フノデアリマス、又巴里ニ於キマシテモ街衢ノ美麗ヲ以テ誇ル所ノ即チ「ブルワール・オースマン」ノ街衢

ノ名ヲ以テ其姓名ヲ不朽ナラシメタ所ノ「オースマン」市長ノ改築ニ係ル所ノ巴里ノ街衢ハ、現ニ四十四年ヲ費シタト云フコトデハアリマセヌカ、帝都復興ハ必シモ五年六年ヲ限ル必要ハナイ、帝都ハ永久ニ復興セネバナラヌ、又永久帝都ノ面目ヲ保タネバナラヌ、大詔煥發サレテ御聖旨ノ在ル所モ亦是ニ外ナラヌト存ジマス、是レ先づ此第二問ヲ發スル所以デアリマス、第三、「帝都復興ニ當ツテ帝都復興院ハ將來帝都空中防禦ニ備ヘムガ爲ニ道路、廣場、地下室、飛行場、水道、瓦斯其他通信機關等ノ施設ニ對シ如何ナル計畫ヲ有スルヤ」是ハ別ニ説明ヲ加ヘル迄モゴザイマセヌ、唯本員ノ御尋ね致シタイト存ジマスルノハ、事ノ軍事上ニ瓦ルモノデハアリマセヌ、此帝都防禦ヲ軍事的ニ將來旋設スルニ於テ之ニ要スル所ノ街路デアルトカ、廣場デアルトカ、又ハ消極的防禦ト致シマシテハ、通信機關ノ如キ、水道瓦斯ノ如キ、空中攻擊ニ暴露イタシマスル所ノモノヲ、豫メ帝都復興ヲ策スルニ當ツテ如何ニ是ハ防禦ナサルト云フ御考デアリマセウカト云フ、其計畫ノ存スル所ヲ伺ッテ見タイノデアリマス、東京ハ一天萬乘ノ君ノ宮居ノアル所デアリマス、又市民二百餘萬ノ生命財產ヲ託スル所デアリマス、此帝都ノ防禦計畫ハ最モ慎重ニ考慮ヲ要スルノデアリマスカラ、私ハ茲ニ帝都復興ニ當ル所ノ當局ノ御所見ヲ拜聽スルコトノ必要ヲ認メテ、此質問ヲ提起シタ所以デアリマス

〔政府委員子爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○政府委員子爵後藤新平君、唯今、坂本男爵ヨリ御質問ガアリ、且ツ此質問ノ要領ヲ御認メニナツテ此所ニ御残シニナリマシタ、其當初ノ御質問ノ總論トモ申スベキモノハ、是マデノ各方面ノ質疑ノ中ニマダ述ベラレテナイ所ノ防禦問題、是ガ大切デアルト云フコトデアリマシテ、一々其關係ノ點ヲ擧げラレタノデアリマス、此事ニ付キマシテハ、評議員會ニ於テモ亦參與員會ニ於テモ、御説ガアリマシタ、然ルニ其防禦ノ方法トシテハ、軍事的施設ノ外ニ、市ノ都市ノ計畫トシテハ先づ建築物ニ對スルノ用意、次ハ地下鐵道ニ依ルコト、其他ハ環狀線、唯今御説ノアリマシタ點デアリマス、此環狀線ハ唯今ノ燒跡ニ對シマシテハ、其防禦的ノ施設トシテ環狀線ヲ設ケズシテ、交通上ノ必要トシテ環狀線ヲ設ケルト云フ意味ニ相成ツテ居リマス、是ダケ申上テ計畫ノ對象トスル義デハナイカ、サウシテ都市計畫ノ統一ヲ圖ルヲ最モ必要ナリト認ムトアリマスガ、誠ニ御説ノ通リデアリマシテ、何等之ニ對シテ

異見ハナイノニアリマスガ、併ナガラ經費ノ點ヨリシテ御察シノ如ク、先ヅ此土地整理ヲ致サネバナラヌト云フコトニナリマシテ、多クノ人ハ先ヅ昔ノ市街ノ所ニ復舊ラシテ、稍其新生活ノ發展ヲ俟ツテ復興ヲ圖ルコト遲カラズト云ヅテ居ルノデアリマスガ、若シ然リトセバ、此舊道路ニ對シテ建設シタ所ノモノハ、其授ズル所ノ價ヲ損スルコトハ勿論、將來ニ禍ヲ再ビスルノミナラズ、諸多ノ失計ニ陷ルト云フコトハ火ヲ睹ルヨリ明カナルガ爲ニ、眼前ノ市民ニ對スル仁ヲ賣リ、而シテ永久ノ不仁ヲ來タス、斯ウ云フコトハ政府トシテ忍ビザル所デアリマスカラ、此復興計畫ニ依ッテ、ソレ等ノ障碍禍根ヲ除クコトニ力ヲ致サネバナラヌ、然ル爲ニハ何ガ一番必要デアルカト云ヘバ、此都市ノ計畫タルベキ街路又ハ市内ノ「カナル」斯ウ云フモノガ最モ必要、ソレニ次グニ公園廣場ノ如キモノヲ以テシテ震災火災ヲ免レシムルコトハ勿論、平生ノ經濟、衛生上ノ福利ヲ增進スルヤウニシナケレバナラヌト、斯ウ云フコトニナラズ、其基礎ノ第一著ガ燒失區域ニ止マリマシタ譯デアリマス、第一問ハ要スルニ當局ノ意見トシテハ、何等意見ノ相違ハナイ、唯、第二問トシテ御尋ニナリマシタヤウニ、財政上カラ限ラレタト云フコトハ明カデアリマス、加之、此全體ノ帝都ノ復興ト云フコトノ計畫ガアッタヤウデアルト云フ御尋ガアリマシタ、其通リデゴザイマス、之ニ對シテハ御覽ニ入レルコトモ出來ルヤウニナラズ、併シ半バニシテ他ニ財政ノ制限ノ貴覽ニ供スルコトモ出來ルダケニナラズ、又第二問ノ要點トシテ、財政上ノ必要アラバ年限ヲ延長スルコトモ亦可ナリ、此機ヲ失スルコトナク、理想的ノ帝都復興ヲ策定スルコトヲ以テ帝都百年ノ長計ニ副フ所以ナリト考ヘルト云フ御質問ガアリマスルガ、是モ全然何等異見ノナイ所デゴザイマス、然ラバ何故ニ之ヲ其通り實行セヌカ、斯ウ云フ御質問ガアリマセウト思ヒマスガ、此五箇年間ニ急務トシテセネバナラヌ所ノモノヲ提案イタシタノデアリマシテ、之ニ依テ將來ノ大計畫ヲ妨ゲルコトハナイト云フコトダケラ申上ゲテ置キマス、坂本男爵ノ御質問デハ、斯ウ云フコトヲシタナラバ後ノ妨ゲリマシテ、之ニ依テ將來ノ大計畫ヲ妨ゲルコトハナイト云フコトダケラ申上ゲテ置キマス、坂本男爵ノ御質問デハ、斯ウ云フコトニナリマシテ、多クノ人ハ先ヅ昔ノナルデハナイカト云フ御尋、其點ハ考慮ヲ致シマシテ年所ヲ歷ルニ從ッテ、又財力ノ⋮⋮自治體ノ發達ニ依リ、國ノ發展ト共ニ、之ヲ完成スルト云フ時ハ如何ト云フコトハ顧ミテ居リマス、或ハ此點ニ付テ尙ホ闕點ガアルカモ知レマセヌガ、之ヲ近ク當議場ニモ提案イタシマシテ御意見ヲ請フノデアリマ

ス、其時ニ當ツテ尙ホ又御考究ヲ願ヒ、當局ノ所見ヲ申述べルコトニ致シマセウト考ヘルノデアリマス、大體ノ所ハ少シモ異タル意見ヲ以テ申上グル所ハナイ、唯年限ヲ延バシテ計畫ヲスルト云フコトモ、今茲ニ數字ヲ計上シテナキノミニナラズ、之ヲ將來ノ發展ニ俟ツト云フコトニ付テハ、坂本男爵ト同ジ意見ヲ有ツテ此計畫ヲ致シテアリマスルト云フコトヲ茲ニ聲明イタシテ置キマス、次ニ第三ノ御質問デアリマスガ、帝都復興ニ方ツテ、帝都復興院ハ將來帝都ノ空中防禦ニ副ハシメムガ爲ニ、道路、廣場、地下室、飛行場、水道、瓦斯其他通信機關ノ施設ニ對シテ、如何ナル計畫ヲ有スルヤト云フコトノ御尋デアリマス、此御尋モ御尤モナコトデアリマシテ、帝都復興院ニ於テハ此計畫ニ付テ頗ル苦心モ致シ、又調査モ致シテ居リマス、唯空中防禦ノ一部ニ至リマシテハ、是ハ環狀線ノ御話ガ、サツキアリマシタガ、此環狀線ト云フコトニ付キマシテハ、現在ノ東京府ノ計畫シテアリマス所ノ環狀線、ソレヨリ尙ホ遠キ所ノ環狀線、即チ大東京市ニ於ケル環狀道路、之ニ副フベキ所ノ放射線、是等ノモノハ考慮シテアリマス、併シ此度ハ冒頭ニ申上ゲマシタヤウニ、燒失區域ト云フコトカラ之ヲ除イテアルノデアリマスガ、此事ニ付テハ注意ヲ致シ、又地下埋設物ト云フコトニ付テモ、最初ハ之ヲ考慮シテ居ツタノデアリマスガ、之ヲ全部ニナスト云フコトハ餘程經費モ掛リマスカラ、其埋設物ノ施設ガ出來ルヤウニ街路ヲ取ツテ置ク、斯ウ云フコトニナリマシテ、總テノ通信機關ナドガ萬一、飛行機襲撃等ノ爲ニ害ヲ被ルコトノナイヤウニト云フコトハ考慮イタシマシタガ、此施設ハ先ヅ他日ニ讓ラネバナルヌト云フ考ニナリマシタノデアリマス、先刻、此飛行機襲撃ニ對シテハ、地下線、地下鐵道、又ハ建築ト申上ゲテ置キマシタガ、此御質問ノ中ニ地下室トアリマス所ノモノガ、即チ其建築ヲ意味シテ居ル所ノモノデアリマス、斯様ニ考ヘテ宜カラウト思フノデアリマス、勿論、先刻申上ゲマシタ建築ト申スノハ地下室ノ意味ハ其中ニ含ンデ居ルノデアリマス、飛行場ノコトニ付キマシテハ、東京築港ノ場合ニ於キマシテハ、十萬坪餘ノ飛行場ノ土地ニ適當ナルモノ等モ考ヘテ居リマス、唯此度ソコニ計上シテナイダケノコトデアリマス、廣場、道路、水道、瓦斯等ノコトニ付テモ、御尋ガアリマシタガ、水道ハ市ノ計畫ニ於テ既ニ三百萬人ニ供給スベキ計畫ガ出來テ居リマス、即チ第二期、第三期ノ計畫デ成ルヤウニナラズ、最近ニ於テハ都下ニ於テ高壓鐵管ヲ用キルヤウニナリマシテ、地震等ニ於テモ容易ニ水道ノ杜



遞信大臣 犬養毅  
司法大臣 平沼騏一郎  
鐵道大臣 山之内一次  
大藏大臣 井上準之助  
勅令第四百十二號

震災地ノ行政廳ノ權限ニ屬スル處分(大正十二年九月一日以前ニ爲シタルモノ)ニ基ク權利利益ノ存續期間ニシテ大正十二年九月一日ヨリ大正十三年三月三十日迄ノ間ニ満了スヘキモノハ之ヲ大正十三年三月三十一日ニ満了スルモノト看做ス但シ本令ノ施行前又ハ施行後法令ニ依リ其ノ權利利益

ノ消滅スヘキ旨ノ指令、其ノ更新ヲ許サナル旨ノ指令其ノ他其ノ存續期間ノ満了ニ關スル特別ノ指令アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ規定ニ依リ延長セラレタル期間ハ行政處分ニ依リ之ヲ短縮スルコトヲ得

震災ノ爲大正十二年九月一日ヨリ同年十月三十日迄ノ間ニ行政廳ニ對シテ爲スヘキ出願、請求其ノ他ノ手續ヲ懈怠シタル場合ニ於テ大正十二年十月三十一日迄ニ其ノ手續アリタルトキハ當該行政廳ハ其ノ懈怠ノ結果ヲ免レシムルコトヲ得

震災ノ影響ニ因リ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期限ハ之ヲ延期スルコトヲ得

第一項ノ震災地ノ行政廳及權利利益並前四項ノ規定ノ施行ニ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
附則

〔政府委員竹内友次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(竹内友次郎君) 唯今、議題ニ上ボリマシタル案件ニ付キマシテ簡單ニ提案ノ理由ヲ説明イタシマス、提案理由書ニモ簡単ニ申述ベテゴザイマスルガ、震災ニ因リマシテ此震災地ニ於ケル行政廳ノ權限デ行政處分カラズル權利利益ニ付キマシテ關係書類等ノ焼失シタモノ少カラズアリマス所カラ、而カモ何時震災後ニ於テ其權利ガ消滅スルカモ知ラヌト云フ狀態デアルニ拘ラズ、直チニ適法ナル手續ヲ盡シテ之ヲ繼續スルコトガ出來ナイト云フ風ナ已ムヲ得ザル事情ニ立至タノデゴザイマスカラ、是ガ救濟上或ル限度

ニ於テ此期間ヲ延長シテ認メルト云フコトノ是非必要ナル状況ニ到達イタシ

マシタ所カラ之ヲ救濟スルガ爲ニ、本年勅令第四百十二號ノ公布ヲ見タ次第デゴザイマス、大體斯ウ云フ状況ノ爲ニ此勅令ヲ公布スルニ至リマシタ次第ハ實ニ已ムヲ得ザル状況デゴザイマシテ、又將來ニ亘リマシテモ當分ハ此儘存續スルノ必要アリト政府ハ認メル次第デゴザイマス、何卒慎重御審議ノ上、

御承認ヲ賜ハラムコトヲ切ニ希望イタシマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 日程第一ノ件ハ大正十二年勅令第四百九號承諾ヲ求ムル件外一件特別委員ニ付託イタシマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 日程第二及第三ノ件ハ一括シテ委員長ノ説明ヲ煩ハシマシテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 日程第二、大正十二年勅令第四百九號承諾ヲ求ムル件、第三、大正十二年勅令第四百三號承諾ヲ求ムル件、會議、委員長報告、副島伯爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

大正十二年勅令第四百九號

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年十二月十五日

右特別委員長

伯爵 副島 道正

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正十二年勅令第四百三號

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年十二月十五日

右特別委員長

伯爵 副島 道正

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵副島道正君演壇ニ登ル〕

○伯爵副島道正君 大正十二年勅令第四百九號、大正十二年勅令第四百三號  
ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ報告申上ゲマス、本委員會ハ一昨十五日開  
會イタシマシタ、先づ正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ、續イテ會議ニ入リマ  
シタ、政府ノ説明ヲ求メ、質問ノ後ニ討議ニ移シテ遂ニ滿場一致ヲ以テ承諾  
ヲ與ヘルト云フコトニ可決イタシマシタ、先づ第一ニ四百九號ニ付テ經過ヲ  
申シマスルト、四百九號ニ付テ政府委員ノ説明サルル所ニ依リマスルト、東  
京府、神奈川縣、靜岡縣、埼玉縣並ニ千葉縣ニ於テ府縣會議員ノ選舉ヲ行  
フコトガ震災ノ結果、不可能ニ陥シタ、又名簿ノ調製ヲ命ズルト云フコト  
モ、期日ヲ命ズルト云フコトモ、不可能ノ結果ニ陥シタ、若シ強ヒテアノ際  
ニ於テ之ヲ斷行スルト云フコトニナリマスレバ、色ゝ面倒ガアル、即チ當時  
ニ於テハ震災善後處分ト云フモノガ最モ大事デアル、ソレニモ缺陷ヲ生ズル  
スルヤウナ虞モアツタノデアル、尙更ラ是ハ延バス必要ガアルト云フ風ニ考  
ヘラレタヤウデアリマス、而シテ爾來、此期日ニ付テハ或ハ靜岡縣、埼玉縣  
此勅令ヲ仰イダ次第デアル、又殊ニ此選舉權ノ有無ニ付テモ色ゝ爭議ガ續出  
スルヤウナ虞モアツタノデアル、尙更ラ是ハ延バス必要ガアルト云フ風ニ考  
ヘラレタヤウデアリマスガ、東京府並ニ神奈川縣ニ於テハ震災ノ結果ガ非常ニ大ナリ  
シタメ、期日ヲ定メルコトノ運ビニ今日マダナツテ居ラヌノデアリマス、故  
ニ此一府一縣ニ於テハ當分之ヲ延バス必要ガアル、即チ茲ニ承諾ヲ求メル次  
第デアルト云フ政府ノ説明デゴザイマス、之ニ對シテ一二質問ガゴザイマシ  
タ、第一ガ選舉期日ハ何時頃……東京府並ニ神奈川縣ニ於テ何時頃ニナルデ  
アラウカト云フ質問デアリマス、ソレニ對シテ政府委員ハ今日マダソレニ對  
シテ確答スル運ビニハナツテ居ラヌ、ソレカラ又斯ウ云フ質問モゴザイマシ  
タ、任期満了ノ府縣會議員ガ長ク其職ニ居ルト云フコトハ餘リ面白クナイコ  
トデアル、成ルベク早ク其選舉ノ期日ヲ定メ又名簿調製ノ期日ヲ定メルヤウ  
ニ、此東京府並ニ神奈川縣ニ於テスルヤウニ政府ノ盡力ヲ仰グト云フ希望ガ  
マス、又此期日ガ東京府並ニ神奈川縣ニ於テ決定シナイノハ一體ドウ云フ譯  
デアルカ、即チ名簿ガ焼失シタノガ原因デアルカト云フ質問ガアリマシタ、

之ニ對シテ政府委員ハソレガ即チ主ナル原因デ、又新ニ名簿ヲ調製スルト云  
フコトハナカヽ至難ノコトデアルト云フ答辯ガゴザイマシタ、質問ガ終リ  
マシテカラ討議ニ移リマシテ、何等ノ意見モナク満場一致ヲ以テ承諾ヲ與ヘ  
ルト云フコトニナリマシタ、續イテ四百三號ニ付テ御報告ヲ申上ゲマス、是  
ハ震災後社會ノ狀態ニ鑑ミテ、丁度人心不安ノ時デアリマシタカラ、治安ヲ  
維持スル上ニ於テ此勅令發布ヲ政府ニ於テハ必要トサレタノデゴザイマス、  
併ナガラ其適用ニ於テハ萬遺憾ナキヲ期シテ誤リナイヤウニ能ク注意ヲ拂ッ  
タノデアル、幸ニシテ今日此勅令ニ觸レタ所ノ件數ハ、極メテ僅カデアル、  
從テ此勅令ノ效果ト云フモノハ、非常ニ大ナルモノデアツタノデアル、併ナガ  
ラ今日マダ、ソレヲ廢止スルト云フ程マデニ人心ガ安定シテ居ルト云フコト  
ハ言ヘナイノデアル、故ニ當分之ヲ繼續シタイト云フ政府ノ希望デゴザイマ  
ス、之ニ對シテ二三ノ質問ガゴザイマシタ、第一ニ本令ニ觸レタル所ノ犯罪  
ノ數ハドレ位ノモノデアル、政府ハ之ニ答ヘテ曰ク約十件デアル、ソレカラ  
シテ其次ハ流言蜚語ガ震災後非常ニ盛ンデアツタガ、是ノ出タ所ハ何處デア  
ルカ、ト云フ風ナ件等ニ付テノ質問ガアリマシタ、政府ニ於テハ固ヨリ確タ  
ル答ヲスルコトハ出來ナイ、凡ソア、云フ風ナ大震災後ニ於テハ人心陶々タ  
ル時デアルカラシテ、罹災ノ事ニ因由シテ色々ゝ流言蜚語ガ行ハレ、之ニ信ヲ  
置ク者ガ非常ニ多イト云フ風ニナルノハ非常ニ遺憾デアル、又一議員ハ本令  
ニ觸ルル犯罪ト、又刑法ニ觸ルル犯罪ト同一ノ場合ニハ何方ニ於テ處分セラ  
ルノデアルカト云フヤウナ質問モアツタヤウニ記憶シテ居ルガ、政府委員ハ  
勅令ノ繼續スル間ハ固ヨリ之ニ依ツテサレルノデアルト云フ答辯デゴザイマ  
シタ、ソレカラ又刑法ノ教唆ト云フコトト、勅令ノ煽動ト云フ意味ニ付テ質  
問モアリマシタ、政府委員ハ煽動ト云フ方ノ意味ヲ廣義ニ解釋サレ、即チ煽  
動ト云ヘバ、一口ニ言フト、普通ニ謂フ、オダテト云フヤウナコトモ含マレ  
テ居ルト云フ答辯ガアリマシタ、ソレカラ又本勅令ヲ永ク存續スルト云フ理  
由ハ何處ニ存シテ居ルノデアル、今日人心ハ大分安定シテ居ルノデアル、然  
ルニ之ヲ今日マダ繼續スル必要ガアルカト云フ風ナ質問ガアリマシタ、之ニ  
テシテ政府委員ハ、成程、人心ハ大イニ安定シタヤウデアル、併ナガラマダ  
多少不安ノ點モアルノデアル、若シ之ヲ今日廢止スルト云フコトニナレバ、  
或ハ再ビ不安ノ念ヲ惹キ起スヤウナ事ガ無イトモ限ラヌノデアル、故ニ當分  
之ヲ存續シタイノデアル、又本令ニ觸レテ來タル所ノ犯罪、今觸レテ居ル者

ガ有ルノデアル、若シ此勅令ヲ廢止スルコトニナレバ、即チ是等ノ事件ト云  
フモノハ無罪ニナル虞ガアル、サウスルト誠ニ由々シキ事デアル、是ハ當分  
存續スル必要ガアルト思フ、政府ニ於テハ永久存續スル考ハナイノデアル、  
即チ震災氣分ガ繼續シテ居ル間デアル、人心ガ真ニ安定ニ歸シタ後ニハ斯ノ  
如キモノハ存續スル必要ハナイノデアルト云フ風ナ答辯ガアツタノデゴザイ  
マス、其外或ハ刑量等ニ付キ或ハ朝鮮人ノ犯罪等ニ付テ質問モアリマシタ、  
最後ニ委員ガ、要スルニ此震災前ニ於テハ本勅令ニ觸レルヤウナ犯罪モ大分  
有ツタヤウニ聞イテ居ッタガ、當時政府ハ是ガ無カツタ故ニ是等ノ犯罪ハ多カッ  
タガ、震災後ニ於テハ僅ニ件數ガ十件ト云ヘバ甚ダ少イノデアル、要スル  
ニ斯ノ如キ武器ヲ政府ハ持ツテ居ル爲ニ、犯罪ハ少イノデアツタラウ、要ス  
ルニ此勅令ノ效果ガ現レタト云フ譯デアルカト云フ質問ガアリマシタ、ソレ  
ニ對シテ政府委員ハ實ニ其通リデアルト云フ御答デアリマス、討議ニ這入り  
マシテ一委員カラ實ニ此勅令ヲ繼續スルコトハ必要デアル、即チ繼續セムコ  
トヲ希望スル、異議ハナイト云フ意見ガ出マシテ、満場一致ヲ以テ、是亦承  
諾ヲ與フルコトニナリマシタ、右報告申上ゲマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今、委員長ノ報告ハ便宜上、兩件ヲ束ネテ述  
べラレマシタガ、先づ日程第二ノ件ヲ議題ニ供シマス、通告ニ依リ質疑ヲ許  
シマス、花井卓藏君

○花井卓藏君 震災ノ爲ニ……

○副議長(侯爵黒田長成君) 花井君ニ申上ゲマスガ、願ハクバ登壇アラムコ  
トヲ……

○花井卓藏君 極メテ短クゴザイマスカラ、此席上デ御質問ヲ申シタイト存  
ジマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 簡單ナレバ宜シウゴザイマス

○花井卓藏君 震災ノ初ニ發セラレタ緊急勅令ニハ幾件アル、其數ヲ伺ヒタ  
イ、内提出セズト決定セラレタルモノ幾件アリヤ、其數ヲ承ハリタイ、是ガ  
第一デアリマス、今回貴衆兩院ニ提出セラレタル緊急勅令ヲ近ク之ヲ廢止ス  
ル緊急勅令ヲ發スベキ見込ノ件ガ如何程アルカ、之ヲ承ハリタイ、或ハ難問デ  
アルカ存ジマセヌガ、御答出來ヤウト考ヘマス、是ガ第二デアリマス、第三  
點ハ特ニ緊急勅令ニ關スル新シキ事例ニ關スルコトデゴザイマスルガ故ニ、  
参考ノ爲ニ承ハリ置キタインデアル、緊急勅令ハ從來公法ニ屬スルモノ、即チ

憲法若クハ憲法附屬法、或ハ刑法或ハ行政法、是ニ關スル事項、又ハ軍事  
ニ關スル事項ニ付テ發セラレタルモノ最モ其多キヲ占メ、或ハソレ以外ニハ  
ナイト私ハ信ジテ居リマス、私法ニ關スル事項、即チ商法、民法ニ關スル事  
項、例ヘバ委員長ノ御報告ニ相成リマシタル勅令第四百七十一號及第四百七  
十五號ノ如キモノハ從來未ダ曾テ緊急勅令トシテ發セラレタル先例ハナイヤ  
ウニ覺エテ居リマスルガ、先例アリヤ否ヤ、之ヲ承ハリタイ、第四點トシテ御  
尋イタシマスル件ハ、政府ハ提出セズト明言セラレタル緊急勅令中、戒嚴令  
ヲ施行スルノ件ト申スノガアリマス、私ハ戒嚴令ノ改正ヲナスベキ政府ハ意  
見ヲ有シテ居ラナイノデアルカ、ドウカ之ヲ承ハリタイ、合圍地境若クハ臨戰  
地境ノ場合ハ姑ク措キマシテ、戒嚴地境ニ付テハ此處ニ戒嚴令モ持ツテ居リ  
マスルガ、規定上、適用上、不明ナル點ガ甚ダ多イノデアル、合圍地境、臨  
戰地境ハ全然國家兵權ノ作用、即チ軍事作用ニ於テノミデゴザイマスルケレ  
ドモ、單ナル戒嚴地、即チ合圍地境ヲ外ニシテノ戒嚴地ト臨戰地境ヲ外ニシ  
テノ戒嚴地ト、單ナル戒嚴地境ト云フコトニ相成リマスルト、文武兩道トデ  
モ申スベキカ、一面ニ於テハ單ナル行政權モアリ、一面ニ於テハ兵權モアル、  
即チ軍事動作ニ俟ツベキモノモアル、兵權行政權ノ共同關係ニアルノデアリ  
マス、ソレ故ニ動モスレバ兵權ト行政權トノ衝突ヲ來タス虞ガアル、例ヘバ憲  
兵ト警察官トノ見解ノ相違ガ實ニ重大ナル事件ヲ惹起シテ居ルカト存ジテ居  
リマス、此規定ノ上ニ於テ、適用ノ上ニ於テ戒嚴ノ實ヲ完全ニ行使スルコト  
ニ妨ゲノアル現行法、之ヲ改正スルノ意アルカト云フノデアル、憲法第十四  
條ニハ「天皇ハ戒嚴ヲ宣告ス、戒嚴ノ要件及効力ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム」ト  
規定セラレテアリマス、戒嚴令ハ明治十五年ノ布告デアリマス、憲法制定前  
十數年ノ昔ニ屬シテ居ルノデアリマス、今日ヨリ見マスレバ、四十年ノ昔ニ  
屬シテ居ルノデアリマス、此機會ニ於キマシテ本員ガ此間ヲ致シマスル所以  
ハ、緊急勅令ハ其提出ト否トニ拘ラズ議院自ラ審査ノ權ヲ有スレバ宜シイデ  
ハナイカト云フ政府ノ御答ガアツタ、御承知ノ如ク震災ニ伴ウテ行政權ト兵  
權トノ間ニ一ノ溝渠ノ畫カレタト云フガ如キコトハ、事實ノ眞否ハ姑ク措  
キマシテ、本員等ノ常ニ耳ニ致シテ居ル所デゴザイマシテ、不肖等ノ唯歎息  
イタシテ居ル所デアルノデアリマス、茲ニ於テ兵權行政權ノ共同運用ノ上ニ  
於テ國家ノ使命ヲ完全ニ遂行スル途ニ於テ、之ヲ改正スルノ急務アリト信ズ  
ルガ故ニ此間ヲナスノデアリマス、以上四件ニ關シマシテ責任アル答辯ヲ煩

ハシタインデアリマス

〔政府委員松本烝治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本烝治君) 唯今ノ御質問ニ簡單ニ御答ヲ致シマス、第一ノ御質問ハ今回議會ニ提出スル所ノ緊急勅令ハ幾ツアリ、又提出セザルモノガ幾ツアルト云フ御問ト思ヒマスガ、緊急勅令ト致シマシテハ十五全部デアリマスル中、議會ニ提出セザルモノガ三ツアリマスルコトハ先日申述べタ通リデゴザイマス、其結果、議會ニ提出サレマスモノハ十二ト記憶イタシテ居リマス、尙ホ其外ニ財政上ノ緊急處分ノ勅令ハゴザイマスガ、是ハソレノミニ開シマスルモノハ省イテ數ヘタノデゴザイマス、第二ノ御問ハ今回提出ヲシテ居リマスル緊急勅令中ニ近日廢止スペキモノガアルカドウカト云フコトダックアカト伺ヒマス、各個ノ緊急勅令ニ付キマシテ今後ノ事情ニ依リマシテ或ハ廢止ヲ必要トスルモノヲ生ズルカモ知レヌト思ヒマスガ、此點ニ付キマシテノ緊急勅令ニ付キマシテハ各個ノモノニ付テノ御質問アラバ兎モ角、一般的了イタシマシタ時ニハ之ヲ廢止スルコトニナラウカト思ツテ居リマス、其他ノガアルカドウカト云フ御質問ダッタカト思ヒマスルガ、左様デアリマシタラウト思ヒマス、是ハ十分ニ調査ヲ致シマシタ上尙ホ或ハ改メテ御答ヲスルカモ知レマセヌガ、一覽イタシマシタ所デハ餘リ例ガナイヤウニ考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス、第四ノ御質問ハ、戒嚴令ヲ改正スル意見ガ政府ニアルカドウカト云フコトダッタラウト思ヒマスル、戒嚴令ノ甚ダ古イモシデアルト云フコトハ御承知ノ通リデアリマス、從ツテ或ル規定中、多少ノ不完全ナル所モアラウカト思ヒマスルガ、政府ト致シマシテ、之ヲ改正スルト云フ意見ヲ定メマシテ調査ヲ始メタト云フヤウナコトハマダ無イノデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 日程第二ノ件ニ付キマシテ發言ノ通告ガゴザイマス、發言ヲ許サウト思ヒマス、花井卓藏君

〔花井卓藏君演壇ニ登ル〕

○花井卓藏君 私ハ政府ガ非常時ニ際シマシテ法律ニ代ルベキ非常命令ヲ發セラレ、公共ノ安全ヲ保ツガ爲ニ、又其災厄ヲ豫防救濟スルガ爲ニ幾多ノ緊

急勅令ヲ發セラレタルコトニ對シマシテ之ヲ諒トシ、寧ロ之ヲ多トシ、憲法第八條ノ要件ニ適合セルコトヲ認メマシテ其責任ヲ解除スル理由ノ下ニ承諾ヲ與ヘタイノデアリマス、而シテ今尙ホ人心安定ニ歸セズ、私ハ最モ憐レナル罹災者ノ一人デゴザイマスルガ、試ニ夜陰東京市街ヲ來往イタシマシタナラバ、實ニ陰森ノ氣ハ人ヲ襲フノ概ガアルノデアリマス、決シテ復興ノ氣分ガ充チ満チテ居ルト云フヤウナ狀態デハナインデゴザイマス、非常時ノ延長ノ心得ヲ以テ公共ノ安全ヲ保ツノ要ハ益々切ナルモノアリト感ジテ居ルノデアリマス、即チ將來ニ向ツテ尙且ツ此勅令ノ効力ヲ持續スルノ必要アルコトヲ認ムルノデアリマス、此理由ニ於テモ承諾ヲ與ヘタイト存ズルノデアリマス、承諾ヲ與フルノ理由ハ斯ノ如ク責任ノ解除、効力ノ持續、此二ツニアルノデゴザリマスルケレドモ、私ハ最モ強キ意味ニ於キマシテ責任解除ノ見地ヨリ承諾ヲ與ヘタイノデアリマス、憲法第八條ヲ以テ政治上、大臣間責ノ規定ナリト解スルヲ相當ナリト認ムル者デアリマス、然ルニ政府提案ノ理由ヲ見マスルト、此勅令ハ將來尙ホ其効力ヲ有セシムルノ必要アリ、依テ帝國憲法第八條第二項ノ命ズル所ニ從ヒ帝國議會ノ承諾ヲ求ムル爲茲ニ之ヲ提出ス、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、其用例ハ何レノ時ヨリ始ツタノカニハ御答ヲ致シ兼ネマス、第三ノ御質問ハ從來ノ緊急勅令中ニ私法關係ノモノガアルカドウカト云フ御質問ダッタカト思ヒマスルガ、左様デアリマシタラウト思ヒマス、是ハ十分ニ調査ヲ致シマシタ上尙ホ或ハ改メテ御答ヲスルカモ知レマセヌガ、勿論有ルノデアリマス、併ナガラ能ク注意シテ此文章ヲ味テ見マスルト、將來効力ヲ有セシムルノ必要アリ故ニ提出ス、斯ウナルノデアリマス、然ラバ將來効力ヲ有セシムルノ必要ナシ、故ニ提出セズト云フ結論ニ相成ラナケレバナラヌコトデアリマス、私ハ此理由ニ對シテ多大ノ疑ヲ多年抱イテ居ルノデアリマス、帝國議會ハ議會ノ有スル當然ノ權利トシテ大臣問題責ノ根本則ニ立脚イタシマシテ、審査ノ權ヲ行ヒ監督ノ權ヲ行ヒ得ベキコトヲ認メナケレバナラヌコトデアラウト思フノデアリマス、憲法第八條第一項ニハ「天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ災厄ヲ避ケル爲緊急ノ必要ニ由リ帝國議會閉會ノ場合ニ於テ法律ニ代ルベキ勅令ヲ發ス」斯ノ如クニ規定セラレテゴザリマシテ、其第二項ニ於キマシテ「此ノ勅令ハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出スベシ」、斯様ニ規定セラレテアルノデアリマス、全ク絶對的ノ規定デアリマス、將來効力ヲ有セシムルノ必要アル場合ノミニ限リ提出スベシトハ書イテナインデアリマス、必ず提出スベシト書イテアルノデアリマス、況ヤ其必要ナキトキハ之ヲ議會ニ提出スルコトヲナサズ、恣ニ之ヲ廢止スルノ緊急勅令ヲ發シ、是亦議會ノ審査ヲ求ムルコトヲ爲サズ、全ク立法府ト

沒交渉タラシムルガ如キ規定ハ憲法ノ條章ニ於テハ發見スルコトハ出來ナイ  
ノデアリマス、此勅令ハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出スベシ、必ズ提出セ  
ザルベカラザルノ規定デアリマス、之ヲ憲法ノ精神解釋ニ求メマスレバ能ク  
解ルノデアリマス、憲法第五條ニ「天皇ハ帝國議會ノ協賛ヲ以テ立法權ヲ行  
フ」ト規定サレテアリマス、憲法第五條ノ規定、唯今朗讀イタシマシタル規  
定、之ヲ更ニ第六條ノ規定、第三十七條ノ規定ニ照シ合ハセテ味ハッテ見マス  
レバ、憲法ノ精神ハ極メテ能ク解ルノデアリマス、立法權竝ニ法律ノ本質ガ  
此三條ニ依リテ明カニ規定サレテアルノデアリマス、不可分關係ニ於テ、第五  
條、第六條、第三十七條ヲ讀ムヲ要ス、立法權ト云ヒ、法律ト云ヒ、何レモ  
天皇ノ意思ト議會ノ意思トノ結晶ニ成ルモノデアリマス、緊急勅令ハ或場合  
ニ於キマシテ議會閉會中、政府ガ一時的ニ假リノ法律ヲ作り、變例的ニ立法  
權ヲ行フノデアリマスルガ故ニ、議會ノ承諾ヲ經ズシテ自ラ隨意ニ改廢スル  
ノ自由ハアルベキ道理ノモノデナイト固ク信ズルモノデアリマス、政府ハ天  
皇、議會以上ニ立法權ニ關シマシテ優越ナル權能ヲ有シテ居ルノデハゴザリ  
マセヌ、是ハ憲法ノ法理論バカリヨリ立論ヲ致サイデモ單ナル政治論ト致シ  
マシテモ心得ベキコトデハナイカト信ズルノデアリマシテ、抑、立法權ノ行  
使ハ常ニ必ズ議會ノ協賛ニ俟タネバナラスト云フコトハ申ス迄モナキコトデ  
ゴザイマス、唯非常時ニ於キマシテ天災地變或ハ戰亂其他ノ災害アル場合  
ニ限リマシテ、公共ノ安全ヲ保ツノ必要上、災厄ヲ豫防救濟スルノ必要上、  
國家自ラ國家ヲ守リ、又ハ國家其國民ヲ保護スル上ニ於キマシテ、議會ノ閉  
會中、法律ニ代ハルベキ勅令ヲ發スルノ除外例ヲ許シタルニ過ギナインデ、  
立法協賛ノ權ハ憲法ノ議會ニ授ケタル重大ナル權利デアリマス、緊急勅令ハ  
或場合ニ於キマシテ政府責ヲ取リテ、議會ノ有スル立法權ヲ代リテ行フ所ノ  
モノデアリマス、即チ議會開クルノ曉ニ於テハ、之ヲ議會ニ提出シテ承諾ヲ  
求ムルハ立法權帝國議會ニ在リト云フ一語ヲ味ヘバ、極メテ能ク解リ得ルノ  
タトイ思ヒマス、第八條ノ説明トシテ斯様ニ認メラレテ居リマス、「第五條ニ  
テ立法權ノ行用ハ議會ノ協賛ヲ經ト云ヘルハ其常ヲ示スナリ、本條」是ハ  
八條デアリマス、「本條ニ勅令ヲ以テ法律ニ代フルコトヲ許スハ緊急時機ノ爲  
ニ除外例ヲ示スナリ是ヲ緊急命令ノ權トス、抑緊急命令ノ權ハ憲法ノ許ス

所ニシテ又憲法ノ尤モ濫用ヲ戒ムル所ナリ憲法ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ災  
厄ヲ避クル爲ノ緊急ナル必要ニ限り此特權ヲ用キルコトヲ許シ而シテ利益ヲ  
保護シ幸福ヲ増進スルノ通常ノ理由ニ因リ之ヲ濫用スルコトヲ許サス、故ニ  
緊急命令ハ其ノ之ヲ發スルニ當テ本條ニ準據スルコトヲ宣告スルヲ式トスヘ  
キナリ若政府ニシテ此特權ニ託シ容易ニ議會ノ公議ヲ回避スルノ方便トシテ  
又以テ容易ニ既定ノ法律ヲ破壞スルニ至ルコトアラハ憲法ノ條規ハ又空文ニ  
歸シ一モ臣民ノ爲ニ保障ヲ爲スコト能ハサラムトス故ニ本條ハ又議會ヲ以テ  
此特權ノ監督者タラシメ緊急命令ヲ事後ニ検査シテ之ヲ承諾セシムヘキコト  
ヲ定メタリ「議會ヲ以テ此特權ノ監督者タラシメ緊急命令ヲ事後ニ於テ検査  
シ之ヲ承諾スベキコトヲ定メタリ、斯様ニ書イテアリマス、第八條第二項ノ絕  
對規定デアルト云フコトヲ述ベラレテ居リマス、將來ニ効力ヲ有セシム必  
要アラバ提出スベシト云フガ如キコトハ申サレテ居ラヌノデアリマス、更ニ  
此問題ニ對スル責任論ガ述べラレテ居リマス曰ク「此勅令ニシテ政府若次ノ  
會期ニ於テ之ヲ議會ニ提出セサルトキ或ハ議會其承諾ヲ拒ムノ後政府ニ於テ  
仍廢止ノ令ヲ發セサルトキハ如何、曰政府ハ憲法違反ノ責ヲ負フヘキナリ」  
トス様ニ明瞭ニ述ベラレテアリマス、此勅令ニシテ政府若シ次ノ會期ニ於テ  
議會ニ提出セザルトキハ如何、答ヘテ曰ク政府ハ憲法違反ノ責ヲ負フヘキナ  
リ、明瞭ニ伊藤公ノ憲法義解ニハ認メラレテアリマス、理義至シテ明白デア  
リマス、伊藤公ハ憲法ノ法理論ヲ爲ス上ニ於テハ憲法ノ起草者デアルト云フ  
コトヲ我よりハ記憶ヒムケレバナラヌ、又伊藤公ハ政治論ヲ爲ス場合ニ於テハ  
我モ人モ許シタ所ノ大政治家デアリシコトヲ記憶セネバナラヌノデアル、憲  
法ノ精神ヲ窺フニ於キマシテ、ヨリ以上ノ權威ハアルマイカト私ハ存ジテ居  
ルノデアル、曾テ當院ニ席ヲ有セラレマシタル一木博士モ憲法學者ニシテ又  
政治家デアル、其所見異ルナシデアリマス、憲法第八條ハ唯今申述べ、且ツ  
之ヲ證明イタシマシタル通り憲法第五條ノ除外例デアリマス、帝國議會ノ有  
スル立法協賛ノ權ハ正則デアル、而シテ常道デアリマス、政府ノ或場合ニ有  
スル法律ニ代ルベキ緊急勅令ヲ發布スルノ權ハ變則デアリマス、常道デナイ  
ノデアル、議會ガ此際、除外例……第五條ノ除外例、即チ變則的立法行為ヲ  
事後ニ於テ審査シ、或ハ承諾ヲ與ヘ、或ハ承諾ヲ與ヘザル決定ヲ爲スコトハ  
當然ノ權利、憲法ノ議會ニ授ケタル所ノ重大ナル權利ナリト信ジテ居リマス、  
故ニ政府自ラ進ンデ之ヲ提出シテ承諾ヲ求ムル所以ハ、主トシテ責任ノ解除

ヲ求ムル所以ナリト解釋スルヲ以テ憲法ノ條規ニ適フモノト信ジマス、理由書ノ要領ハ先程申上ゲマシタ通リデゴザイマスルガ、憲法ハ其精神的解釋トシテ、其理論解釋トシテ、自ラナル責任解除ヲ求ムル趣旨ヲ示シテ居ルノデアリマス、先日ノ會議ニ於キマシテ質問ヲ致シマシタル所、反對論モ強イ根據ガアルコトヲ申サレマシタ、私ハ後レテ參リマシテ詳細ナル御答ヲ得ルノ機会ヲ得ナカッタノデアリマス、退イテ速記錄ヲ見マスレバ、何モ強イ理由ノアルコトヲ私ニハ見出スコトガ出來ナカッタノデアリマス、反對論者ト雖モ、之ヲ議會ニ提出シテ責任ノ解除ヲ求ムルト云フコトガ憲法違反デアルトマデ強イ論ヲ爲スモノハ一人モナイノデアリマス、此問題ハ政府一タビ誤リタルガ爲ニ、累ヲ憲法史上ニ貽スモノナリトマデ本員ハ信ジテ居リマスケレドモ、ソレハ先づ姑ク措キマシテ、政府ガ此問題ニ關シテ一方ナラザル苦シミヲ爲シタト云フコトハ此問題起ル毎ニ政府ガ或ハ答辯ヲ避ケムトシ、或ハ答辯ノ核心ニ觸レザラムコトニ努メタル事實ハ、是ハ申スマデモナク諸君ノ御了承ノ通リデアリマス、會期前一日ニ答辯ヲ爲シタルコトガアル、以テ再質問ヲ遮シタト云フ事實モアル、或ハ答辯ヲナサズシテ會期ノ終了ヲ告ゲタト云フ時モアル、強イ理由ガアル、先例ニ基クガ至當デアル、斯様ニ輕々ニ申サレマシタガ、併ナガラ日本ノ憲法史上ニ於キマシテハ其様ニ申サレル程ノ迹ハ殘シテ居ラヌノデアル、相當ニ苦シシニ居ル、否、非常ニ苦シシニ居ルノデアル、改メテ申シマス、政府ハ名ヲ緊急勅令ニ藉リテ帝國議會ノ協贊ニ依ラズシテ、自ラ獨立シテ立法行爲ヲ爲シ得ベキ權能ハ斷ジテナイノデアリマス、議會ヲ眼中ニ置カズル政府權力ノ立法行爲ナルモノハナイノデアリマス、而シテ其將來ニ於ケル効力ノ持續如何ヲ政府ノ自由裁量ト爲シテ、政府ノ見ル所ニ委セテ、之ヲ提出スル、之ヲ提出セズト云フ取捨權ヲ政府ガ有スル規定ハ憲法ニハ無イノデアリマス、有リ得ベキ筈ガナイノデアリマス、第二項ハ次ノ會期ニ提出スベシ、絕對的ノ規定デアル、理由書ノ要領カラガ私ハ憲法ノ理義ヲ沒却イタシテ居ルモノト信ズルノデアリマス、條規ノ有無ニ拘ラズ、當然議會ノ有スル權能ヲ時ノ必要上、場合ノ必要上、自ラ代リテ行使シタル以上ハ進ンデ議會ニ其批判ヲ求ムル、其審査ヲ受クル、此覺悟ト責任觀ハ規定ノ有無ニ拘ラズ有ツベキガ立憲政治家ノ

憲法ニ對スル德義的觀念デハアルマイカト思フノデアリマス、況ヤ之ヲ憲法ノ法文ニ依ツテ見ルモ、之ヲ憲法ノ精神解釋ニ求ムルモ、之ヲ憲法起草者ノ意見ニ徵スルモ、一點疑ナキコトデアリマス、昔一派ノ學者ガアリマシテ今モ流アリマス、先例ノ源ハ此處ニアルノデアル、而シテ此先例ト名ヅケラル所ノモノハ抑、何レノ時ニ於テ起リタルモノデアルカト、之ヲ調べテ見マスルト、議會開カレテ四年目即チ明治二十七年デアリマス、「新聞雜誌及其ノ他ノ出版物ニ關スル件」是ガ先例ノ元祖デアリマス、議會開カレテ僅ニ四年、憲法問題ノ議會ニ於テ寧ロ閑却セラレシ時代ト申シテモ宜シイ時ニ係テ居ルノデアリマス、而シテ二十九年、三十二年、三十八年、三十九年、何等ノ進境ヲ見ルコトナクシテ、先例ノ蔭ニ隱レテ今日ニ及ビタル歴史ヲ有ッテ居リマス、併ナガラ是ガ唯一ノ先例カト申セバ、サウデハナイノデアリマス、時ニ或ハ大臣問責ノ根本則ニ基キマシテ責任解除ノ主義ヲ以テ承諾ヲ與ヘ、而シテ之ヲ了シタル政府モアッタノデアリマス、明治三十七年勅令第百七十號……百七十七號「外國ニ於テノミ流通スル硬貨、紙幣、銀行券、帝國官府發行ノ證券ノ偽造變造ニ關スル件」、同年勅令第二百二十五號「俘虜ノ處罰ニ關スル件」明治四十三年勅令第三百二十四號「朝鮮ニ施行スヘキ法令ニ關スル件」、此三種ノ緊急勅令ニ關シマシテハ、政府ハ議會ガ責任解除ノ主義ニ於テ承諾ヲ與ヘタルニ満足ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ將來尙ホ効力ヲ持続スルノ必要アルコトヲ認ヌタノデゴザイマスルケレドモ、立法ノ常道、立法ノ正則ト云フモノハ重ンゼネバナラヌト云フノデ、衆議院提出ニ係ル同一內容ヲ有スル法律ニ同意ヲ表シマシテ、此緊急勅令ハ之ヲ廢止シタノデアリマス、此法律案ニハ貴族院ニ於テモ贊成セラレテ居ルノデアリマス、明治三十八年法律第六十六號、同年法律第三十八號、明治四十四年法律第三十號、又往年衆議院ニ於キマシテ滿場一致ヲ以テ緊急勅令提出ノ院議ヲ決シタル事例モアリマス、是ハ責任解除主義ノ精神ヲ能ク政府ガ酌ミ取シタト云フコトヲ例證スル所ノ誠ニ生キタル證據ト申シテモ宜シイノデアリマス、立法協賛ノ權ハ議會ノ有スル重大ナル權利デアルト云フコトハ繰返シテ申上ゲル必要ハゴザイマセヌ、立法上政府權力ノ偏重ト云フコトヲ認ムルコトハ、私ハ一ツノ憲法政治ノ破壞ト申シテモ穩健ヲ缺ク言葉トハ思ハヌノデアリマス、伊藤公ノ申サル通リ、議會ハ緊急勅令ニ付キマシテハ事後ニ於テ嚴重ナル審査ヲ遂ゲ、而シテ其監督者タル任務ヲ果サネバナラヌモノト信ズルノデアリ

マス、故ニ本員ハ結論ニ於テ此勅令ニ承諾ヲ與フルノデゴザリマスルケレドモ、委員會ニ於テ委員諸君ガ最モ鄭重ナル審査ヲ遂グラレテ、憲法ノ要求スル條件ヲ充シタルコトヲ認メラレテ、茲ニ御報告ニ相成ッタコトデゴザイマスルカラシテ、之ニ信賴イタシマシテ政府ノ執リタル除外例ノ立法行爲ヲ爲シタル特權ニ對シテ、其特權ヲ行使シタルコトニ對シテ、其責任ヲ解除スル、且ツ將來ニ向ッテ効力持續ノ必要アルガ故ニ問題ノ勅令ニ承諾ヲ致スト云フコトノ意思ヲ明カニ致シタインデアリマス、私ハ此機會ニ於テ政府ハ從來用キ來ラレタル提出理由ニ關スル用例、文例ト云フモノヲ改メラルル必要ハアリハシナイカト云フコトヲ申添ヘテ置キマス、終リニ臨ミマシテ一言イタシマス、議會ガ開カレマシテ以來、憲法第八條ニ基イテ緊急勅令ヲ發セラレタルモノハ、明治二十四年ヨリ大正十年ニ至リマスルマデニ五十件アリマス、三十四年間ニ五十件アリマス、内、議會ノ承諾ヲ得ルガ爲ニ提出セラレタルモノガ四十件アリマス、承諾ヲ得タルモノモアリマス、得ザルモノモアリマス、或ハ議會解散等ノ爲ニ承諾ヲ得ルニ至ラナカツタモノモアリマス、承諾ヲ得ザリシモノ、承諾ヲ得ルニ至ラザリシモノハ總テ將來ニ向ッテ効力ヲ失フベキコトヲ公布セラレマシタ、而シテ其承諾ヲ與ヘタル理由ニ至リマシテハ提出ノ理由トハ全ク反對デゴザイマシテ、議會ハ就中、衆議院ハ其總チノ場合ニ於テ一面ニ於テ責任ノ解除ヲ意味シ、一面ニ於テ將來ニ向ッテ、効力ヲ持続スベキコトノ必要ヲ意味イタシテ居ルノデアリマス、而シテ五十件中、四十件提出セラレ、殘リノ十件ハ議會ニ提出セラレナイ、即チ承諾ヲ求メザルモノニ係ルノデアリマス、所謂緊急勅令ヲ以テ緊急勅令ヲ廢止シタル本勅令及其廢止勅令ガ此十件ノ中ニアルノデアリマス、此十件ト唯今政府ニ質問イタシマシタル通リ、其答ノ通ソ戒嚴令施行ニ關スル緊急勅令、之ヲ廢止スルク先例アリ、強キ論據アリト、斯ウ申スノデアリマス、然レドモ先例ハ二ツアル、即チ先程説明イタシマシタル通リ二ツアル、政府者ノ見ル先例モアル、本員ノ解スル先例モアル、強キ論據、強キ論據ハ如何ナル論據デアルカ、其論據ハ本員承ハル機會ヲ得ズ、速記録ニ依リマシテモ、強キ論據トナルモノハ發見スルコトヲ得ナイノデアリマス、先例ハ明治二十七年ガ初マリ、反対ノ理論的根據ハ憲法ノ解釋ニ求メテ之ヲ得ベカラズ、斯ノ如キ理論關係ハ姑ク

措キマシテ、政治論トシテ尙且ツ之ヲ固守スル、私ハ政府ノ態度ニ甚シキ遺憾ヲ禁ズル能ハザルモノデアリマス、法制局長官ハ、凡ソ政府ハ施政百般ノスルカラシテ、之ニ信賴イタシマシテ政府ノ執リタル除外例ノ立法行爲ヲ爲シタルガ之ヲ廢止セラレタ、是モ廢止ノ理由ハアルノデアリマス、帝國議會ハ決議ノ途アルニアラズヤ、之ニ依テ責任ヲ問フノ方法ハ盡サレテ居ルデハナイカ、斯様ニ申サレタヤウニ覺エテ居リマス、然レドモ是ハ單ナル行政監督ノ權ヲ議會ハ行フノトハ違フノデ、憲法第五條、第六條、第三十七條ヲ合セテ解釋ヲ致シマシタナラバ、天皇ノ意思ト議會ノ意思トノ結晶ガ即チ立法權ニナルノデアリマスカラ、純然タル憲法ノ條規ニ待ツベキモノ、憲法ノ條規ニ基イテ責任ヲ問フベキモノアルハ一點モ疑ハ無イノデアル、憲法ヲ外ニシテ憲法範圍外ノ問題ナリトシテ、單ナル行政事項ト同ジヤウニ心得テ其非違ヲ糾スニ於テ上奏ノ途アリ、決議ノ途アリト言ハルルニ至リマシテハ、餘リニ此問題ヲ輕視セラレテ居ルノデハアルマイカ、換言スレバ、議會ノ有スル立法協賛ノ權ヲ輕ク見ラレテ居ルノデハアルマイカト本員ハ痛切ニ感ズルノデアリマス、憲法ハ提出セヨト命ジテ居リマス、承諾ヲ求メヨト命ジテ居リマス、其取捨ヲ政府ノ自由ニハ委シテ居リマセヌ、議會ハ其勅令ヲ目的物トシテ審査ヲ遂ゲ、諾否ヲ決スルノ權利ヲ有ツテ居ルノデアリマス、審査スペキ目的物ハ其提出ヲ拒ンデ、其目的物ノ審査ハ吾之ヲ提出セズト雖モ汝自カラ之ヲ爲セ、汝自カラ責任ヲ問ヘ、吾關セズ焉、斯ウ云フ主義デ緊急勅令ニ對スル反對ノ強イ論據ナリト申サルルコトデゴザリマシタナラバ、私ハ遺憾ナガラ之ヲ強イト申サルルガ、其強イト申サルルガ、其強イト申サルルコトデゴザリマシタナラバ、私ハ甚ダ惜ムノデアル、戒嚴令施行ニ關スル件ノ如キニ言明セラルモノデアラウト味ヲテ解シタイヤウナ心持ガ致シマス、殊ニ斯ノ如キノ説明ハ議會ニ於テ稀ニ聞ク所…ト云フ言葉ノ中ニ極メテ弱イ意味ヲ自ラスノデゴザイマス、私ハ甚ダ惜ムノデアル、戒嚴令施行ニ關スル件ノ如キニ未ダ曾テ聞カザル所ノ言ナリトマデ私ハ申シテ見タイヤウナ氣持モ致シマシテハ、誠ニ當時ノ情勢トシテ宜シキヲ得タルモノデアリマシテ、之ニ依リマシテ、帝都ノ安定ト云フモノハ保チ得ラレタノデアリマス、而シテスノデゴザイマス、私ハ甚ダ惜ムノデアル、戒嚴令施行ニ關スル件ノ如キニ至リマシテハ、家宅ノ搜索ノ件ヲ自由ニ行フ、或ハ言論文章ノ自由ヲ濫ニ壓迫スル、今ハ其時ニアラズト云フノ場合ニ際會シタルガ之ヲ廢止セラレタ、是モ廢止ノ理由ハアルノデアリマス、帝國議會ハ此本勅令廢止勅令、孰レモ歡迎シテ其責任ヲ解除スベキコトヲ一點疑ヒアルベカラズト信ズルノデアリマス、然ルニ是ハ政治論トシテハ或ハ提出スペキ

ガ相當デアッタカ 知ラナイガ、法理論トシテハ提出スルヲ要シナイト云フノ  
デ、政治家ガ憲法的、德義的責任ノ觀念ノ理論ニ隠レテ、政治ノ方面ニ重キ  
ヲ置カレナイト云フコトニ見マシテモ私ハ遺憾禁ズベカラザルモノガアリマ  
ス、況ヤ質問ノ際ニモ申述ペタル如ク、勿論、今ノ政府ト申スノデハゴザイマ  
セス、今日マデノ政府ト申スノデハゴザイマセスガ、緊急勅令濫發ノ傾向ト  
云フモノガ盛ニ相成リマシテ、議院ニ於テ否決セラレタル所ノ法律ハ四月  
一日ヲ以テ緊急勅令ヲ發スル、而シテ十二月二十五日議會ノ召集セラレル前  
ニ於テハ直チニ之ヲ廢止スル、而シテ議會ニ之ヲ提出シナイ、審査ヲ求メ  
ナイ、承諾ヲ得ナイト云フ流風ニシテ起リ來リマシタナラバ、私ハ由々シキ  
大事ナリト申サヌケレバナラヌノデアリマス、斯ノ如キコトハ萬無イコトデ  
アラウト存ジマスルガ、憲法ノ條章ヲ完全ニ永久ニ疑義ノナイヤウニ、運用  
ノ上ニ於テ立憲的ナラシムルヤウニ先例ヲ作ルコトニシタイト云フノガ最モ  
必要ノコトデハアルマイカト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、私ハ今次ノ事變  
ニ際シマシテ政府ガ變例的立法行爲ヲ執リタル、其特權行使ニ付キマシテハ  
相當ナル理由ノアルモノデアッテ、故ニ承諾ヲ與ヘテ其責任ヲ解除スルノデア  
ル、此意思ヲ表明イタシマシテ、問題ニ相成シテ居リマス所ノ幾多ノ勅令ニ  
贊意ヲ表スルモノデアリマス

〔政府委員松本烝治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本烝治君) 唯今、花井君カラ滔々數萬言ノ御議論ガゴザイマ  
シタ、私ハ之ニ對シテ駁論ヲシャウトハ思ヒマセス、若シ之ヲ學說ノ討論ト致  
シマシテハ、日ヲ重ネテモ果テシナイダラウト思ヒマス、此議場ヲ以テ學說  
ノ討論場トスルダケノ考ハ毫モゴザイマセス、唯二ツノ事實ダケヲ申述ベマ  
ス、一ツハ花井君ガ舉ゲラレマシタ緊急勅令ヲ議會ニ提出セズト云フ最初ノ  
備ヲ作ッタ者、即チ明治二十七年ノ勅令第三十四號及同年ノ勅令第百六十七  
號ノ不提出ト云フコトニ起リマシタ、私ノ記憶ニシテ誤ラザレバ伊藤内閣ノ  
時デアッタカト思ヒマス、憲法義解ノ著述ハ恐らく其前デアッタカト思ヒマ  
ス、惟フニ憲法義解ノ著述後ニ於カレマシテ、十分考慮セラレタ結果、説ヲ  
變ゼラレタノデハナイカト考ヘマス、併シ私ハ之ニ付キマシテ、唯單純ナル  
記憶デ伊藤内閣デアルト思フダケゴザイマス、若シ誤リガアリマシタナラ  
バ其罪ヲ謝スル外ナインデアリマス、併シ氣付キマシタカラ一言イタシマス、  
今一ツハ花井君ハ第二十六議會ニ於ケル衆議院ノ決議ナルモノヲ舉ゲテ一ツ

ノ先例トシテ御話ニナッタカト思ヒマスルガ、是ハ今回ノ場合トハ全ク異ル  
ノデアリマス、法律ヲ廢止シタル所ノ緊急勅令ヲ議會ニ提出セザリシ場合ニ於  
テ之ヲ提出スベシト決議シタノデアリマス、當時ノ提案者鳩山和夫氏ノ演說  
ヲ讀ミマスルト、其意味タル法律ヲ廢止シタル所ノ緊急勅令ハ、若シ議會ノ  
承諾ヲ得ナイ場合ニ於テハ法律ハ復活ノ效ヲ生ズルノデアル、即チ此緊急勅  
令タルヤ、將來ニ効力ヲ保續スルタメ承諾ヲ要スルモノデアル、是ハ空シク  
會ニ提出シナケレバナラヌト云フヤウニ述ベラレテ居ルノデアリマス、必要  
アレバ其演說ハ朗讀シテ宜シイ當時ノ材料ヲ持ッテ居リマスガ、是ハ空シク  
時間ヲ空費スルノデアリマスカラ私ハ之ヲ省キマス、併シ其意味ハ極メテ明  
カニナッテ居リマス、唯花井君ハ當時賛成演說ヲ致サレテ居リマス、賛成演  
說者タル花井君ノ御趣旨ハ唯今御述ベニナッタヤウデアルカモ存ジマセスガ、  
又サウ考ヘテ御述ベニナッタカモ知レマセスガ、其決議タルヤ、其趣旨ハ提案  
者ノ演說ニ基イタモノダラウト考ヘテ居リマス、今回ノ場合トハ全然場合ヲ  
異ニスルノデアリマス、此二ツノ事實ダケヲ申上げテ置キマス

〔花井卓藏君發言ノ許可ヲ求ム〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 花井君ニ御尋ネシマスガ、ドウ云フコトニ付テ  
デアリマスカ

○花井卓藏君 事實ヲ説明イタシタイト思ヒマス、唯今、政府委員ノ御説明  
ニナリマシタル點ニ付キマシテ再び演說ヲナスノデハゴザイマセス、衆議院  
ニ於ケル事實ヲ明カニ致シテ置キタイ

○副議長(侯爵黒田長成君) 花井君ニ申上ゲマスガ、御承知ノ通リ本院規則  
第九十四條ニ「發言二回ニ及フコトヲ得ス但シ質疑應答又ハ注意ノ喚起ハ此  
ノ限ニ在ラス」ト云フコトガアリマスカラ、此範圍内デ御尋ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 其意味デ陳述イタス積リデアリマス、唯今松本君ノ御引例ニ  
ナリマシタ衆議院ノ決議ハ松本君ノ申サルル通リデアリマス、緊急勅令ヲ以  
テ法律ヲ廢止シタル所ノモノニ對スル決議案デアリマス、本員ノ見ル所デハ  
緊急勅令ヲ以テ法律ヲ廢止スルノモ、緊急勅令ヲ以テ緊急勅令ヲ廢止スルノ  
モ、理論的實際的見地ノ上ニ立チマシテハ價值ハ同ジデアル、斯様ニ考ヘテ  
居ルノデアリマス、當時本員ノ爲セシ演說ヲ能ク御味ヒ下サイマシタナラバ  
分ルデアラウト思ヒマス、法律ヲ……緊急勅令ヲ以テ法律ヲ廢止スルト云フ  
コトト、緊急勅令ヲ以テ法律ニ代ルベキ假リノ法律ヲ作ッタト云フコトト、觀

念ノ價值ニ於テハ、價值ニ何等ノ變ルベキデナイト云フコトヲ御諒承ヲ得タ  
イト思フ、而シテ學理的ノ討論トスレバ言フベキコト多シト申サレマシタケ

レドモ、本員ハ憲法ノ條規ヨリモ議論ヲナシ、且又單ナル學術上ノ問題ナリトスルガ如キ  
論ヲナシタノデアリマシテ、之ヲ以テ單ナル學術上ノ問題ナリトスルガ如キ

閑事業トハ心得テ居ラヌノデアル、是等ノ點ニ付キマシテ若シ松本君ニシテ  
御了解ヲナシタナラバ、更ニ一段ノ説明ガアルベキ筈ニアラウト思フノデア

リマス、貴族院規則ニ基キマシテ此邊ノ注意ノ喚起ヲ致シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今議題ニ供シテ居リマスノハ日程ノ第二デア  
リマス、先づ日程ノ第二ニ付テ採決ヲ致シマス、大正十二年勅令第四百九號  
ニ對シマシテ承諾ヲ與ヘテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 次ニ日程第三ヲ問題ニ供シマス、大正十二年勅  
令第四百三號ニ對シマシテ承諾ヲ與ヘテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 日程第四、第五ハ東ネテ委員長ノ報告ヲ煩ハシ  
テ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 日程第四、大正十二年勅令第四百七十一號  
ヲ求ムル件、第五、大正十二年勅令第四百七十五號承諾ヲ求ムル件、會議、  
委員長報告、松浦伯爵

大正十二年勅令第四百七十一號

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年十二月十五日

右特別委員長

伯爵 松浦 厚

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正十二年勅令第四百七十五號  
右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年十二月十五日

右特別委員長

伯爵 松浦 厚

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵松浦厚君演壇ニ登ル〕

○伯爵松浦厚君 大正十二年勅令第四百七十五號、之ヲ含メテ委員會ニ付キマシテノ經過、會議ノ結果ヲ御報告イタシマス、去ヌル十五日ニ正副委員長ノ選舉ヲ終リマシテ、政府委員ノ説明ヲ請ヒ、政府委員ニ向ヒマシテ委員ハ質問ヲシ討議ヲ致シマシタ、慎重審議ヲ

重ネマシテ、此兩案共ニ承諾ヲ與フルモノト可決イタシマシタ次第デアリマス、抑々此勅令第四百七十一號ハ、即チ此度ノ震災ニ因リマシテ、株主名簿ヲ失ヒマシタル會社ニ付キマシテ、株主總會ヲ招集スルト云フコトニ關シマスコトガ供題トナリマシタニ依リマシテ、其必要上、此勅令ヲ公布イタシタ次第デアリマス、各會社ノ株主總會ハ、御承知ノ如ク大概十一月、十二月ノ交ニアリマスノデアリマスケレドモ、此度ハ斯ノ如キ大震災、大火災ガコザイマシタ結果、此株主モ……速ニ株主總會ヲ開カナケレバナラヌ會社モアル

ダラウト思ヒマスガ故ニ、此便宜上、斯ノ如キ此勅令ノ發セラレタ譯デアリマス、此株主總會ヲ開キマスコトニ付キマシテハ、結果色々之ニ關係ヲ致スコトガアルデアラウ、併ナガラ此度ノ勅令ト云フモノハ、即チ其處マデ深入リシテ此株主總會ヲ開クト云フコトヲ許シタ譯デハナイ、唯此度ノ震災ノ結果、名簿ヲ失テ居ルニ付テハ無記名ノモノトシテ之ヲ公告シテ、廣ク總會ニ於テ、此事ヲ圓滿妥協ノ上ニ計ラウト云フダケデ、此法律ノ上ニ於キマシテハ、其總會ノ以外ニ付テ廣キ權威ヲ有シテ居ル譯デハナイノデアル、斯ウ云フ説明デゴザイマシタ、ソレカラ致シマシテ此質問應答ノ上ニ二三申上ゲ

タイト考ヘマスガ、即テ此震災ノ結果、名簿ノ焼ケタ所ノモノハ凡ソドレ位ノ會社ガアルカト云フ質問ガゴザイマシタ、東京横濱ニ瓦リマシテ、凡ソ百社バカリアルダラウト云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ今度ノ所謂此法律ヲ發布イタスコトニ付キマシテハ、即チ商法ノ關係デアリマシテ、即チ第百五十六條、百六十一條、百六十三條、二百條、二百十三條等ノ關係ガゴザイ

マスカラ、ドウシテモ此度此勅令ヲ公布イタサヌ以上ニハ、此無記名ニ對スル所ノ總會ヲ開クコトガ出來ナイト云フ譯デ、ココニ參ツタ次第デアルト云

フコトデゴザイマシタ、ソレカラ質問ノ中ニ、又若シャ此無記名ノ公告ヲシタ上デ、或ハ會社ニハ其無記名ノ帳簿ガ……記名ノ帳簿ガ無イニシテモ、株主タル者ガ記名ノ證書等ノモノヲ持ッテ居ッタナラバ、ドウデアルカト云フヤウナ質問ガゴザイマシタ、是ハ一タビ此無記名トシテ公告シタ以上ハ、其株主ガ證書アルト無キトニ拘ラズ、同ジク無記名者ト考ヘテ總會ニ出席シタ上デ之ヲ明カニスレバ宜シイノデ、再ビソレニ記名者トシテ取扱フ必要ハナイ

ト云フ、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、斯ノ如ク委員ノ質疑竝ニ政府委員ノ御説明ノ出マシタ上ニ、皆慎重審議之ヲ應答イタシマシタ結果、滿場一致デ此案ハ承諾ヲ與ヘテ可ナルモノダト云フコトニナリマシタ次第デアリマス、第二ノ即チ第四百七十五號、是ハ即チ破産法ニ付テノ關係デゴザイマシテ、政府ノ理由書ニモゴザイマス通り、震災ノ影響ニ依リマシテ、債務超過ヲ來シタル法人ニ對シテ、破産ノ宣告ヲ爲ス必要ガアル、ソレハ即チ民法ノ第七十條商法百七十四條、破産法ノ第二百二十七條、森林組合令ノ第三十六條等ニ依リマシテ、此規定ヲ致サレテ居ル、然ルニ御承知ノ通り、此度ハ此震災ノアリマシタ結果、實際ノ財產ハ破産法ノ例ニ依ッテ、宣告サレルベキモノデアッテモ、即チ其財產ハ積極的ニ消滅イタシテモ、消極的ニモ之ヲ辨償スルノ力ノナイモノハ、即チ此條文ニアル通り、直チニ破産ノ宣告ヲ爲シ得ルコトガ出來ル、併ナガラ消極的ニモ、信用上若クハ力ノ上等ニ於テ辨償シ得ル能力アリト認ムルモノハ、成ルタケ此大震火災ノ際デアレバ、經濟上其他ノ關係デ、斯ノ如キ法人ハ之ヲ助ケテ置ク必要アリト云フ所ノ見地カラ致シマシテ、此法律ノ……勅令ヲ以テ保護サレタル次第デゴザイマス、無論、一二箇年以上之ヲ繼續サレルモノデアリマシテ、其以上ニ於テ其効力ノ現ハレス時ニハ、更ニ現行法ニ依ッテ、之ヲ處置サレルト云フコトデアリマシタ、是モ慎重審議ヲ重ねタ結果、之ニ承諾ヲ與ヘテ可ナリト云フコトヲ滿場一致可決シタ次第デアリマス、右御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 此兩件ヲ束ネマシテ議題ト致シ、且ツ採決ヲ致シテ御異議ガゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

メマスカラ、採決ヲ致シマス、兩件ニ對シ承諾ヲ與ヘテ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス、明後十九日午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御報告ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後四時四十八分散會

